

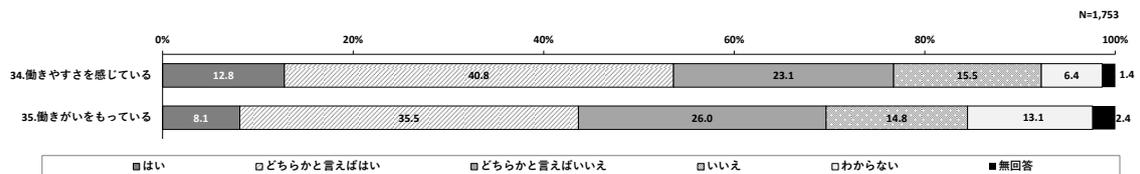
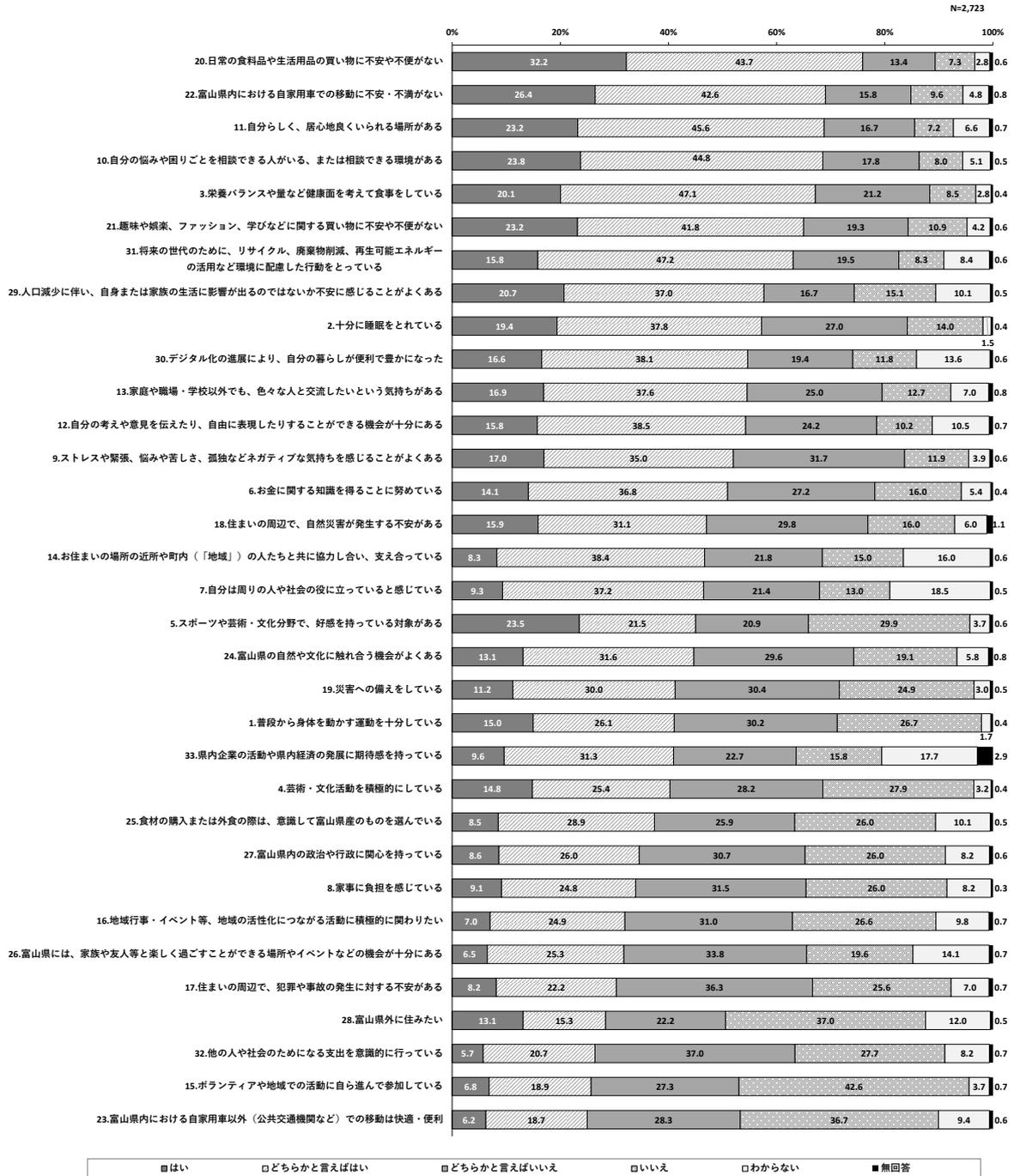
2. その他の事項について

問 14. あなた自身の状況や意識、お考えをお聞きします。

自身の状況や意識について、『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が「20.日常の食料品や生活用品の買い物に不安や不便がない」で75.9%と最も高く、次いで「22.富山県内における自家用車での移動に不安・不満がない」（69.0%）、「11.自分らしく居心地良くいられる場所がある」（68.7%）であった。

一方、「23.富山県内における自家用車以外（公共交通機関など）での移動は快適・便利である。」で『はい』が24.9%と最も低く、次いで「15.ボランティアや地域での活動に自ら進んで参加している。」（25.7%）、「32.他の人や社会のためになる支出を意識的に行っている。」（26.4%）であった。

図表 14 あなた自身の健康、余暇活動等について



問 14-① 健康や趣味等のため、身体を動かす運動を十分に行っていると思う。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 41.1%で、一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は 56.9%と、『いいえ』の方が 15.8 ポイント高い。

(2) 年齢別

「15～19 歳」で『はい』が 63.5%を占めているものの、「30～39 歳」「40～49 歳」では各 32.4%と、他の年代と比較して低くなっている。

(3) 性別

『はい』は「女性」よりも「男性」の方が 13.4 ポイント高い。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚していない」では『はい』が 47.2%と、他と比較して高い。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもが「いない」では『はい』が 47.8%と、「いる」よりも 11.1 ポイント高い。

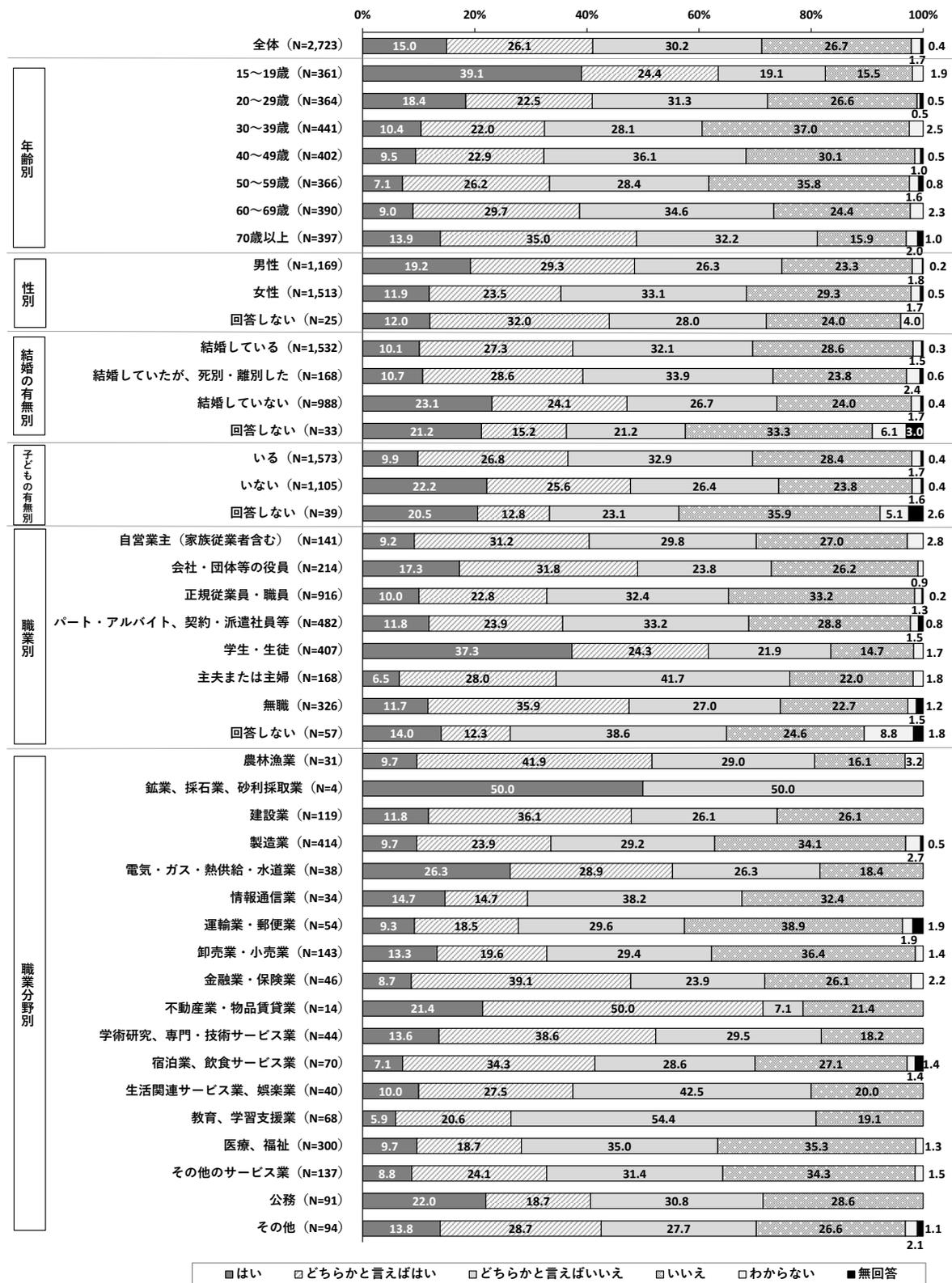
(5) - 1 職業別

「学生・生徒」では『はい』が 61.6%と、他の職業と比べて高い。

(5) - 2 職業分野別

「電気・ガス・熱供給・水道業」では『はい』が 55.2%と、他の職業分野と比較して高い。一方、「教育、学習支援業」では『はい』が 26.5%と、他の職業分野と比較して若干低くなっている。

図表 14-1 健康や趣味等のため、身体を動かす運動を十分に行っていると思う。



問 14-② 十分に睡眠をとれていると思う。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 57.2%で、一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は 41.0%と、『はい』の方が 16.2 ポイント高くなっている。

(2) 年齢別

「15～19 歳」では『はい』が 67.3%と、他と比較して高い。一方「40 歳～49 歳」では『はい』が 47.7%と、他の年代と比べて低くなっている。

(3) 性別

男女間で大きな差は見られない。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚していない」では『はい』が 60.0%と、他と比較して高い。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもが「いない」では『はい』が 59.8%と、「いる」よりも 4.2 ポイント高い。

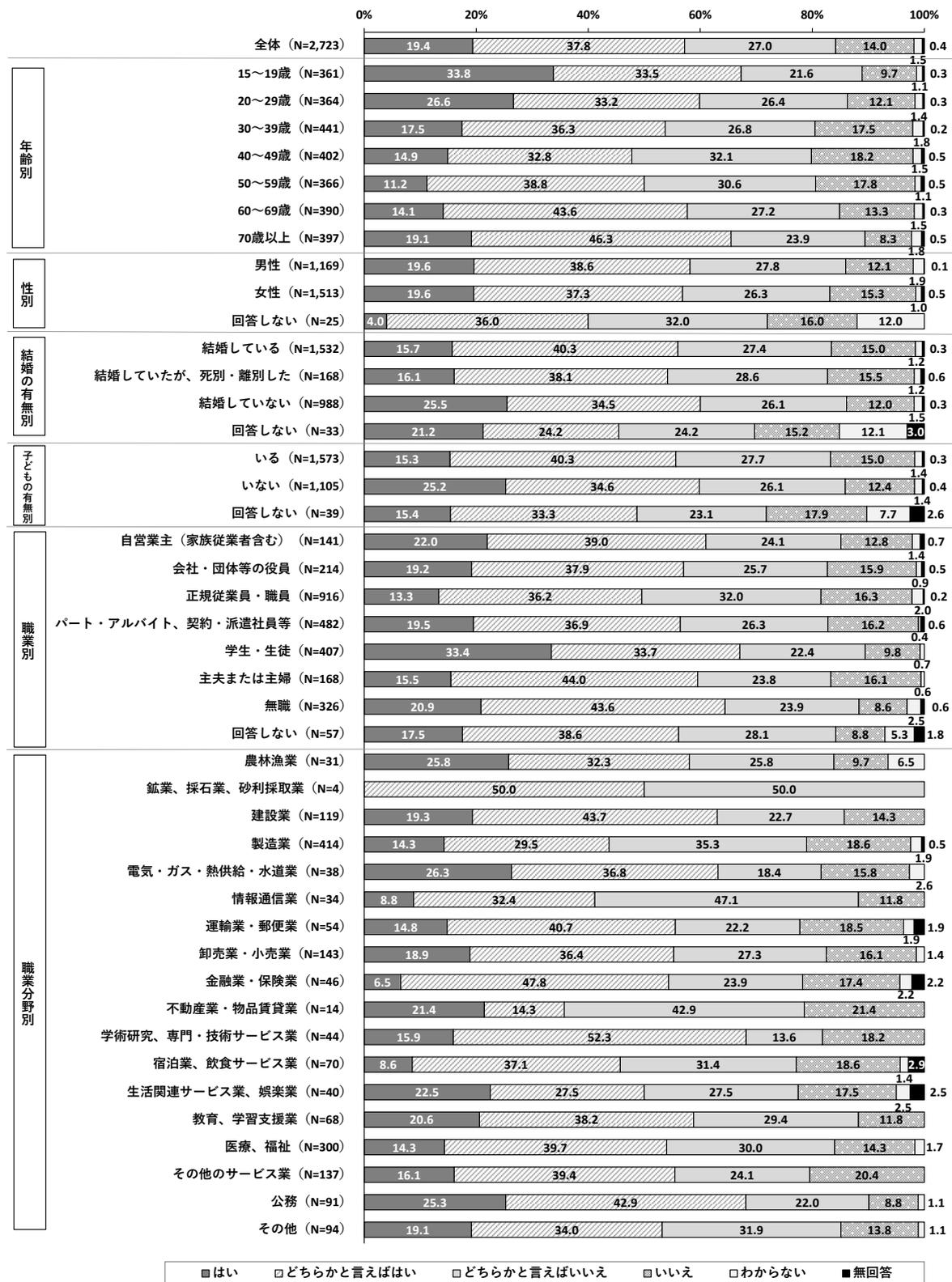
(5) - 1 職業別

「学生・生徒」では『はい』が 67.1%と、他の職業と比べて高い。一方、「正規従業員・職員」では 49.5%と、他の職業と比べて低くなっている。

(5) - 2 職業分野別

「建設業」「電気・ガス・熱供給・水道業」「学術研究、専門・技術サービス業」「公務」では『はい』が 6 割を超えており、他の職業分野と比較して高い。一方、「情報通信業」では『はい』が 41.2%と、他の職業分野と比較して低くなっている。

図表 14-2 十分に睡眠をとれていると思う。



問 14-③ 栄養バランスや量など健康面を考えて食事をしている。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 67.2%で、一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は 29.7%と、『はい』の方が 37.5 ポイント高い。

(2) 年齢別

「15～19 歳」で『はい』が 74.0%と高くなっている。一方、「50～59 歳」では『はい』が 58.4%と他の年代と比べて低くなっている。

(3) 性別

『はい』は「男性」よりも「女性」の方が 4.8 ポイント高い。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚している」では『はい』が 69.9%と、他と比較して高い。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもが「いる」では『はい』が 69.2%と、「いない」よりも 4.2 ポイント高い。

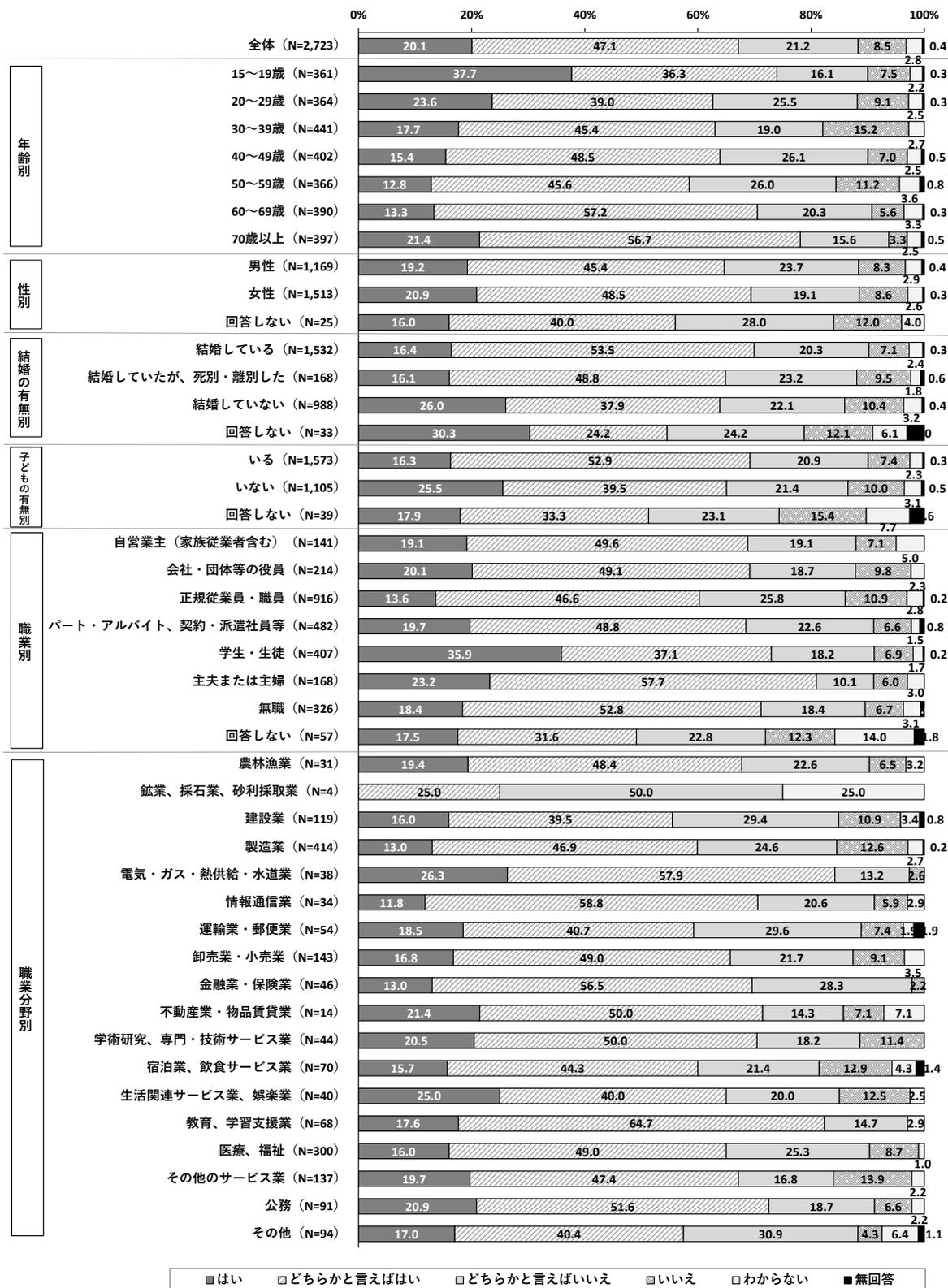
(5) - 1 職業別

「主夫または主婦」では『はい』が 80.9%と、他の職業と比べて高い。一方、「正規従業員・職員」では 60.2%と、他の職業と比べて低くなっている。

(5) - 2 職業分野別

「電気・ガス・熱供給・水道業」「情報通信業」「学術研究、専門・技術サービス業」「教育、学習支援業」「公務」では『はい』が 7 割以上となっている。一方、「建設業」「運輸業・郵便業」「その他」では『はい』が 5 割台と、他の職業分野と比較して低くなっている。

図表 14-3 栄養バランスや量など健康面を考えて食事をしている。



問 14-④ 芸術・文化（美術、音楽、演劇・演芸、舞踊、生活文化、文芸、映画、メディア芸術、伝統芸能等）に関する活動（自ら取り組む、または鑑賞するなど）を積極的に行っている。

（1）全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 40.2%で、一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は 56.1%と、『いいえ』の方が 15.9 ポイント高い。

（2）年齢別

「15～19 歳」で『はい』が 64.9%を占めているが、30 歳代以上では 3 割台となっている。

（3）性別

『はい』は「男性」よりも「女性」の方が 11.1 ポイント高い。

（4）－ 1 結婚の有無別

「結婚していない」では『はい』が 52.9%と、他と比較して高い。

（4）－ 2 子どもの有無別

子どもが「いない」では『はい』が 52.4%と、「いる」よりも 20.3 ポイント高い。

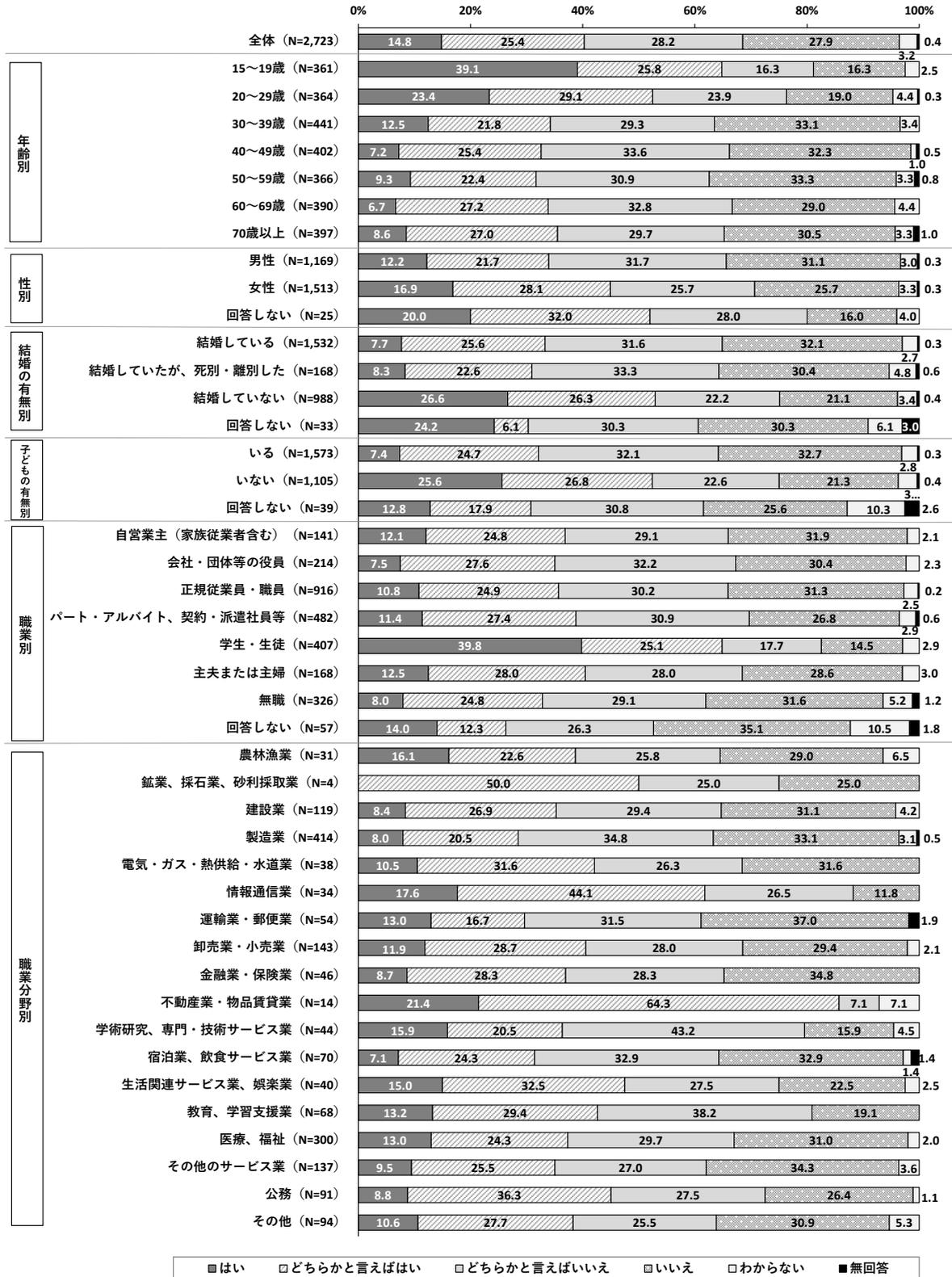
（5）－ 1 職業別

「学生・生徒」では『はい』が 64.9%と、他の職業と比べて高い。

（5）－ 2 職業分野別

「情報通信業」では『はい』が 61.7%と、他の職業分野よりも高くなっている。一方、「製造業」では『はい』が 28.5%と、他の職業分野と比較して低くなっている。

図表 14-4 芸術・文化（美術、音楽、演劇・演芸、舞踊、生活文化、文芸、映画、メディア芸術、伝統芸能等）に関する活動（自ら取り組む、または鑑賞するなど）を積極的に行っている。



問 14-⑤ 特に応援や支持していたり、人に薦めたいほど好感を持っていたりする対象がある。(何かのファンである／いわゆる「推し」がいる)

(1) 全体

『はい』(「はい」+「どちらかと言えばはい」)が45.0%で、一方、『いいえ』(「どちらかと言えばいいえ」+「いいえ」)は50.2%と、『いいえ』の方が5.2ポイント高い。

(2) 年齢別

20歳代以下で『はい』が6割を超えており、「15～19歳」では79.2%と、他の年代よりも高くなっている。

(3) 性別

『はい』は「男性」よりも「女性」の方が10.6ポイント高い。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚していない」では『はい』が65.5%と、他と比較して高い。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもが「いない」では『はい』が63.3%と、「いる」よりも30.9ポイント高い。

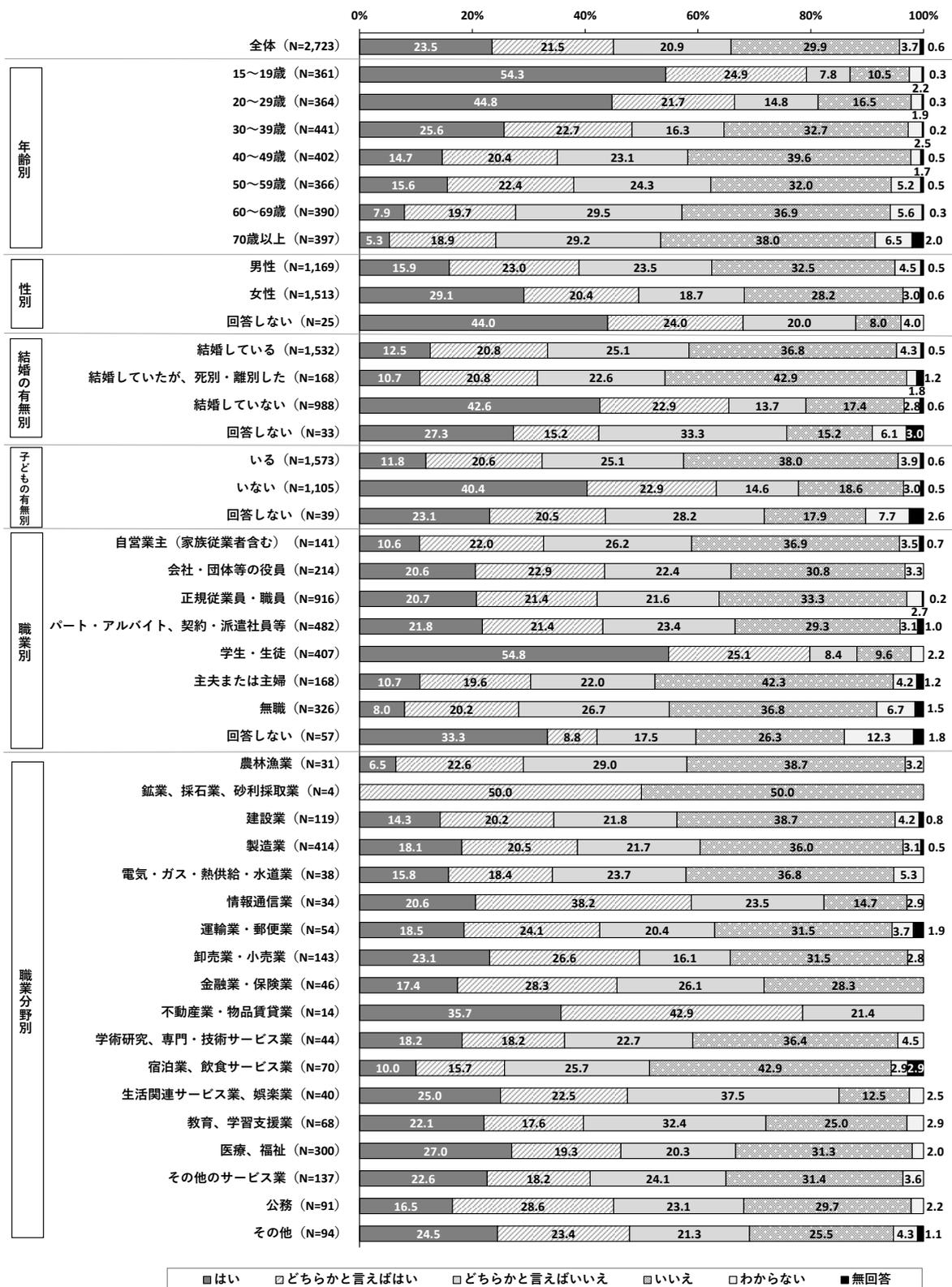
(5) - 1 職業別

「学生・生徒」では『はい』が79.9%と、他の職業と比べて高く、一方、「無職」では28.2%と、他の職業と比べて低くなっている。

(5) - 2 職業分野別

「農林漁業」「宿泊業、飲食サービス業」では『はい』が2割台と、他の職業分野と比較して低くなっている。

図表 14-5 特に応援や支持していたり、人に薦めたいほど好感を持っていたりする対象がある。(何かのファンである／いわゆる「推し」がいる)



問 14-⑥ 自分や家族のため、お金に関する知識（収入・支出の管理、貯蓄、投資等）を得ることに努めている。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 50.9%で、一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は 43.2%と、『はい』の方が 7.7 ポイント高い。

(2) 年齢別

「15～19 歳」と「50～59 歳」では『はい』が 4 割台と他と比べて低くなっている。

(3) 性別

男女間で大きな差は見られない。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚している」では『はい』が 54.0%と、他と比較して高い。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもが「いる」では『はい』が 52.8%と、「いない」よりも 4.5 ポイント高い。

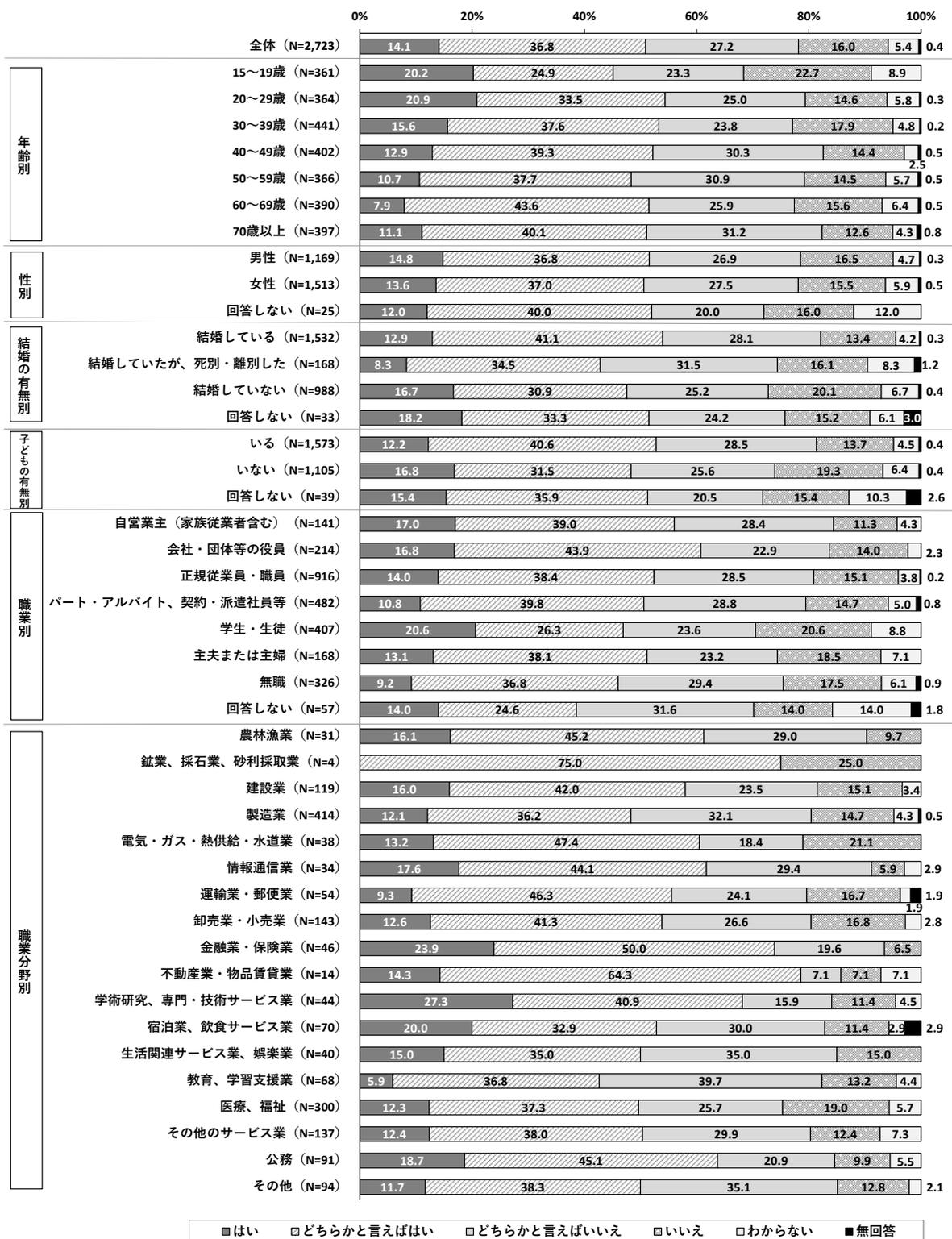
(5) - 1 職業別

「会社・団体等の役員」では『はい』が 60.7%と、他の職業と比べて高い。

(5) - 2 職業分野別

「金融業・保険業」では『はい』が 73.9%と、他の職業分野よりも高くなっている。一方、「教育、学習支援業」では『はい』が 42.7%と、他の職業分野と比較して低くなっている。

図表 14-6 自分や家族のため、お金に関する知識（収入・支出の管理、貯蓄、投資等）を得ることに努めている。



問 14-⑦ 自分は周りの人や社会の役に立っていると感じている。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 46.5%で、一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は 34.4%と、『はい』の方が 12.1 ポイント高い。

(2) 年齢別

概ね年齢が高くなるにつれ『はい』の割合が低くなる傾向にある。「15～19 歳」では、「はい」が 21.1%と、「70 歳以上」と比べて 15.3 ポイント高い。

(3) 性別

『はい』は「女性」よりも「男性」の方が 5.3 ポイント高い。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚している」では『はい』が 49.3%と、他と比較して高い。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもの有無で大きな差は見られない。

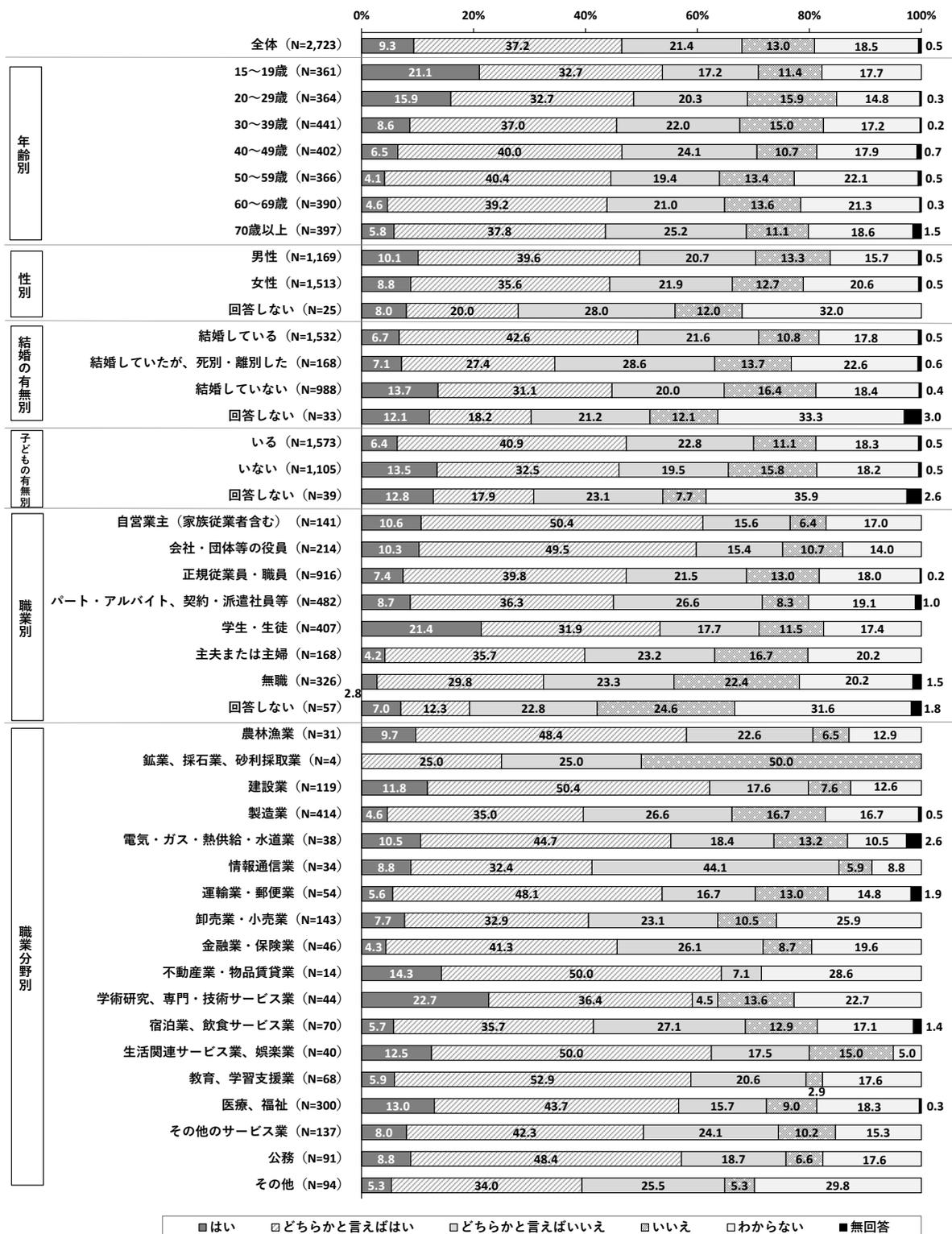
(5) - 1 職業別

「自営業主（家族従業者含む）」「会社・団体等の役員」「学生・生徒」では『はい』が 5 割以上を占めている。一方、「無職」では『はい』が 32.6%と他の職業と比べて低い。

(5) - 2 職業分野別

「建設業」「生活関連サービス業、娯楽業」では『はい』が 6 割台と、他の職業分野よりも高くなっている。一方、「製造業」「その他」では『はい』が 3 割台と、他の職業分野と比較して低くなっている。

図表 14-7 自分は周りの人や社会の役に立っていると感じている。



問 14-⑧ 家事（炊事、洗濯、掃除、買い物等）や家族の世話（子育て・介護等）に負担を感じている。

（1）全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 33.9%で、一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は 57.5%と、『いいえ』の方が 23.6 ポイント高い。

（2）年齢別

「30～39 歳」「40～49 歳」で『はい』が 4 割台と、他の年代と比べて高くなっている。一方、「15～19 歳」「20～29 歳」「70 歳以上」で『はい』が 2 割台と、他よりも低くなっている。

（3）性別

『はい』は「男性」よりも「女性」の方が 10.4 ポイント高い。

（4）－1 結婚の有無別

「結婚していない」では『はい』が 23.7%と、他と比較して低い。

（4）－2 子どもの有無別

子どもが「いる」では『はい』が 39.9%と、「いない」よりも 14.4 ポイント高い。

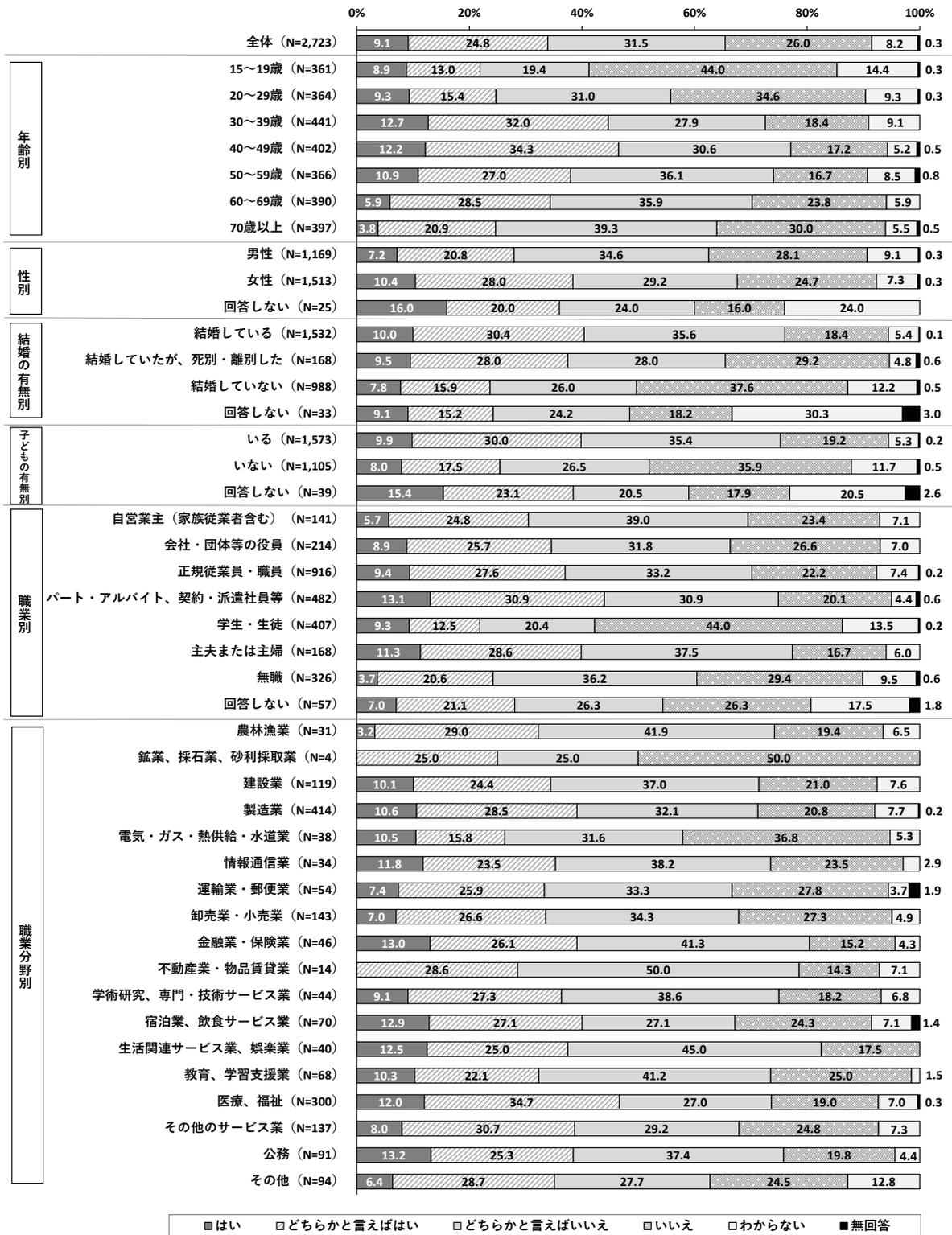
（5）－1 職業別

「パート・アルバイト、契約・派遣社員等」では『はい』が 44.0%と、他の職業と比べて高い。

（5）－2 職業分野別

「医療、福祉」では『はい』が 46.7%と、他の職業分野よりも高くなっている。一方、「電気・ガス・熱供給・水道業」では『はい』が 26.3%と、他の職業分野と比較して低くなっている。

図表 14-8 家事（炊事、洗濯、掃除、買い物等）や家族の世話（子育て・介護等）に負担を感じている。



問 14-⑨ ストレスや緊張、悩みや苦しさ、孤独などネガティブな気持ちを感じるこ
とがよくある。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 52.0%で、一方、『いいえ』（「どちらかと言
えばいいえ」＋「いいえ」）は 43.6%と、『はい』の方が 8.4 ポイント高い。

(2) 年齢別

20 歳代～40 代で『はい』が 6 割程度を占めている。一方、70 歳以上では 39.0%と、他の年代
と比べて低くなっている。

(3) 性別

『はい』は「男性」よりも「女性」の方が 6.7 ポイント高い。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚していない」では『はい』が 58.7%と、他と比較して高い。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもが「いない」では『はい』が 58.4%と、「いる」よりも 11.0 ポイント高い。

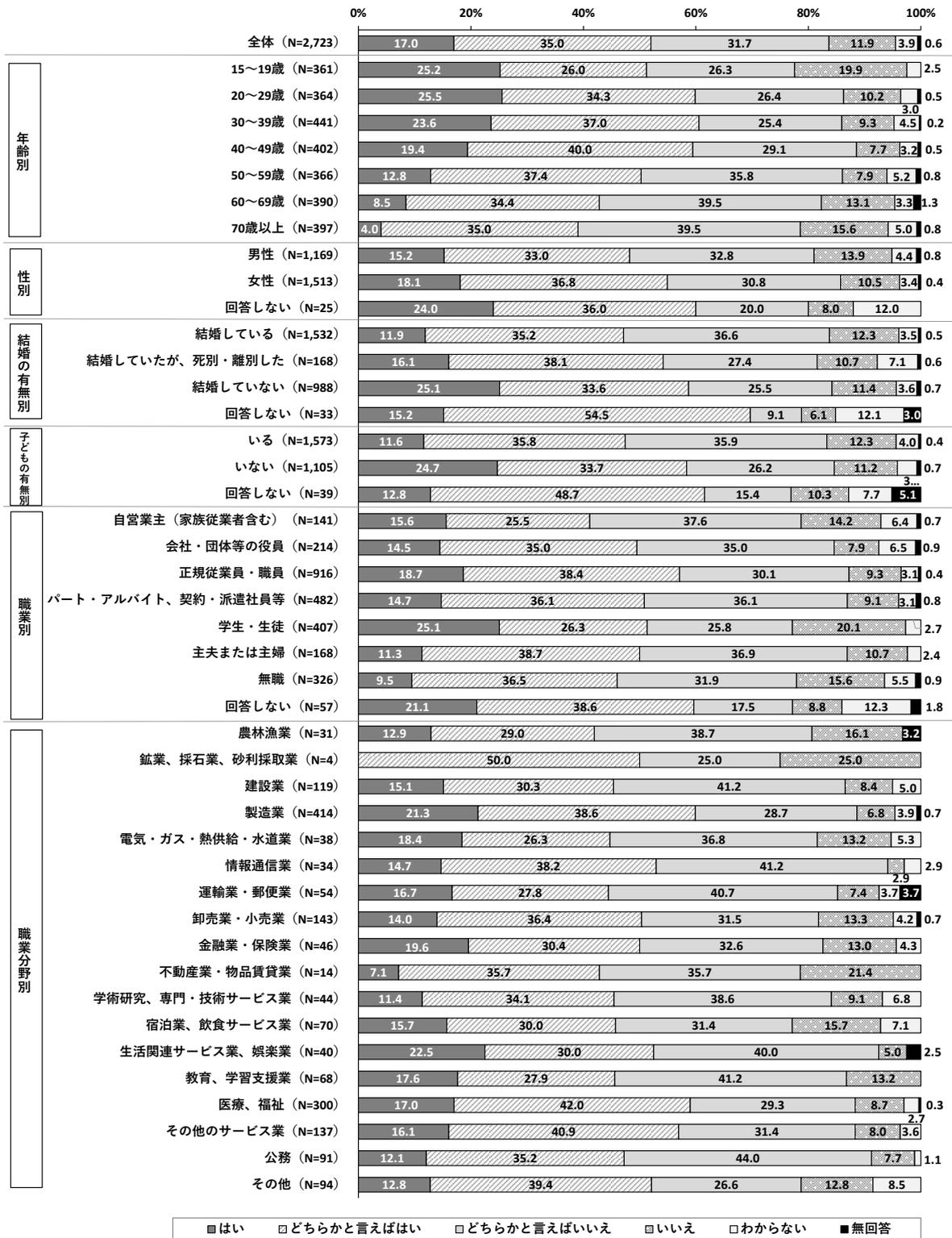
(5) - 1 職業別

「正規従業員・職員」では『はい』が 57.1%と、他の職業と比べて高い。

(5) - 2 職業分野別

「製造業」では『はい』が 59.9%と、他の職業分野よりも高くなっている。一方、「農林漁業」
では『はい』が 41.9%と、他の職業分野と比較して低くなっている。

図表 14-9 ストレスや緊張、悩みや苦しさ、孤独などネガティブな気持ちを感じるものがよくある。



問 14-⑩ 自分の悩みや困りごとを相談できる人がいる、または相談できる環境がある。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 68.6%で、一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は 25.8%と、『はい』の方が 42.8 ポイント高い。

(2) 年齢別

10代～60代までは概ね年代が上がるにつれて、『はい』が低くなる傾向にあるが、「70歳代以上」では6割台となっている。

(3) 性別

『はい』は「男性」よりも「女性」の方が 12.6 ポイント高い。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚していない」では『はい』が 70.1%と、他と比較して高い。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもが「いない」では『はい』が 70.2%と、「いる」よりも 1.9 ポイント高い。

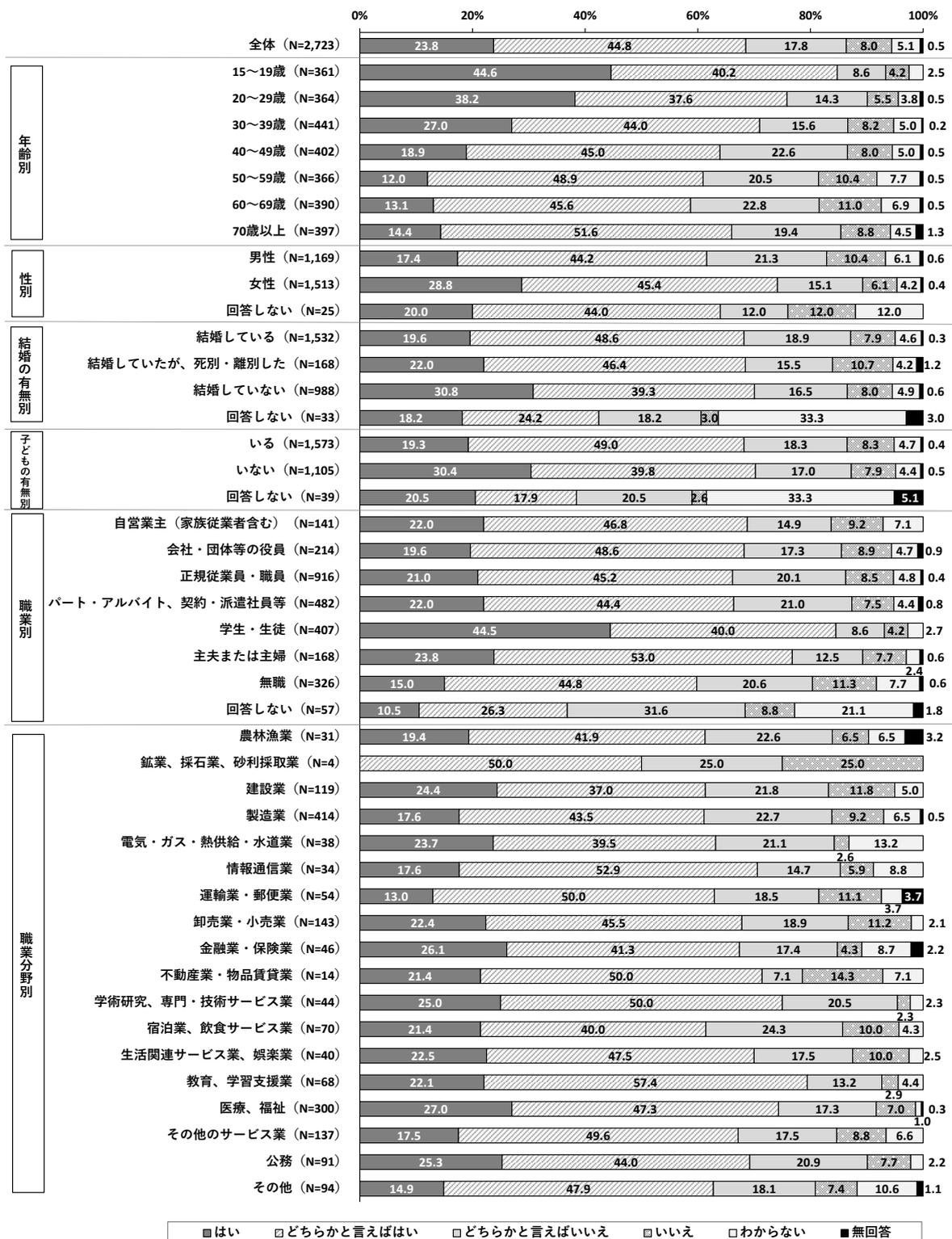
(5) - 1 職業別

「学生・生徒」では『はい』が 84.5%と、他の職業と比べて高い。

(5) - 2 職業分野別

「教育、学習支援業」では『はい』が 79.5%と、他の職業分野よりも高くなっている。一方、「製造業」では『はい』が 61.1%と、他の職業分野と比較して低くなっている。

図表 14-10 自分の悩みや困りごとを相談できる人がいる、または相談できる環境がある。



問 14-⑪ 自分らしく、居心地良くいられる場所（自宅、職場、学校、団体、各種コミュニティ（オンライン上のコミュニティ含む）など）が十分にある。

（1）全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 68.8%で、一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は 23.9%と、『はい』の方が 44.9 ポイント高い。

（2）年齢別

「15～19 歳」で『はい』が 91.2%と、他の年代よりも高くなっている。一方、「50～59 歳」「60～69 歳」で『はい』が 5 割台と他の年代と比べて低くなっている。

（3）性別

『はい』は「男性」よりも「女性」の方が 7.4 ポイント高い。

（4）－1 結婚の有無別

「結婚していない」では『はい』が 72.4%と、他と比較して高い。

（4）－2 子どもの有無別

子どもが「いない」では『はい』が 72.2%と、「いる」よりも 5.1 ポイント高い。

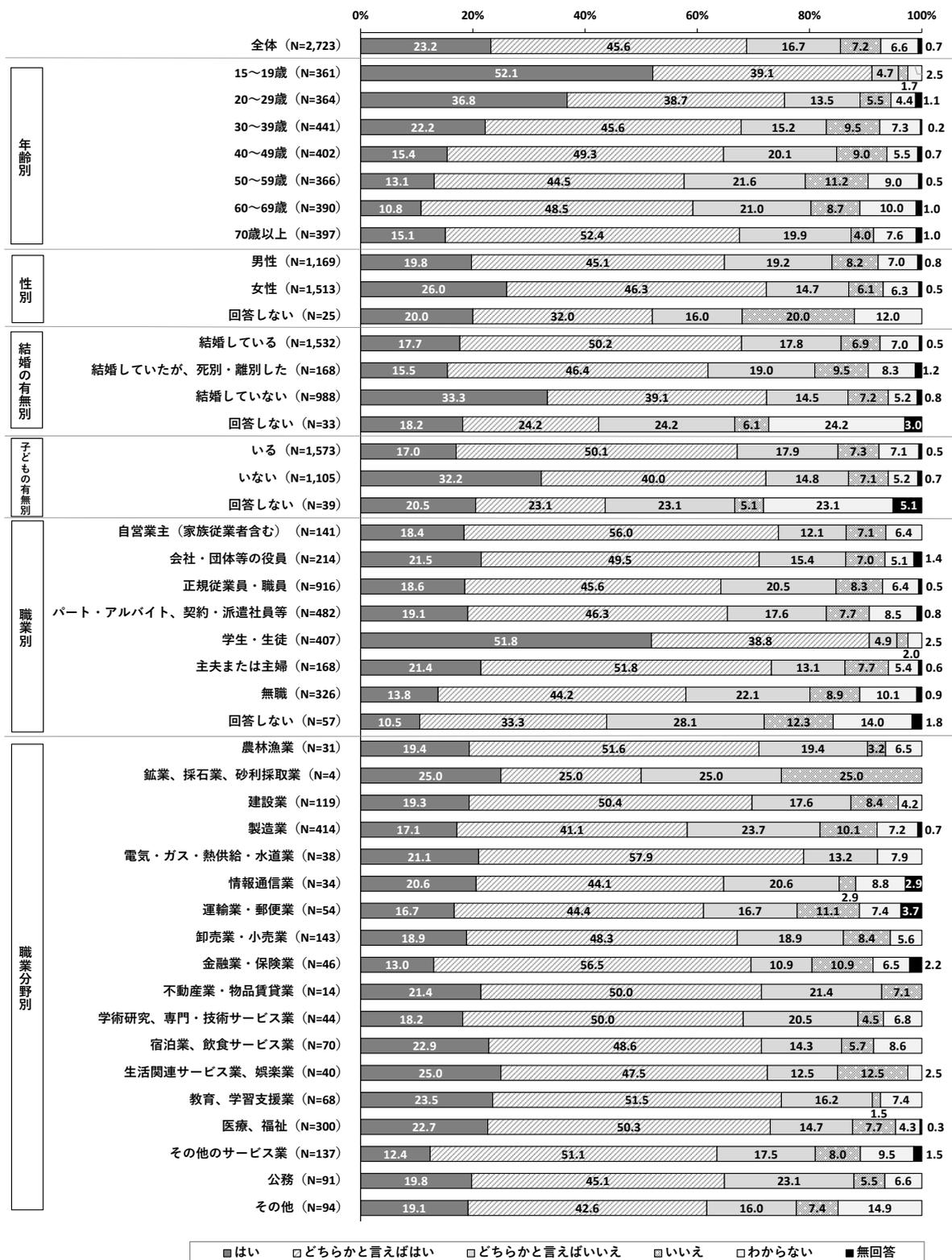
（5）－1 職業別

「学生・生徒」では『はい』が 90.6%と、他の職業と比べて高い。

（5）－2 職業分野別

「電気・ガス・熱供給・水道業」では『はい』が 79.0%と他の職業分野よりも高くなっている。一方、「製造業」では『はい』が 58.2%と、他の職業分野と比較して低くなっている。

図表 14-11 自分らしく、居心地良くいられる場所（自宅、職場、学校、団体、各種コミュニティ（オンライン上のコミュニティ含む）など）が十分にある。



問 14-⑫ 自分の考えや意見を伝えたり、自由に表現したりすることができる機会が十分にある。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 54.3%で、一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は 34.4%と、『はい』の方が 19.9 ポイント高い。

(2) 年齢別

10代から 60代までは概ね年代が上がるにつれて、『はい』が低くなる傾向にある。

(3) 性別

『はい』は「男性」よりも「女性」の方が 4.3 ポイント高い。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚していない」では『はい』が 61.0%と、他と比較して高い。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもが「いない」では『はい』が 60.9%と、「いる」よりも 10.7 ポイント高い。

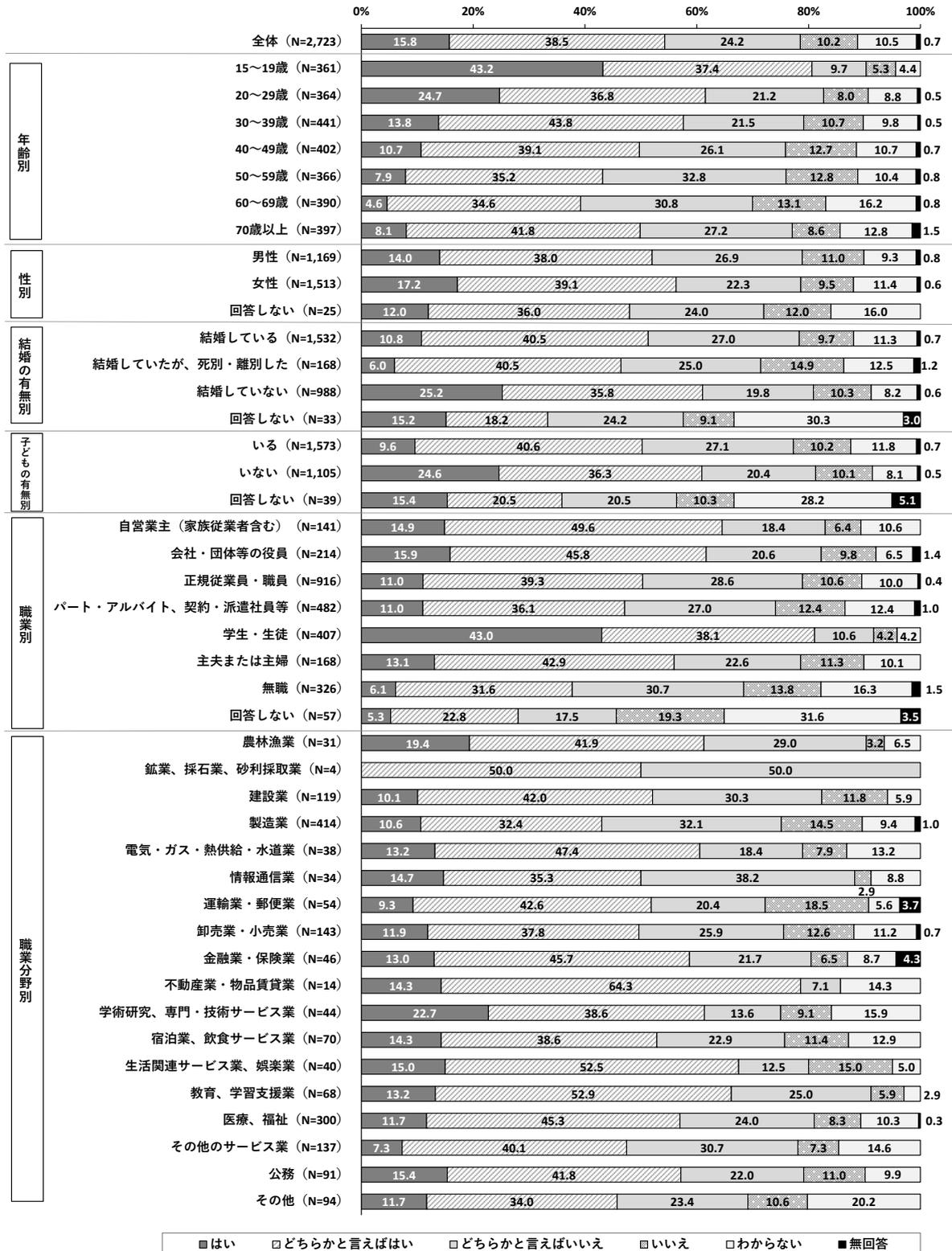
(5) - 1 職業別

「学生・生徒」では『はい』が 81.1%と、他の職業と比べて高い。

(5) - 2 職業分野別

「生活関連サービス業、娯楽業」では『はい』が 67.5%と、他の職業分野よりも高くなっている。一方、「製造業」では『はい』が 43.0%と、他の職業分野と比較して低くなっている。

図表 14-12 自分の考えや意見を伝えたり、自由に表現したりすることができる機会が十分にある。



■はい □どちらかと言えばはい □どちらかと言えばいいえ □いいえ □わからない ■無回答

問 14-⑬ 家庭や職場・学校以外でも、色々な人と交流したいという気持ちがある。

(1) 全体

『はい』(「はい」+「どちらかと言えばはい」)が54.5%で、一方、『いいえ』(「どちらかと言えばいいえ」+「いいえ」)は37.7%と、『はい』の方が16.8ポイント高い。

(2) 年齢別

「15～19歳」で『はい』が74.2%を占めているが、30歳代以上では3割台となっている。一方、「50～59歳」では44.0%と他の年代より低い。

(3) 性別

男女間で大きな差は見られない。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚している」では『はい』が51.7%と、他と比較して低い。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもが「いない」では『はい』が58.9%と、「いる」よりも6.8ポイント高い。

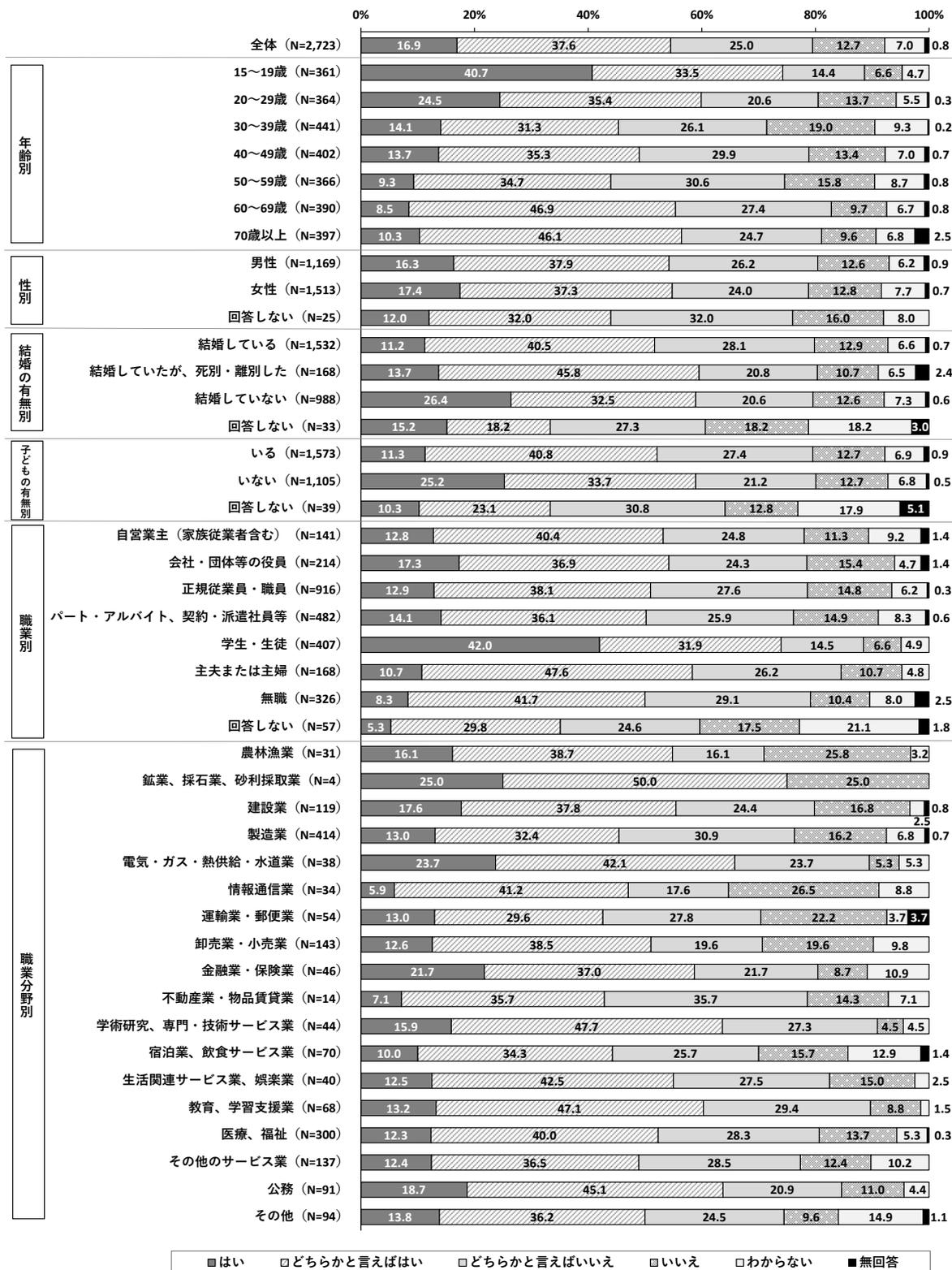
(5) - 1 職業別

「学生・生徒」では『はい』が73.9%と、他の職業と比べて高い。

(5) - 2 職業分野別

「電気・ガス・熱供給・水道業」では『はい』が65.8%と、他の職業分野よりも高くなっている。一方、「製造業」では『はい』が45.4%と、他の職業分野と比較して低くなっている。

図表 14-13 家庭や職場・学校以外でも、色々な人と交流したいという気持ちがある。



問 14-⑭ お住まいの場所の近所や町内（「地域」）の人たちと共に協力し合い、支え合っている。

（１）全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 46.7%で、一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は 36.8%と、『はい』の方が 9.9 ポイント高い。

（２）年齢別

「70 歳以上」で『はい』が 64.8%を占めている。一方、「20～29 歳」「30～39 歳」では 3 割台となっている。

（３）性別

『はい』は「女性」よりも「男性」の方が 10.0 ポイント高い。

（４）－１ 結婚の有無別

「結婚している」では『はい』が 51.7%と、他と比較して高い。

（４）－２ 子どもの有無別

子どもが「いる」では『はい』が 51.7%と、「いない」よりも 11.2 ポイント高い。

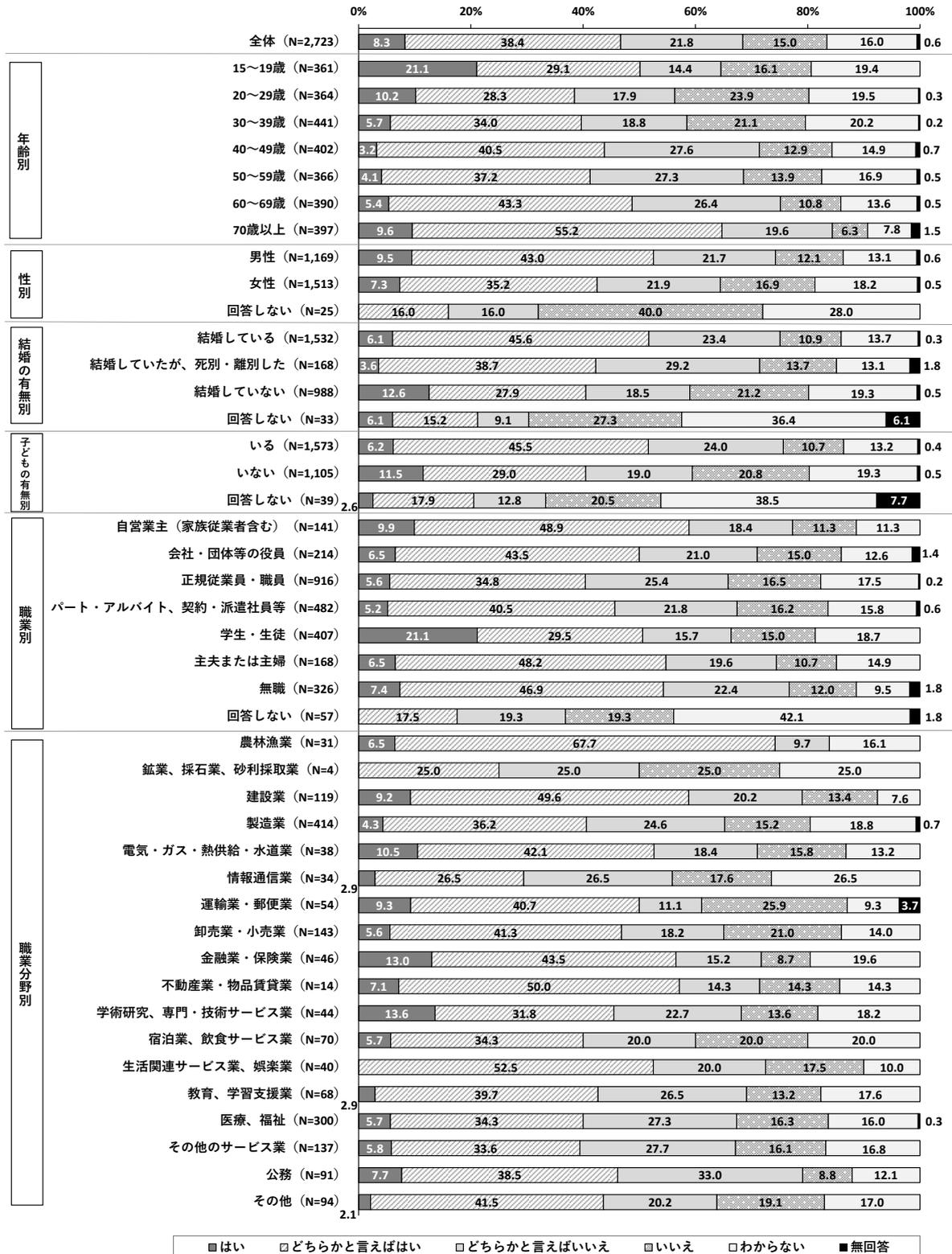
（５）－１ 職業別

「自営業主（家族従業者含む）」では『はい』が 58.8%と、他の職業と比べて高い。

（５）－２ 職業分野別

「農林漁業」では『はい』が 74.2%と、他の職業分野よりも高くなっている。一方、「情報通信業」では『はい』が 29.4%と、他の職業分野と比較して低くなっている。

図表 14-14 お住まいの場所の近所や町内（「地域」）の人たちと共に協力し合い、支え合っている。



問 14-⑮ ボランティアや地域での活動に自ら進んで参加している。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 25.7%で、一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は 69.9%と、『いいえ』の方が 44.2 ポイント高い。

(2) 年齢別

「15～19 歳」「70 歳以上」で『はい』が 3 割台を占め、他の年代と比べて高くなっている。

(3) 性別

『はい』は「女性」よりも「男性」の方が 10.8 ポイント高い。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚している」では『はい』が 28.3%と、他と比較して高い。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもが「いる」では『はい』が 28.6%と、「いない」よりも 6.6 ポイント高い。

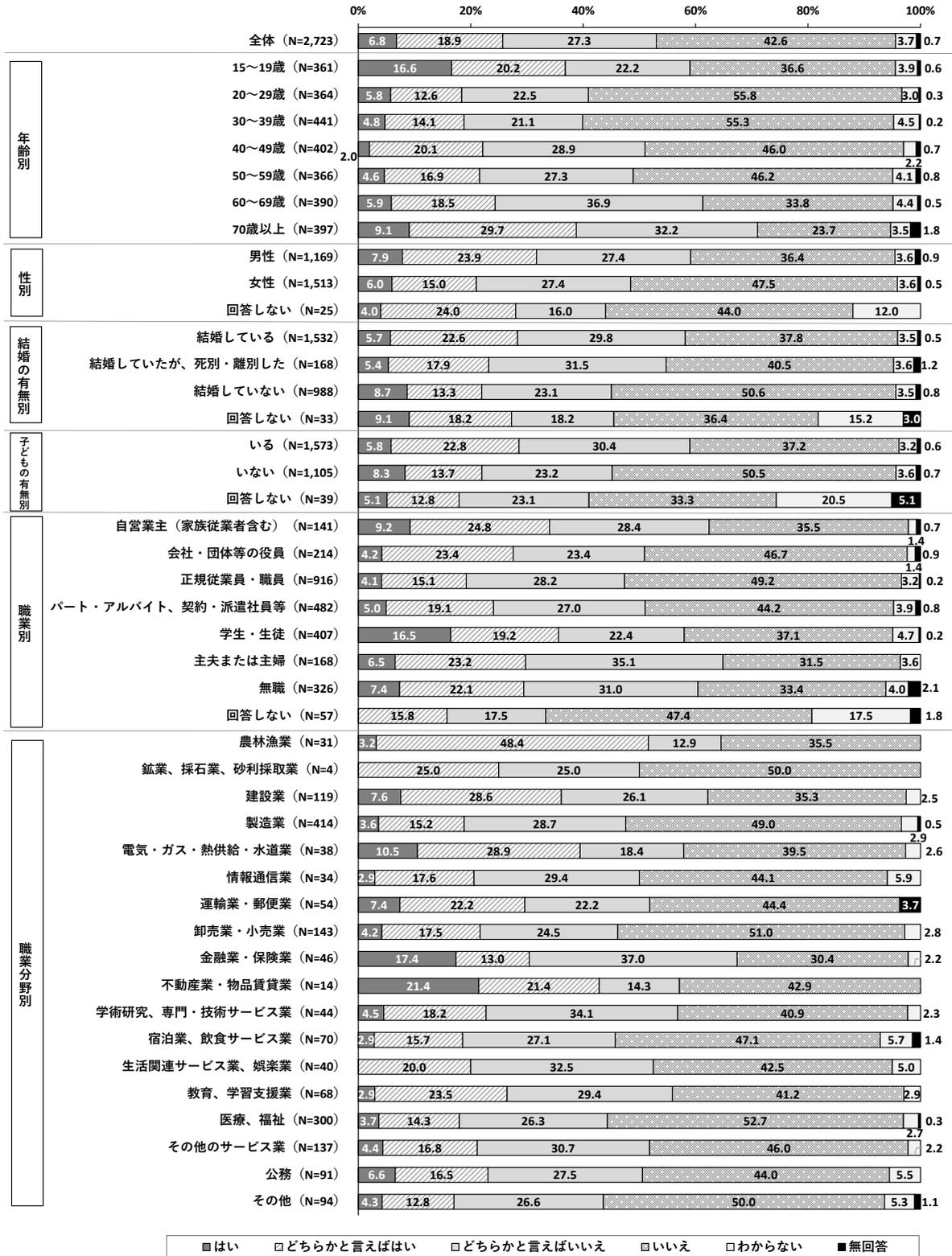
(5) - 1 職業別

「学生・生徒」では『はい』が 35.7%と、他の職業と比べて高い。

(5) - 2 職業分野別

「農林漁業」では『はい』が 51.6%と、他の職業分野よりも高くなっている。一方、「その他」では『はい』が 17.1%と、他の職業分野と比較して低くなっている。

図表 14-15 ボランティアや地域での活動に自ら進んで参加している。



問 14-⑯ 地域行事・イベント等、地域の活性化につながる活動に積極的に関わりたい。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 31.9%で、一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は 57.6%と、『いいえ』の方が 25.7 ポイント高い。

(2) 年齢別

「15～19 歳」で『はい』が 47.4%を占めている。一方、30 歳代から 60 歳代では 2 割台となっている。

(3) 性別

『はい』は「女性」よりも「男性」の方が 8.5 ポイント高い。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚していたが、死別・離別した」では『はい』が 23.8%と、他と比較して低い。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもが「いない」で「はい」が 10.2%と、「いる」よりも 5.4 ポイント高い。

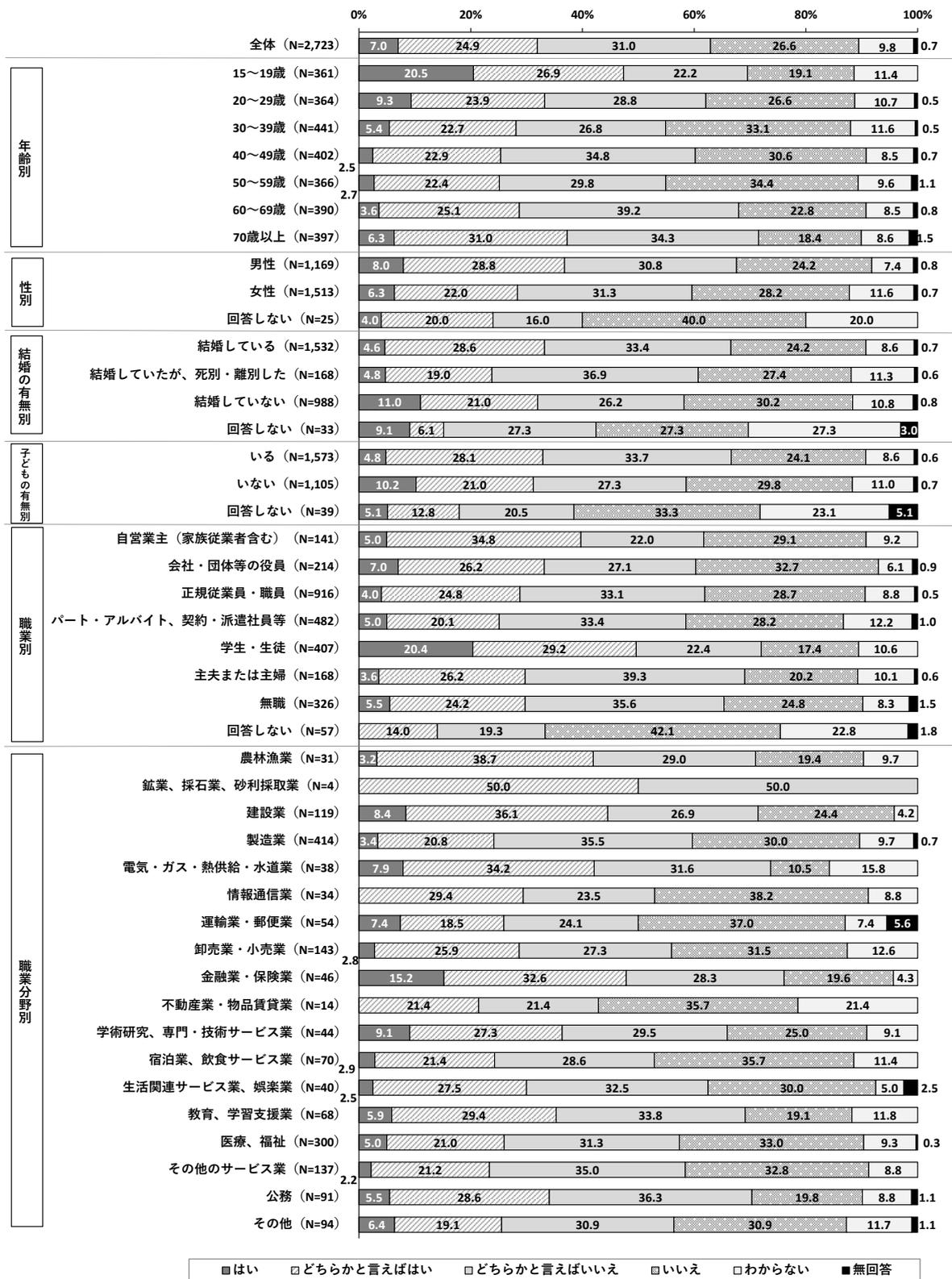
(5) - 1 職業別

「学生・生徒」では『はい』が 49.6%と、他の職業と比べて高い。

(5) - 2 職業分野別

「金融業・保険業」では『はい』が 47.8%と、他の職業分野よりも高くなっている。一方、「その他のサービス業」では『はい』が 23.4%と、他の職業分野と比較して低くなっている。

図表 14-16 地域行事・イベント等、地域の活性化につながる活動に積極的に関わりたい。



■はい □どちらかと言えばはい □どちらかと言えはいえ □いいえ □わからない ■無回答

問 14-⑰ 住まいの周辺で、犯罪や事故の発生に対する不安がある。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 30.4%で、一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は 61.9%と、『いいえ』の方が 31.5 ポイント高い。

(2) 年齢別

「30～39 歳」「40～49 歳」で『はい』が 3 割台を占め、他の年代と比べて高くなっている。

(3) 性別

『はい』は「男性」よりも「女性」の方が 1.7 ポイント高い。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚していたが、死別・離別した」では『はい』が 32.7%と、他と比較して低い。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもが「いる」では『はい』が 31.6%と、「いない」よりも 2.8 ポイント高い。

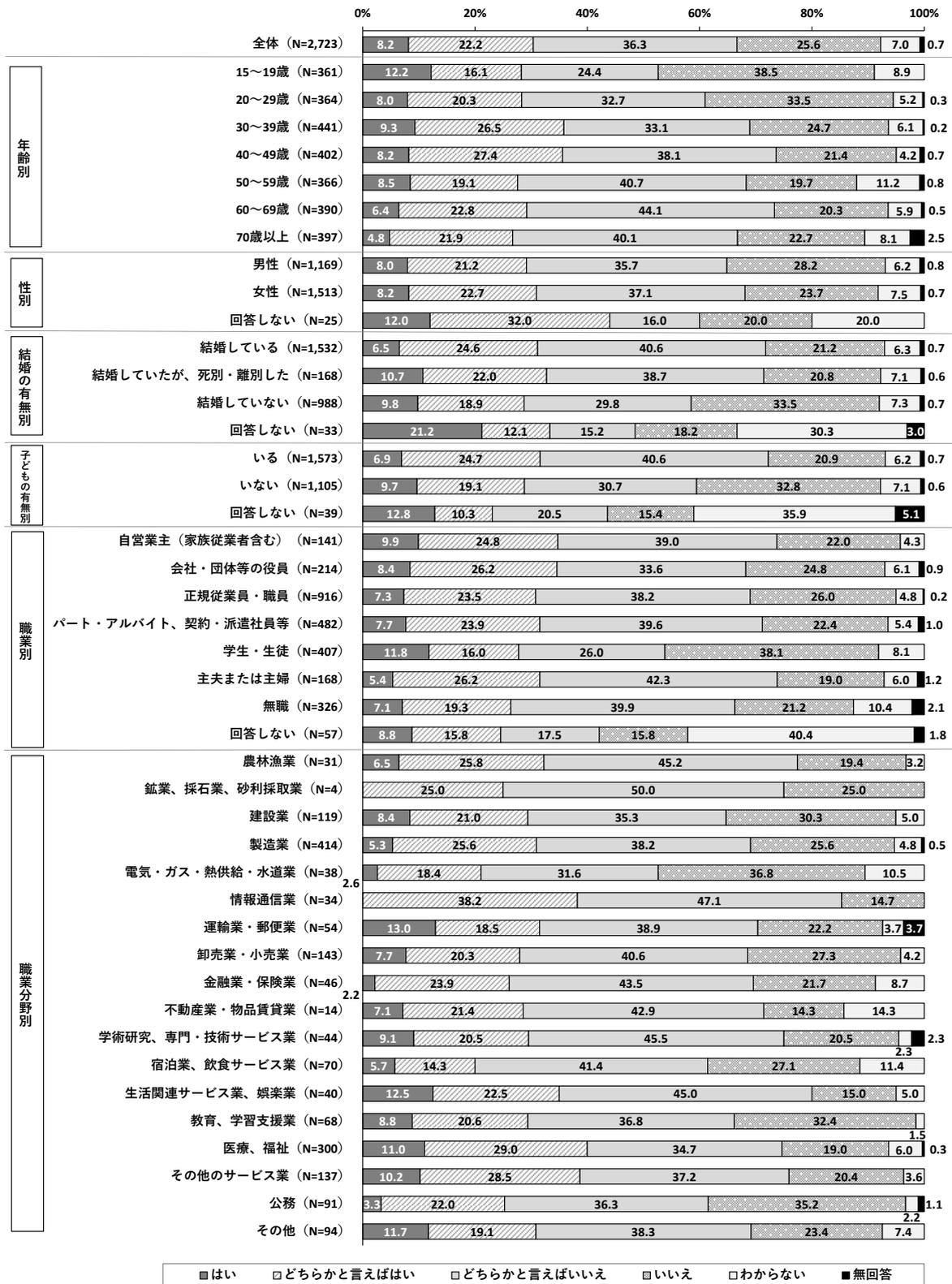
(5) - 1 職業別

「学生・生徒」「無職」を除くすべての職業で『はい』が 3 割台となっている。一方、「学生・生徒」では「はい」が 11.8%と他の職業と比べて高い。

(5) - 2 職業分野別

「医療、福祉」では『はい』が 40.0%と、他の職業分野よりも高くなっている。一方、「宿泊業、飲食サービス業」では『はい』が 20.0%と、他の職業分野と比較して低くなっている。

図表 14-17 住まいの周辺で、犯罪や事故の発生に対する不安がある。



問 14-⑩ 住まいの周辺で、自然災害が発生する不安がある。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 47.0%で、一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は 45.8%と、『はい』の方が 1.2 ポイント高い。

(2) 年齢別

「30～39 歳」では『はい』が 55.6%を占めている。一方、「70 歳代以上」では 37.0%と他の年代と比べて低くなっている。

(3) 性別

『はい』は「男性」よりも「女性」の方が 2.0 ポイント高い。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚していない」では『はい』が 50.0%と、他と比較して高い。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもが「いない」では『はい』が 50.0%と、「いる」よりも 4.7 ポイント高い。

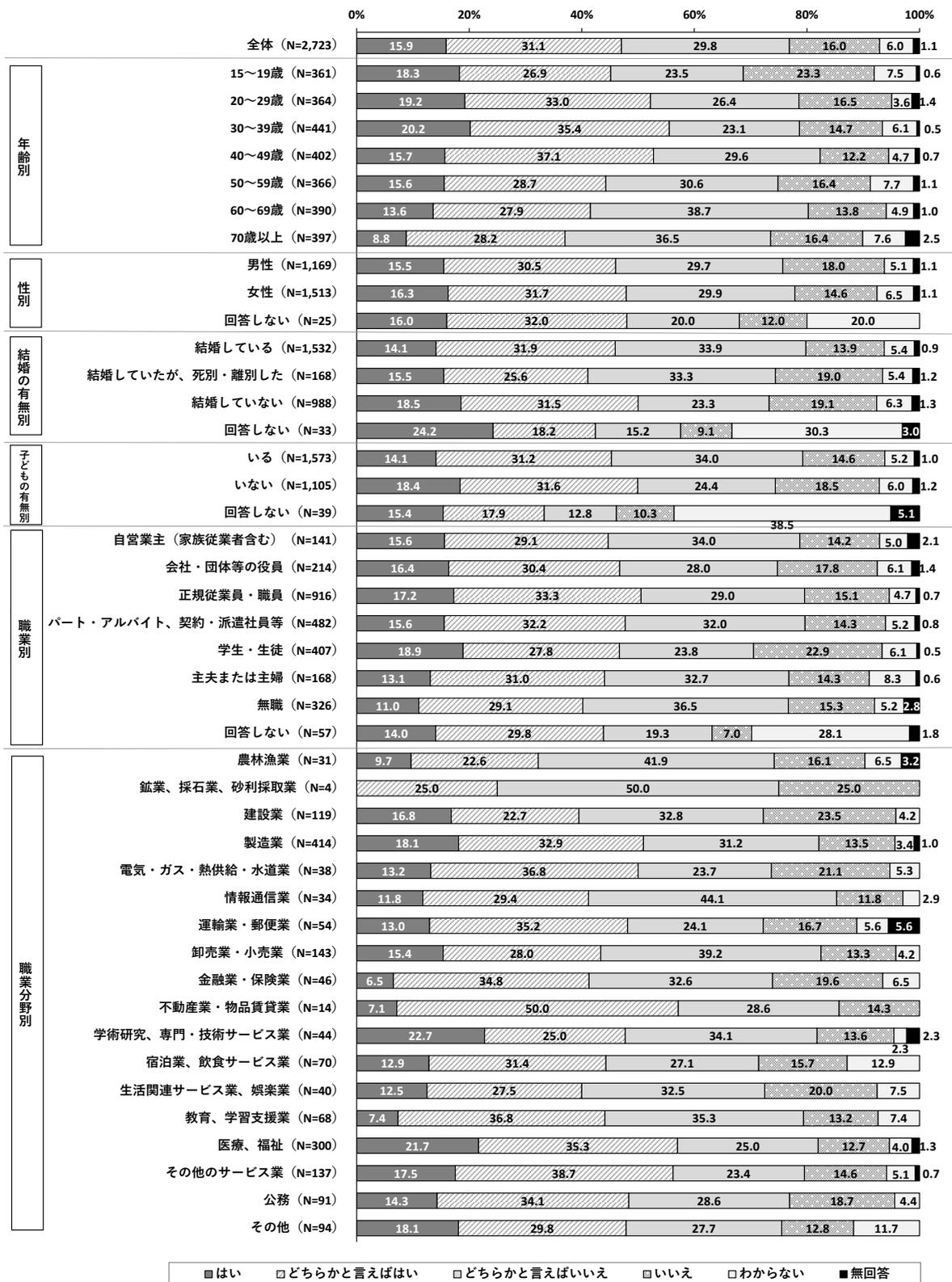
(5) - 1 職業別

「正規従業員・職員」では『はい』が 50.5%と、他の職業と比べて高い。

(5) - 2 職業分野別

「医療、福祉」では『はい』が 57.0%と、他の職業分野よりも高くなっている。一方、「農林漁業」では『はい』が 32.3%と、他の職業分野と比較して低くなっている。

図表 14-18 住まいの周辺で、自然災害が発生する不安がある。



問 14-⑱ 自身の家庭において災害への備え（ハザードマップの確認、食品備蓄、非常用持出品の常備等）をしている。

（1）全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 41.2%で、一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は 55.3%と、『いいえ』の方が 14.1 ポイント高い。

（2）年齢別

「15～19 歳」で『はい』が 50.7%を占めている。一方、「60～69 歳」では 35.1%と、他と比べて低くなっている。

（3）性別

男女間で大きな差は見られない。

（4）－1 結婚の有無別

「結婚していたが、死別・離別した」では『はい』が 33.9%と、他と比較して低い。

（4）－2 子どもの有無別

子どもが「いない」では『はい』が 43.0%と、「いる」よりも 2.8 ポイント高い。

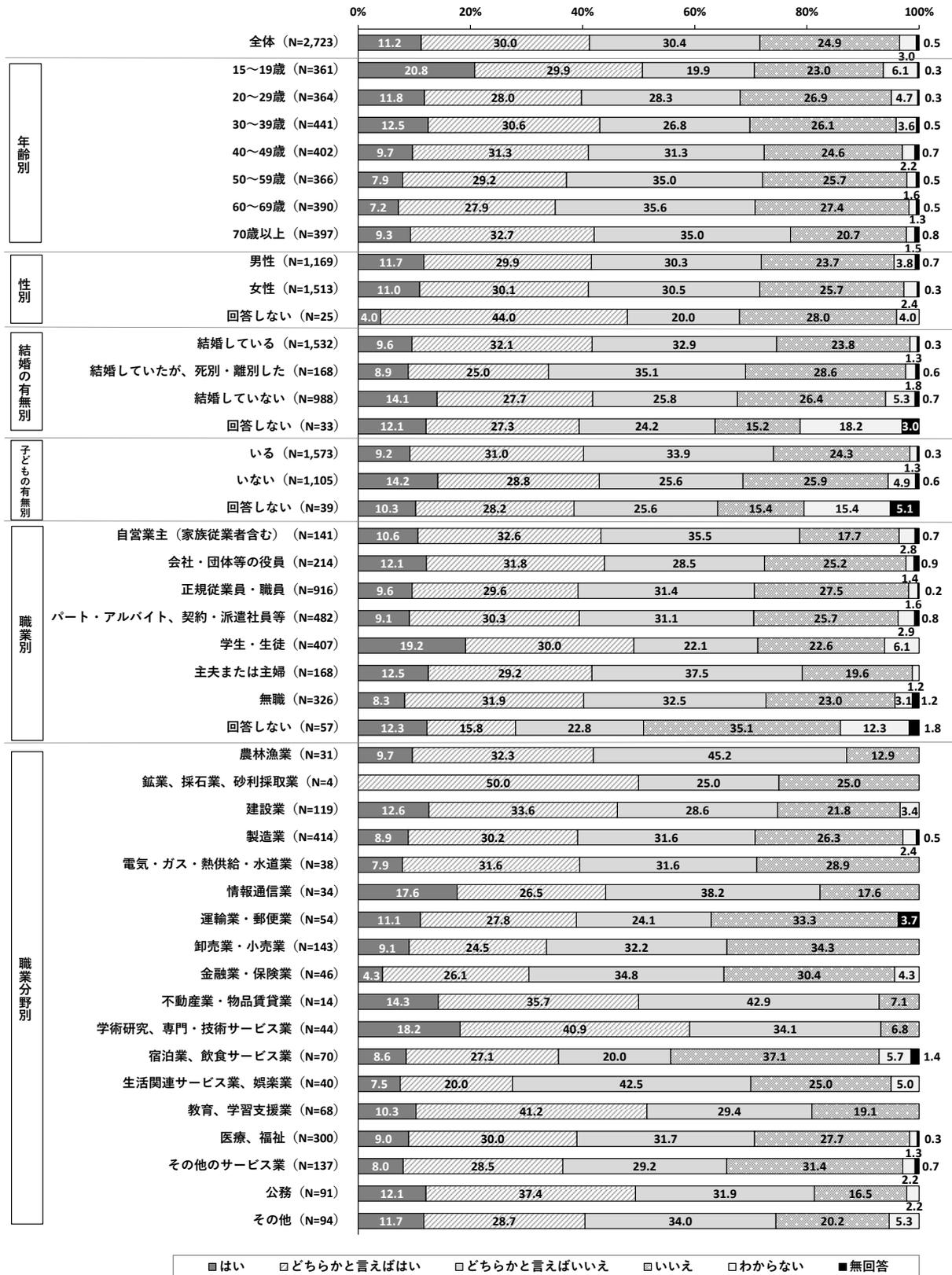
（5）－1 職業別

「学生・生徒」では『はい』が 49.2%と、他の職業と比べて高い。

（5）－2 職業分野別

「学術研究、専門・技術サービス業」では『はい』が 59.1%と、他の職業分野よりも高くなっている。一方、「生活関連サービス業、娯楽業」では『はい』が 27.5%と、他の職業分野と比較して低くなっている。

図表 14-19 自身の家庭において災害への備え（ハザードマップの確認、食品備蓄、非常用持出品の常備等）をしている。



問 14-⑳ 日常の食料品や生活用品の買い物（通信販売を含む）に不安や不便がない。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 75.9%で、一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は 20.7%と、『はい』の方が 55.2 ポイント高い。

(2) 年齢別

すべての年代で『はい』が 7 割以上を占めている。

(3) 性別

男女間で大きな差は見られない。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚している」では『はい』が 78.1%と、他と比較して高い。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもが「いる」では『はい』が 77.6%と、「いない」よりも 3.3 ポイント高い。

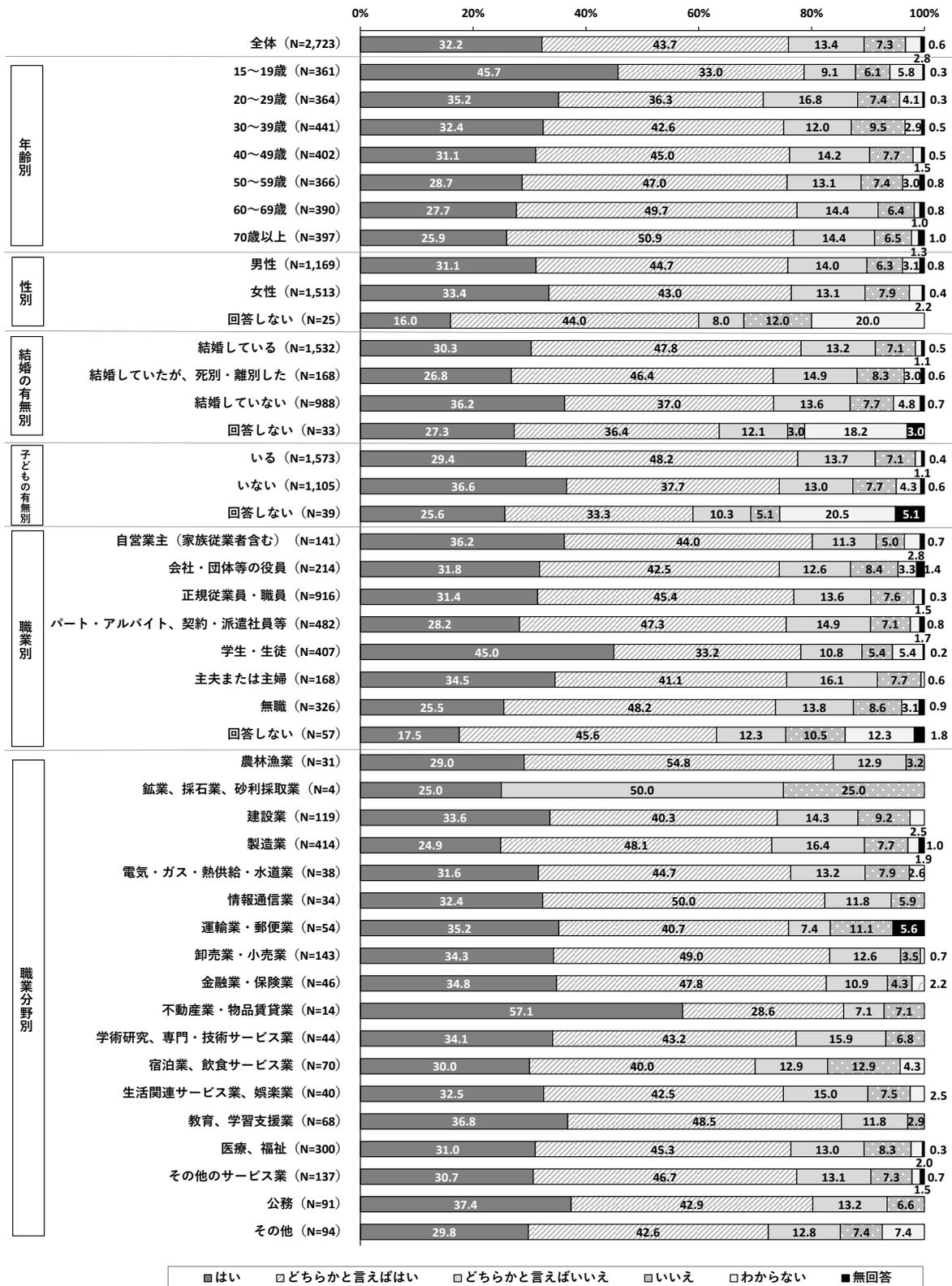
(5) - 1 職業別

「学生・生徒」では『はい』が 78.2%と、他の職業と比べて高い。

(5) - 2 職業分野別

「教育、学習支援業」では『はい』が 85.3%と、他の職業分野よりも高くなっている。一方、「宿泊業、飲食サービス業」では『はい』が 70.0%と、他の職業分野と比較して低くなっている。

図表 14-20 日常の食料品や生活用品の買い物（通信販売を含む）に不安や不便がない。



■はい □どちらかと言えばはい □どちらかと言えいいえ □いいえ □わからない ■無回答

問 14-② 趣味や娯楽、ファッション、学びなどに関する買い物（通信販売を含む）に不安や不便がない。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 65.0%で、一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は 30.2%と、『はい』の方が 34.8 ポイント高い。

(2) 年齢別

20 代以上で年齢が上がるにつれて、『はい』が高くなる傾向がある。

(3) 性別

『はい』は「男性」よりも「女性」の方が 1.2 ポイント高い。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚している」では『はい』が 67.8%と、他と比較して高い。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもが「いる」では『はい』が 67.7%と、「いない」よりも 5.9 ポイント高い。

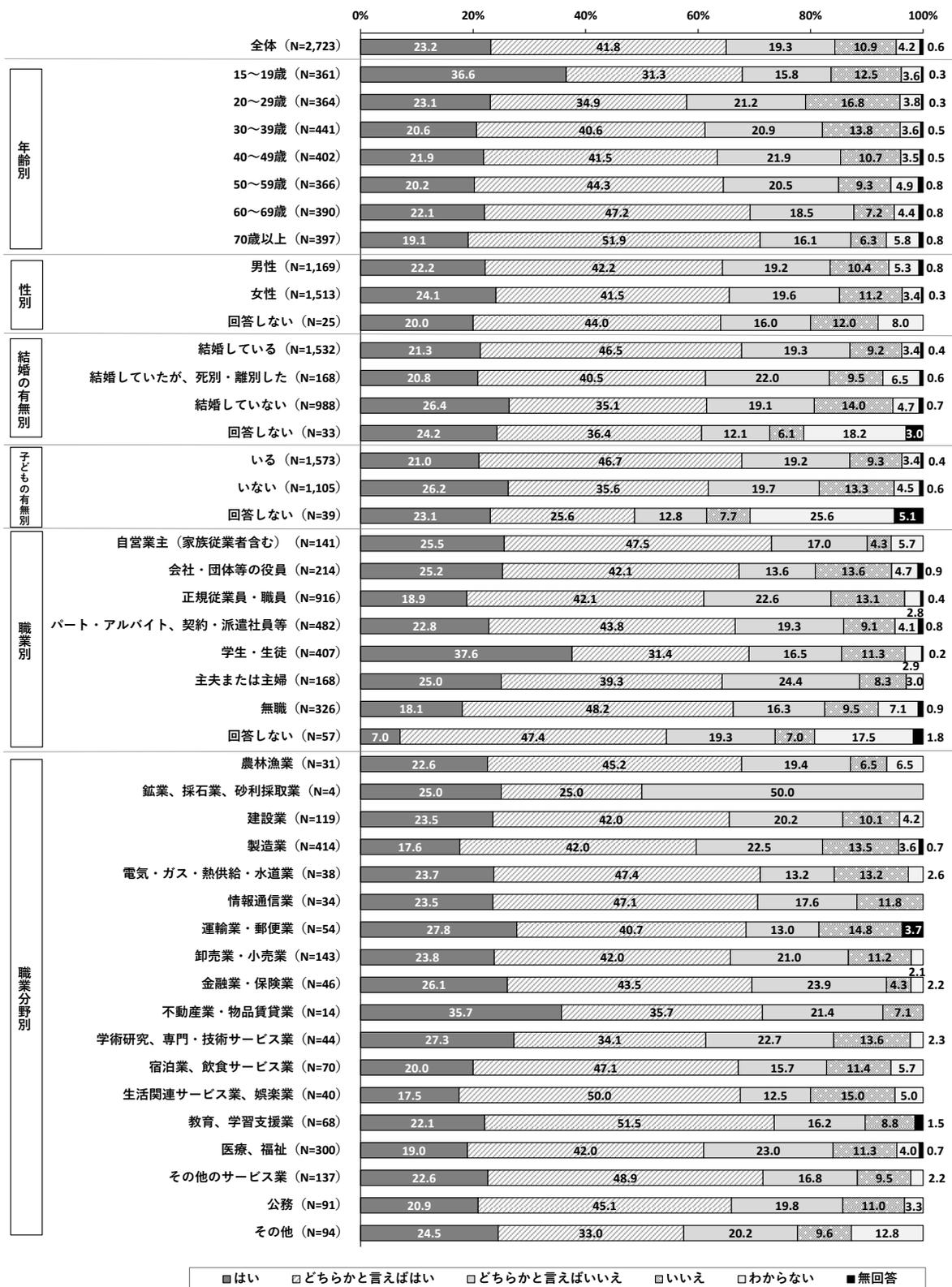
(5) - 1 職業別

「学生・生徒」では『はい』が 69.0%と、他の職業と比べて高い。

(5) - 2 職業分野別

「教育、学習支援業」では『はい』が 73.6%と、他の職業分野よりも高くなっている。一方、「その他」では『はい』が 57.5%と、他の職業分野と比較して低くなっている。

図表 14-21 趣味や娯楽、ファッション、学びなどに関する買い物（通信販売を含む）に不安や不便がない。



問 14-② 富山県内における自家用車での移動に不安・不満がない。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 69.0%で、一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は 25.4%と、『はい』の方が 43.6 ポイント高い。

(2) 年齢別

50 歳代以上で、『はい』が 7 割台を占めている。一方、「20～29 歳」では 62.9%と他の年代と比べて低くなっている。

(3) 性別

『はい』は「女性」よりも「男性」の方が 2.8 ポイント高い。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚している」では『はい』が 72.2%と、他と比較して高い。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもが「いる」では『はい』が 72.3%と、「いない」よりも 6.7 ポイント高い。

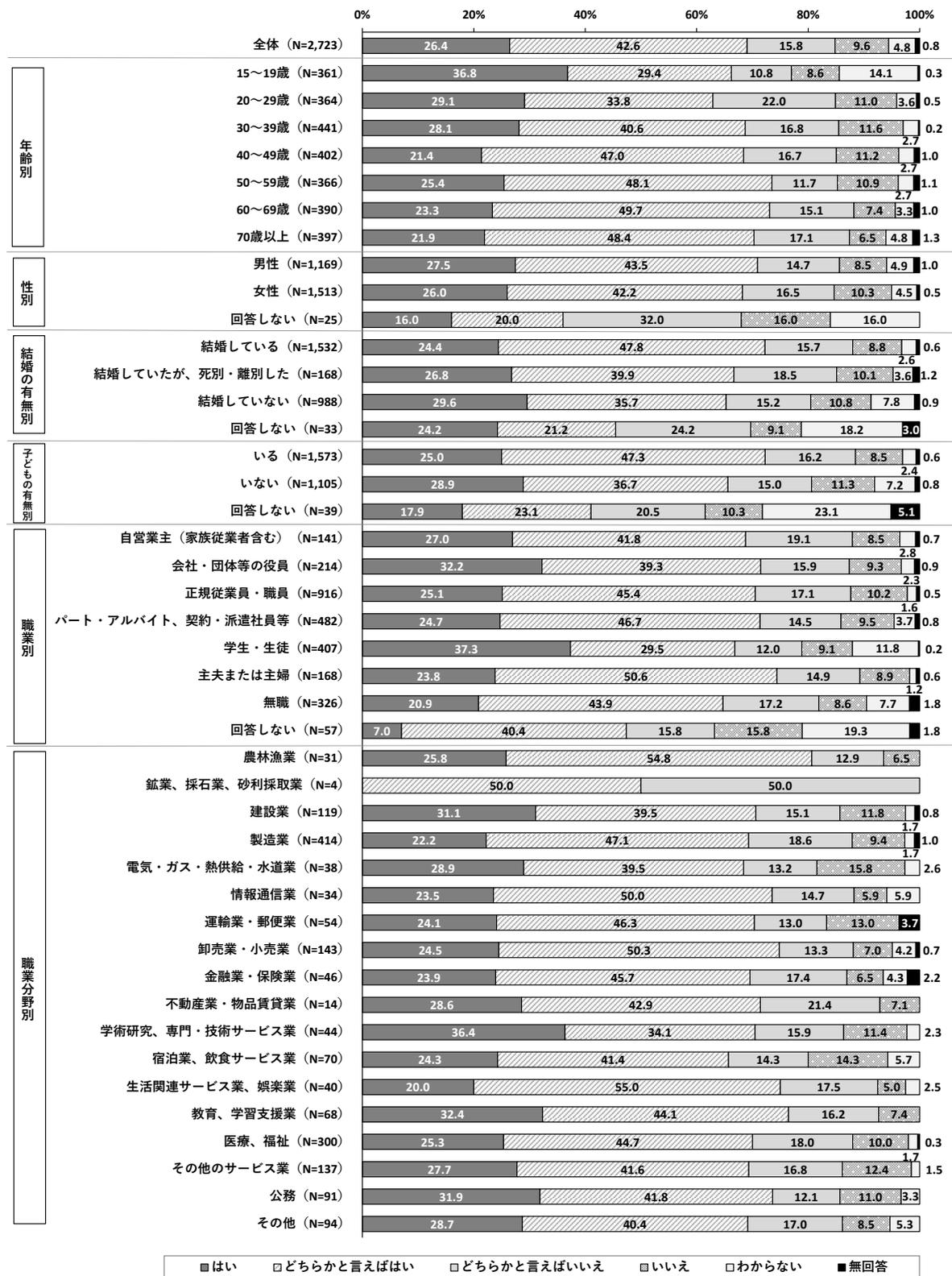
(5) - 1 職業別

「無職」では『はい』が 64.8%と、他の職業と比べて低い。

(5) - 2 職業分野別

「農林漁業」では『はい』が 80.6%と、他の職業分野よりも高くなっている。一方、「宿泊業、飲食サービス業」では『はい』が 65.7%と、他の職業分野と比較して低くなっている。

図表 14-22 富山県内における自家用車での移動に不安・不満がない。



問 14-②③ 富山県内における自家用車以外（公共交通機関など）での移動は快適・便利である。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 24.9%で、一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は 65.0%と、『いいえ』の方が 40.1 ポイント高い。

(2) 年齢別

「15～19 歳」で『はい』が 39.4%を占めている。一方、「50～59 歳」では『はい』が 18.9%と他の年代と比べて低くなっている。

(3) 性別

『はい』は「女性」よりも「男性」の方が 1.8 ポイント高い。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚していない」では『はい』が 28.7%と、他と比較して高い。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもが「いない」では『はい』が 28.1%と、「いる」よりも 5.2 ポイント高い。

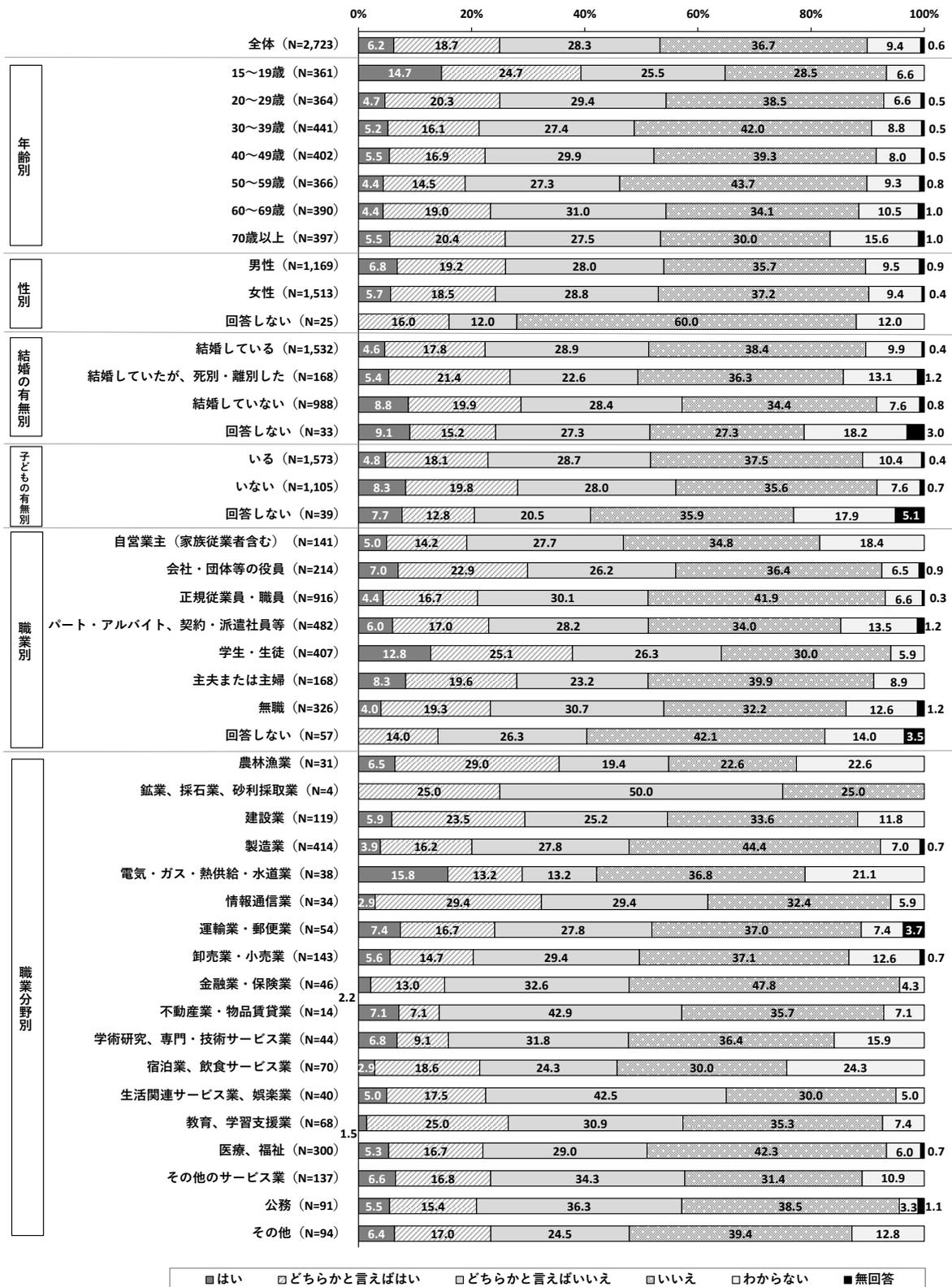
(5) - 1 職業別

「学生・生徒」では『はい』が 37.9%と、他の職業と比べて高い。

(5) - 2 職業分野別

「農林漁業」では『はい』が 35.5%と、他の職業分野よりも高くなっている。一方、「金融業・保険業」では『はい』が 15.2%と、他の職業分野と比較して低くなっている。

図表 14-23 富山県内における自家用車以外（公共交通機関など）での移動は快適・便利である。



問 14-⑳ 富山県の自然や文化に触れ合う機会がよくある。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が44.7%で、一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は48.7%と、『いいえ』の方が4.0ポイント高い。

(2) 年齢別

概ね年代が上がるにつれて『はい』が低くなる傾向にある。

(3) 性別

『はい』は「女性」よりも「男性」の方が4.9ポイント高い。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚していない」では『はい』が48.6%と、他と比較して高い。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもが「いない」では『はい』が49.1%と、「いる」よりも6.9ポイント高い。

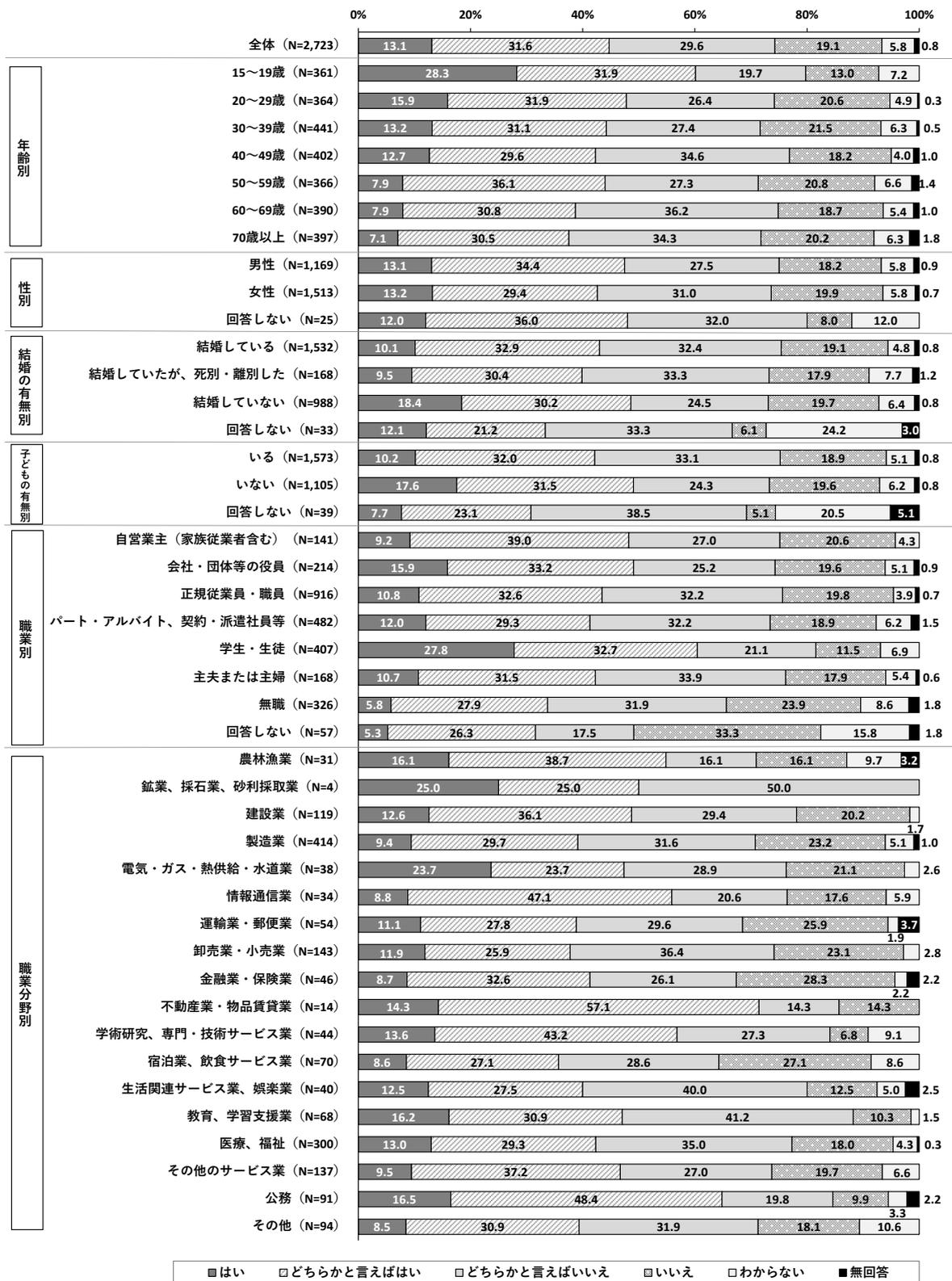
(5) - 1 職業別

「学生・生徒」では『はい』が60.5%と、他の職業と比べて高い。

(5) - 2 職業分野別

「公務」では『はい』が64.9%と、他の職業分野よりも高くなっている。一方、「宿泊業、飲食サービス業」では『はい』が35.7%と、他の職業分野と比較して低くなっている。

図表 14-24 富山県の自然や文化に触れ合う機会がよくある。



問 14-② 食材の購入または外食の際は、意識して富山県産のものを選んでいる。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 37.4%で、一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は 51.9%と、『いいえ』の方が 14.5 ポイント高い。

(2) 年齢別

70 歳以上で『はい』が 55.2%を占めている。一方、「20～29 歳」では 25.5%と他の年代と比べて低くなっている。

(3) 性別

『はい』は「男性」よりも「女性」の方が 4.4 ポイント高い。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚している」では『はい』が 41.6%と、他と比較して高い。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもが「いる」では『はい』が 41.9%と、「いない」よりも 10.5 ポイント高い。

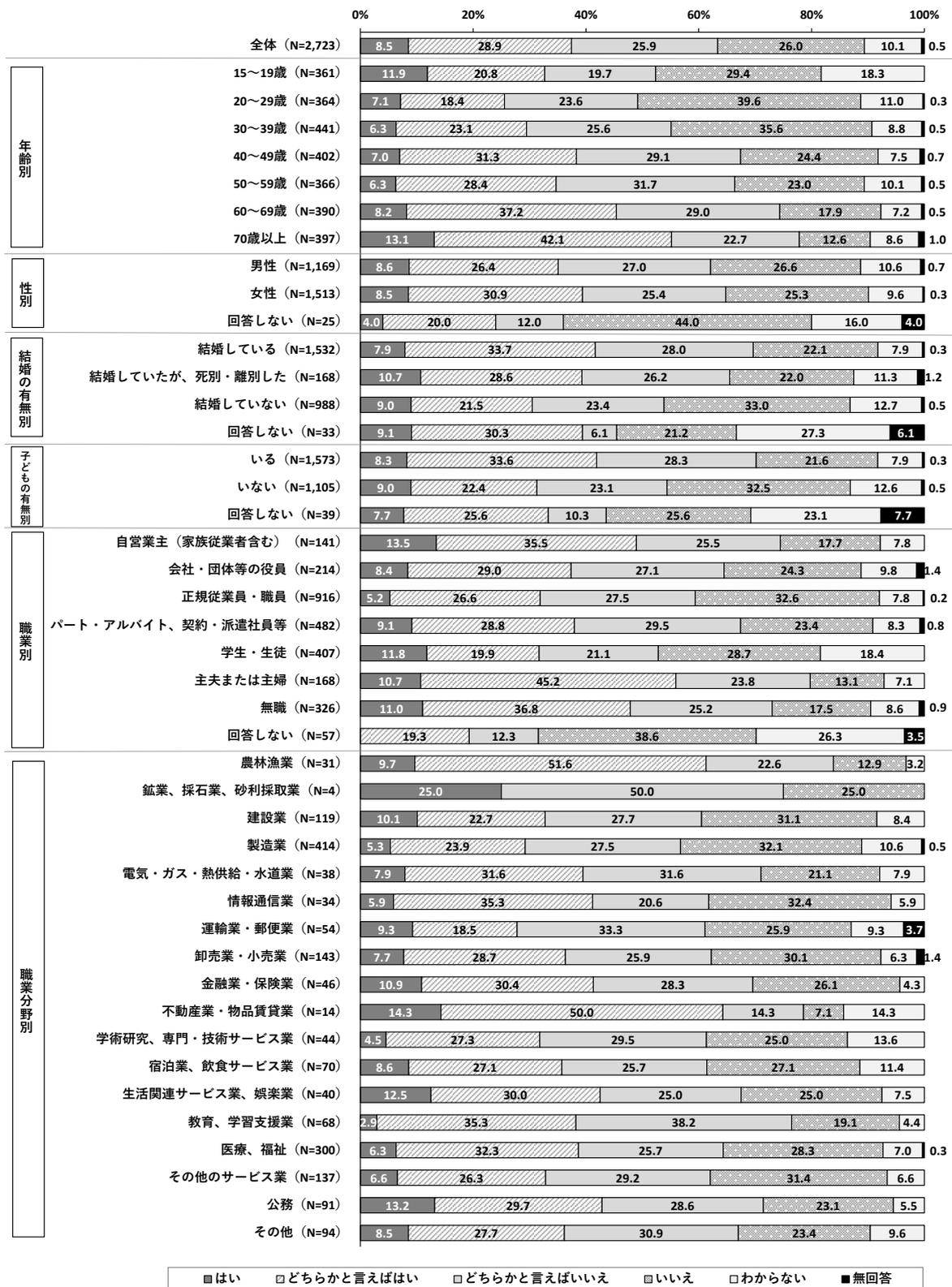
(5) - 1 職業別

「主夫または主婦」では『はい』が 55.9%と、他の職業と比べて高い。

(5) - 2 職業分野別

「農林漁業」では『はい』が 61.3%と、他の職業分野よりも高くなっている。一方、「運輸業・郵便業」では『はい』が 27.8%と、他の職業分野と比較して低くなっている。

図表 14-25 食材の購入または外食の際は、意識して富山県産のものを選んでいる。



はい
 どちらかと言えばはい
 どちらかと言えばいいえ
 いいえ
 わからない
 無回答

問 14-⑳ 富山県には、家族や友人等と楽しく過ごすことができる場所やイベントなどの機会が十分にある。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 31.8%で、一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は 53.4%と、『いいえ』の方が 21.6 ポイント高い。

(2) 年齢別

「15～19 歳」では『はい』が 49.6%と、他の年代よりも高くなっている。一方、20 歳代以上では『はい』が 4 割を下回っている。

(3) 性別

男女間であまり差は見られない。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚していない」では『はい』が 33.5%と、他と比較して高い。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもが「いない」では『はい』が 33.1%と、「いる」よりも 1.8 ポイント高い。

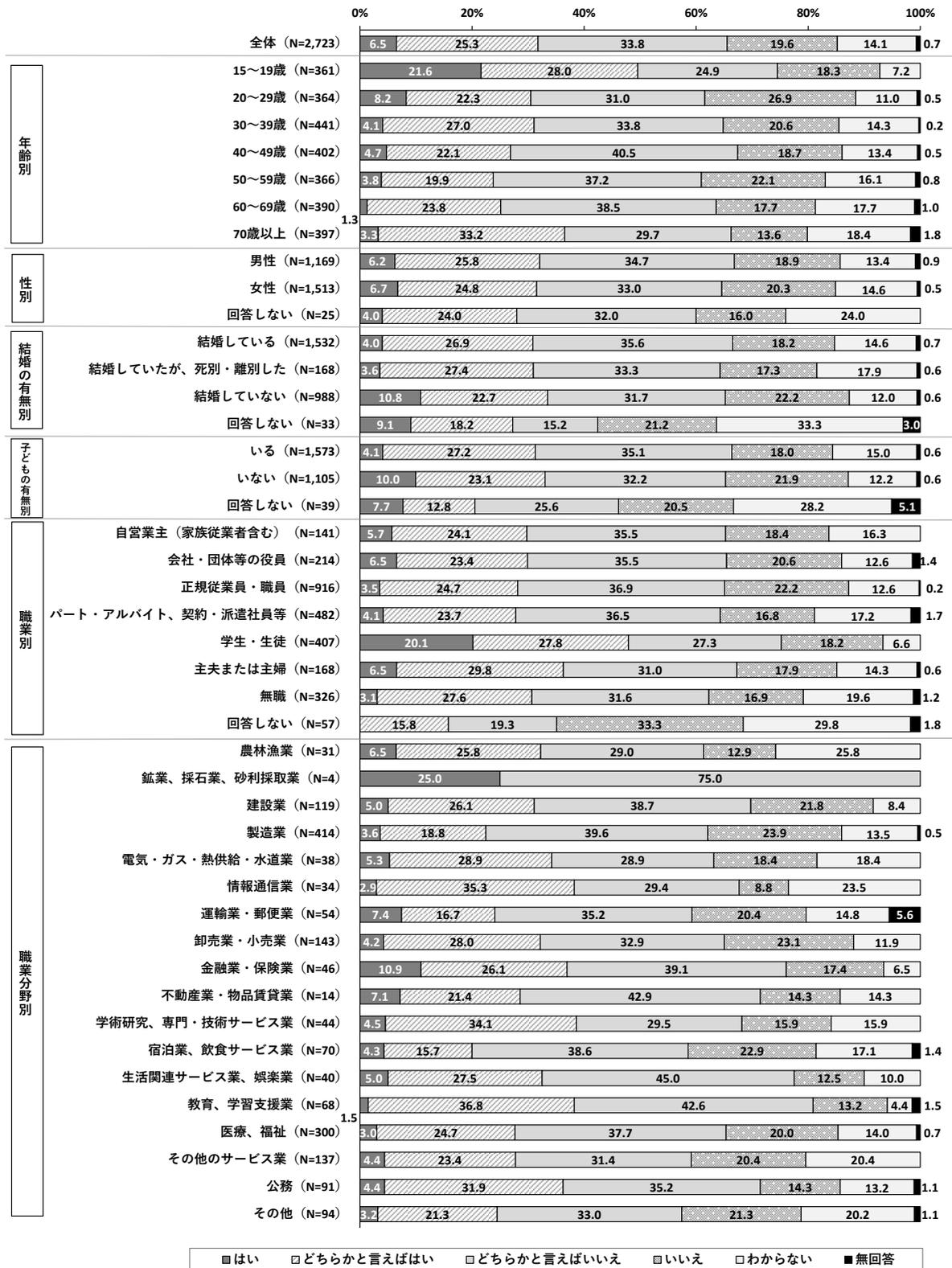
(5) - 1 職業別

「学生・生徒」では『はい』が 47.9%と、他の職業と比べて高い。一方、「パート・アルバイト、契約・派遣社員等」では 27.8%と、他の職業と比べて低くなっている。

(5) - 2 職業分野別

「学術研究、専門・技術サービス業」では『はい』が 38.6%と、他の職業分野と比べて高く、「金融業・保険業」では「はい」が 10.9%と他よりも高くなっている。一方、「宿泊業、飲食サービス業」では『はい』が 20.0%と、他の職業分野と比較して低くなっている。

図表 14-26 富山県には、家族や友人等と楽しく過ごすことができる場所やイベントなどの機会が十分にある。



問 14-㉗ 富山県内の政治や行政に関心を持っている。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 34.6%で、一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は 56.7%と、『いいえ』の方が 22.1 ポイント高い。

(2) 年齢別

「70 歳以上」で『はい』が 5 割を超えている。一方、「20～29 歳」では 20.4%と、他の年代よりも低くなっている。

(3) 性別

『はい』は「女性」よりも「男性」の方が 14.6 ポイント高い。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚している」では『はい』が 40.8%と、他と比較して高い。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもが「いる」では『はい』が 39.4%と、「いない」よりも 11.4 ポイント高い。

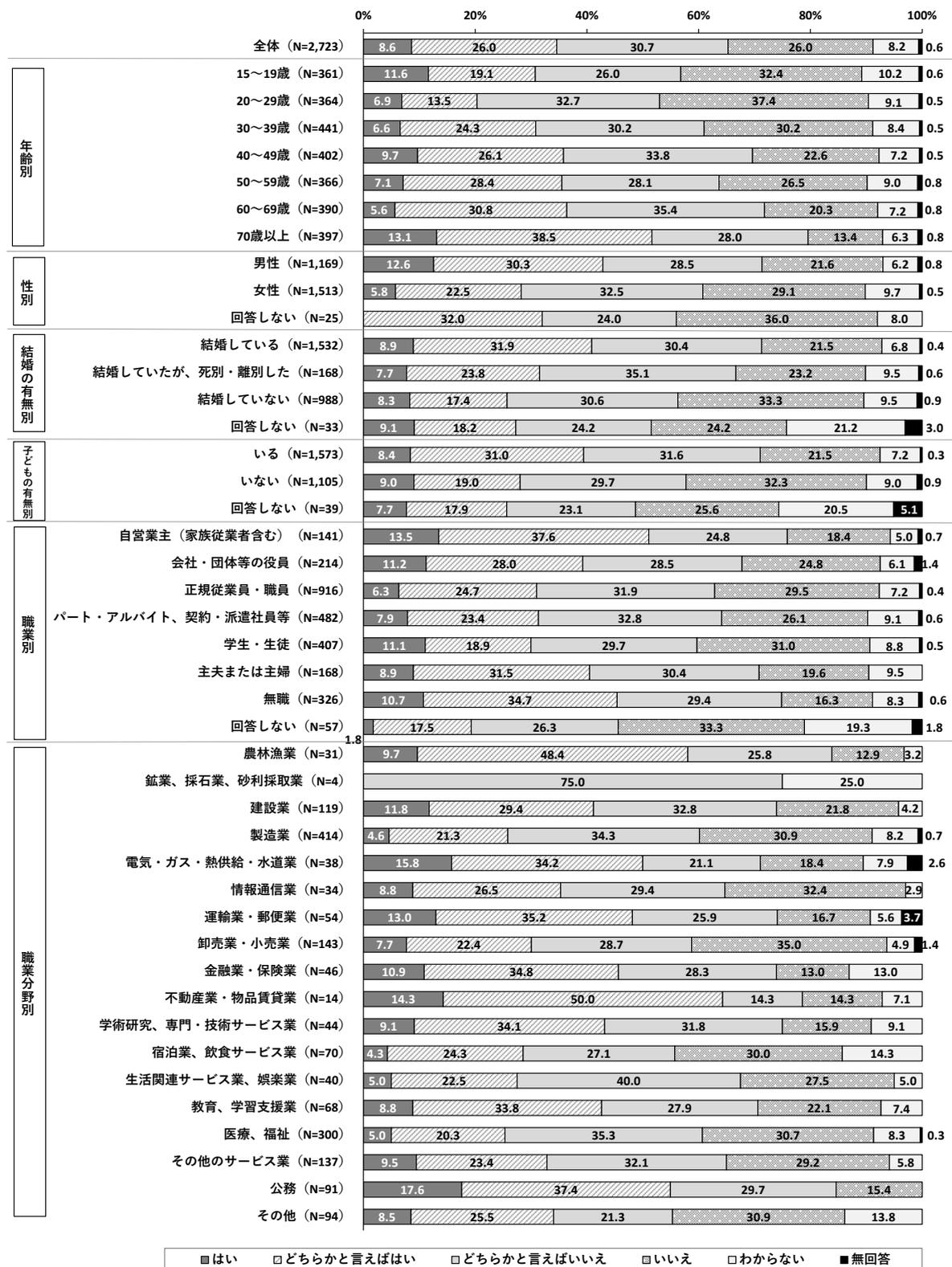
(5) - 1 職業別

「自営業主（家族従業者含む）」では『はい』が 51.1%と、他の職業と比べて高い。一方、「学生・生徒」では 30.0%と、他の職業と比べて低くなっている。

(5) - 2 職業分野別

「農林漁業」「公務」では『はい』が 5 割を超えている。一方、「製造業」「宿泊業、飲食サービス業」「生活関連サービス業、娯楽業」「医療、福祉」では『はい』が 2 割台と、他の職業分野と比較して低くなっている。

図表 14-27 富山県内の政治や行政に関心を持っている。



問 14-㉔ 富山県外に住みたいと感じている。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 28.4%で、一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は 59.2%と、『いいえ』の方が 30.8 ポイント高い。

(2) 年齢別

概ね年代が上がるにつれて『はい』が低くなる傾向にある。

(3) 性別

男女間であまり差は見られない。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚していない」では『はい』が 43.5%と、他と比較して高い。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもが「いない」では『はい』が 42.5%と、「いる」よりも 24.2 ポイント高い。

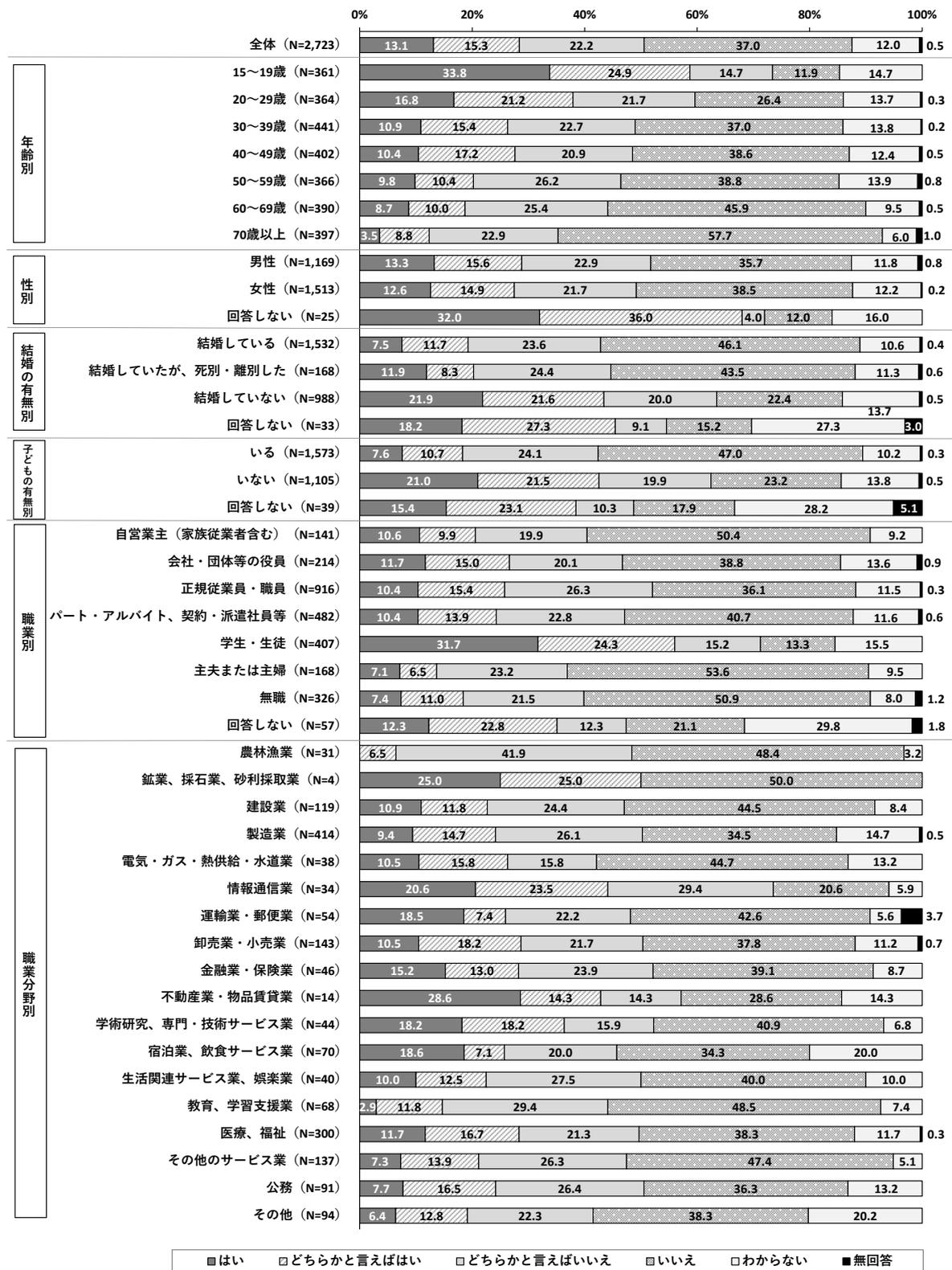
(5) - 1 職業別

「学生・生徒」では『はい』が 56.0%と、他の職業と比べて高い。一方、「主夫または主婦」では 13.6%と、他の職業と比べて低くなっている。

(5) - 2 職業分野別

「情報通信業」では『はい』が 4 割を超えている。一方、「農林漁業」では『いいえ』が 90.3%と、他の職業分野と比較して高くなっている。

図表 14-28 富山県外に住みたいと感じている。



問 14-⑳ 人口減少に伴い、自身または家族の生活に影響が出るのではないかと不安に感じることがよくある。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 57.7%で、一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は 31.8%と、『はい』の方が 25.9 ポイント高い。

(2) 年齢別

30 歳以上で『はい』が 6 割を超えている。一方、「15～19 歳」では 39.3%と、他の年代よりも低くなっている。

(3) 性別

『はい』は「女性」よりも「男性」の方が 4.7 ポイント高い。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚している」では『はい』が 66.5%と、他と比較して高い。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもが「いる」では『はい』が 65.7%と、「いない」よりも 18.7 ポイント高い。

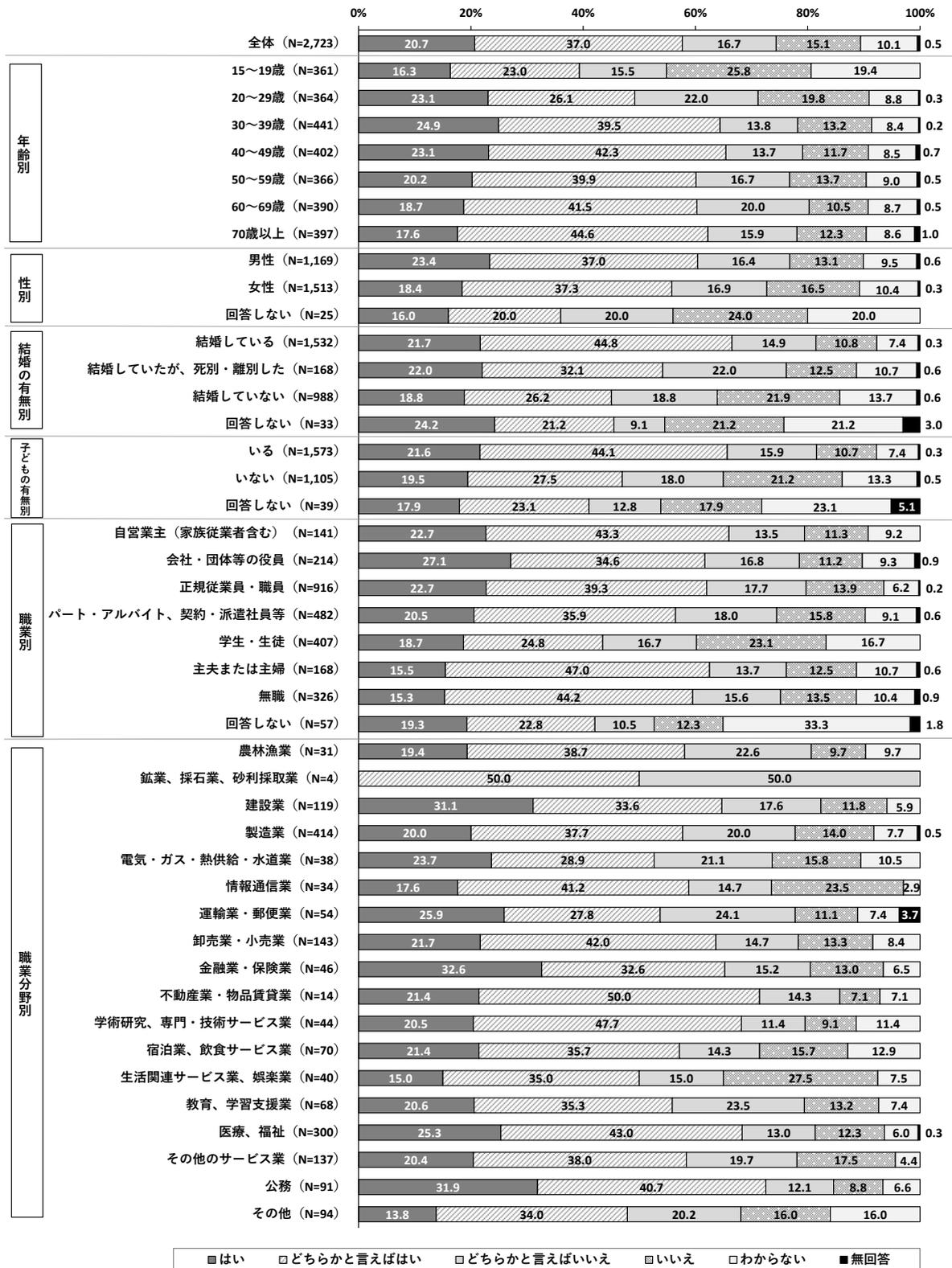
(5) - 1 職業別

「自営業主（家族従業者含む）」では『はい』が 66.0%と、他の職業と比べて高い。一方、「学生・生徒」では 43.5%と、他の職業と比べて低くなっている。

(5) - 2 職業分野別

すべての職業分野で『はい』が 4 割を超えている。特に「公務」では『はい』が 72.6%と、他の職業分野と比較して高くなっている。

図表 14-29 人口減少に伴い、自身または家族の生活に影響が出るのではないかと不安に感じることがよくある。



問 14-③ デジタル化の進展により、自分の暮らしが便利で豊かになったと感じている。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 54.7%で、一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は 31.2%と、『はい』の方が 23.5 ポイント高い。

(2) 年齢別

概ね年代が上がるにつれて、『はい』が低くなる傾向にある。

(3) 性別

『はい』は「男性」よりも「女性」の方が、3.1 ポイント高い。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚していない」では『はい』が 65.0%と、他と比較して高い。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもが「いない」では『はい』が 64.6%と、「いる」よりも 16.6 ポイント高い。

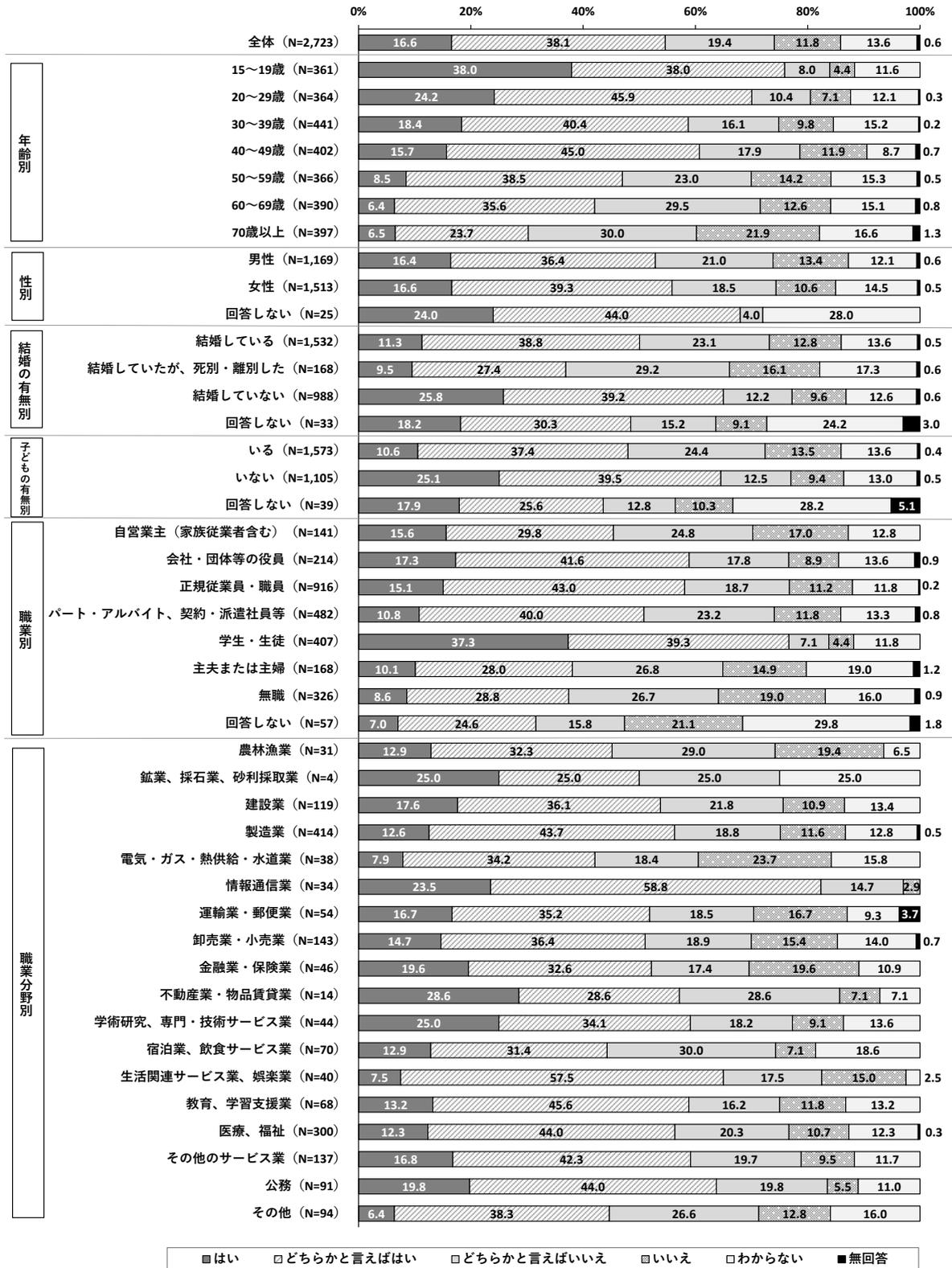
(5) - 1 職業別

「学生・生徒」では『はい』が 76.6%と、他の職業と比べて高い。一方、「無職」では 37.4%と、他の職業と比べて低くなっている。

(5) - 2 職業分野別

「情報通信業」では『はい』が 82.3%と、他の職業分野と比較して高くなっている。一方、「電気・ガス・熱供給・水道業」では『はい』が 42.1%と、他の職業分野と比較して低くなっている。

図表 14-30 デジタル化の進展により、自分の暮らしが便利で豊かになったと感じている。



問 14-③ 将来の世代のために、リサイクル、廃棄物削減、再生可能エネルギーの活用など環境に配慮した行動をとっている。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 63.0%で、一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は 27.8%と、『はい』の方が 35.2 ポイント高い。

(2) 年齢別

「70 歳以上」で『はい』が 70.6%を占めている。一方、「30～39 歳」では 52.8%と、他の年代よりも低くなっている。

(3) 性別

『はい』は、「男性」よりも「女性」の方が 4.8 ポイント高い。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚している」では『はい』が 66.6%と、他と比較して高い。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもが「いる」では『はい』が 65.8%と、「いない」よりも 6.0 ポイント高い。

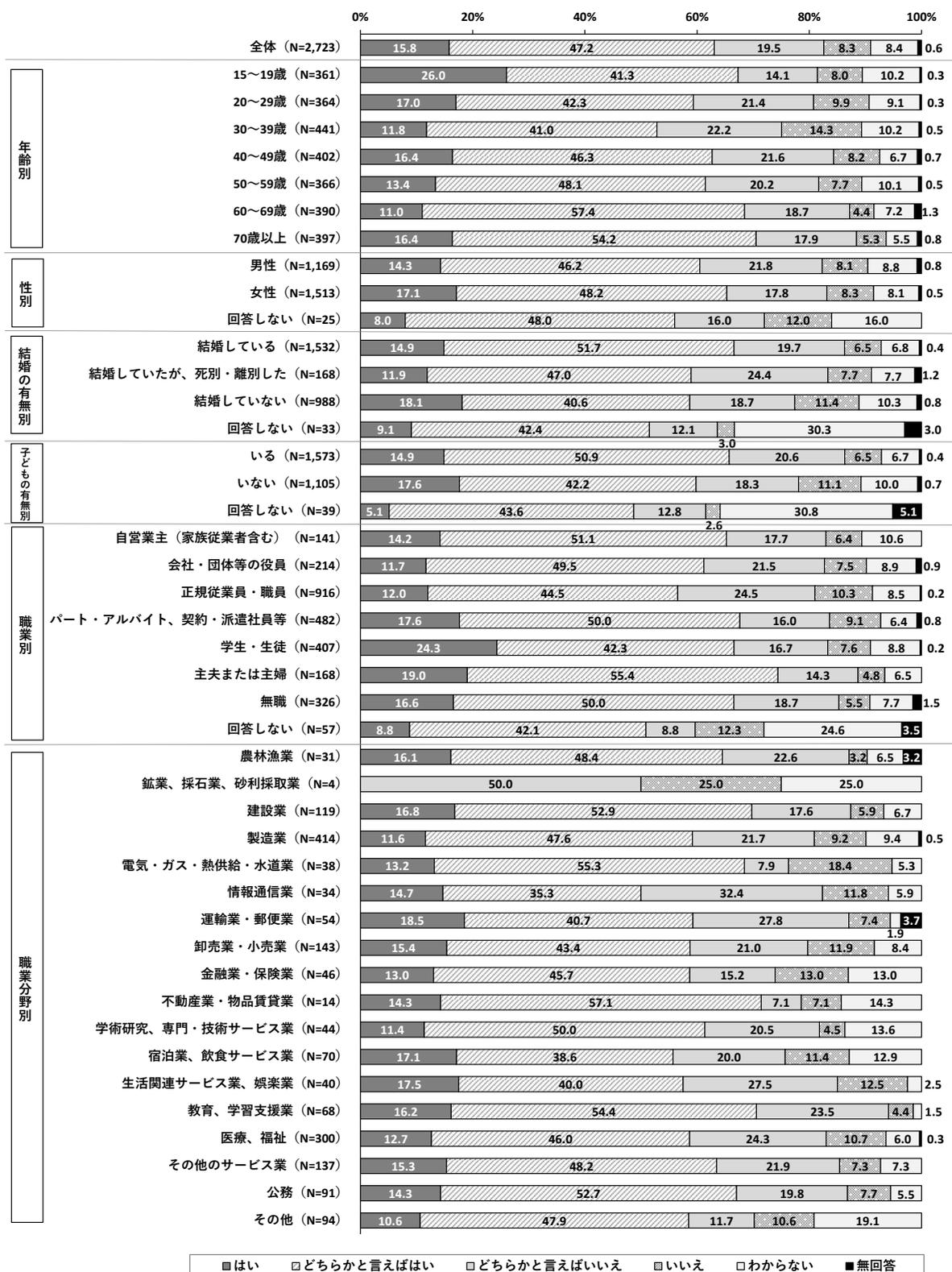
(5) - 1 職業別

「主夫または主婦」では『はい』が 74.4%と、他の職業と比べて高い。一方、「正規従業員・職員」では 56.5%と、他の職業と比べて低くなっている。

(5) - 2 職業分野別

「情報通信業」を除くすべての職業分野で『はい』が 5 割を超えている。一方、「情報通信業」では『はい』が 50.0%と、他の職業分野と比較して低くなっている。

図表 14-31 将来の世代のために、リサイクル、廃棄物削減、再生可能エネルギーの活用など環境に配慮した行動をとっている。



問 14-③ 他の人や社会のためになる支出（環境保全や社会貢献につながる消費や投資、寄附・募金等）を意識的に行っている。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 26.4%で、一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は 64.7%と、『いいえ』の方が 38.3 ポイント高い。

(2) 年齢別

「15～19 歳」「70 歳以上」では『はい』が 3 割台と、他の年代よりも高くなっている。

(3) 性別

『はい』は「女性」よりも「男性」の方が 1.8 ポイント高い。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚していたが、死別・離別した」では『はい』が 22.7%と、他と比較して低い。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもが「いない」では『はい』が 27.8%と、「いる」よりも 2.1 ポイント高い。

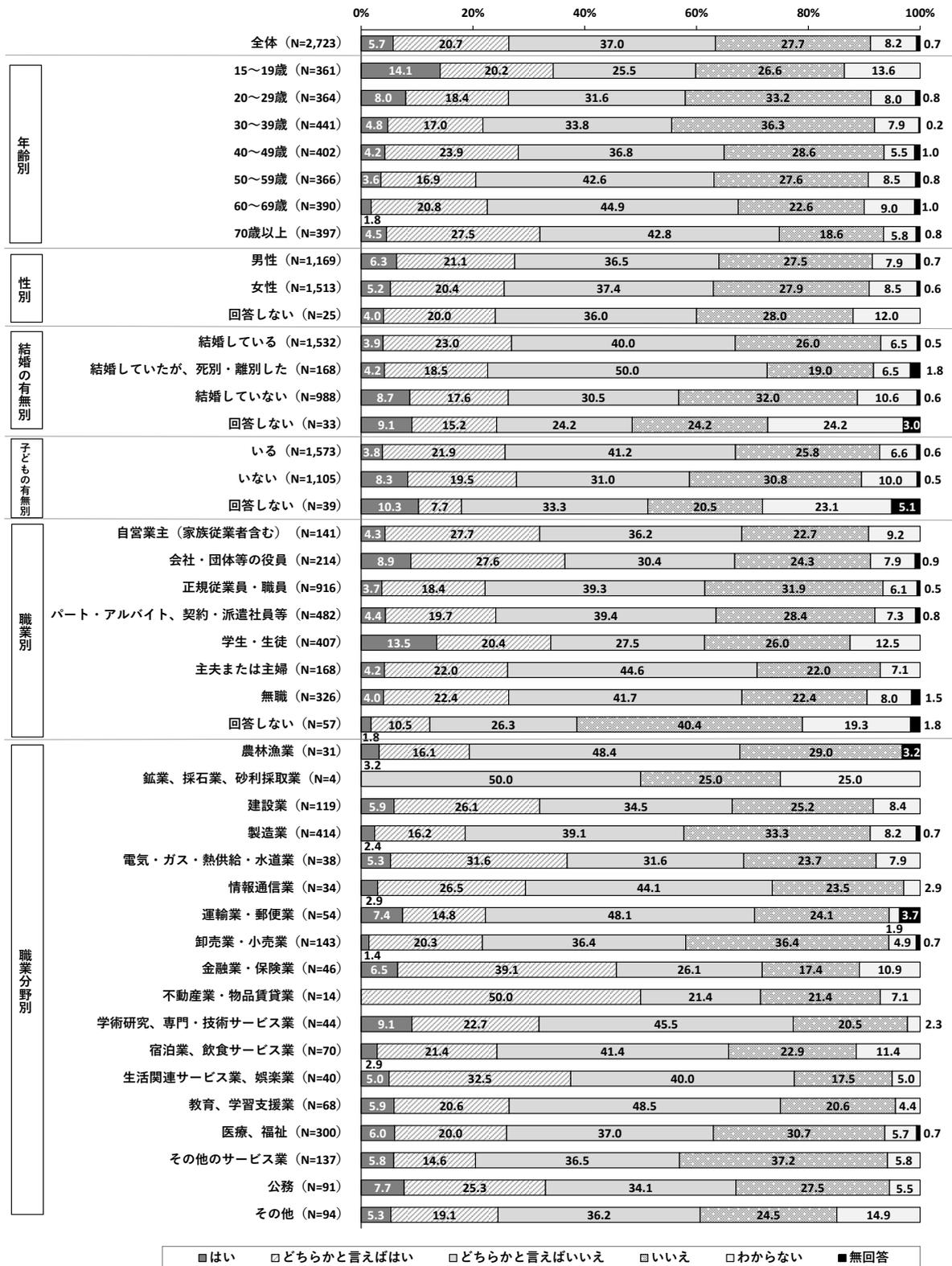
(5) - 1 職業別

「会社・団体等の役員」では『はい』が 36.5%と、他の職業と比べて高く、一方、「正規従業員・職員」では 22.1%と、他の職業と比べて低くなっている。

(5) - 2 職業分野別

「金融・保険業」では『はい』が 45.6%と、他の職業分野と比較して高くなっている。一方、「農林漁業」「製造業」では『はい』が 1 割台と、他の職業分野と比較して低くなっている。

図表 14-32 他の人や社会のためになる支出（環境保全や社会貢献につながる消費や投資、寄附・募金等）を意識的に行っている。



問 14-③ 県内企業の活動や県内経済の発展に期待感を持っている。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 40.9%で、一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は 38.5%と、『はい』の方が 2.4 ポイント高い。

(2) 年齢別

「15～19 歳」「60～69 歳」「70 歳以上」で『はい』が 4 割を超えており、「70 歳以上」では 54.1%と、他の年代よりも高くなっている。

(3) 性別

『はい』は「女性」よりも「男性」の方が 4.5 ポイント高い。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚していたが、死別・離別した」では『はい』が 46.4%と、他と比較して高い。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもが「いる」では『はい』が 43.7%と、「いない」よりも 6.1 ポイント高い。

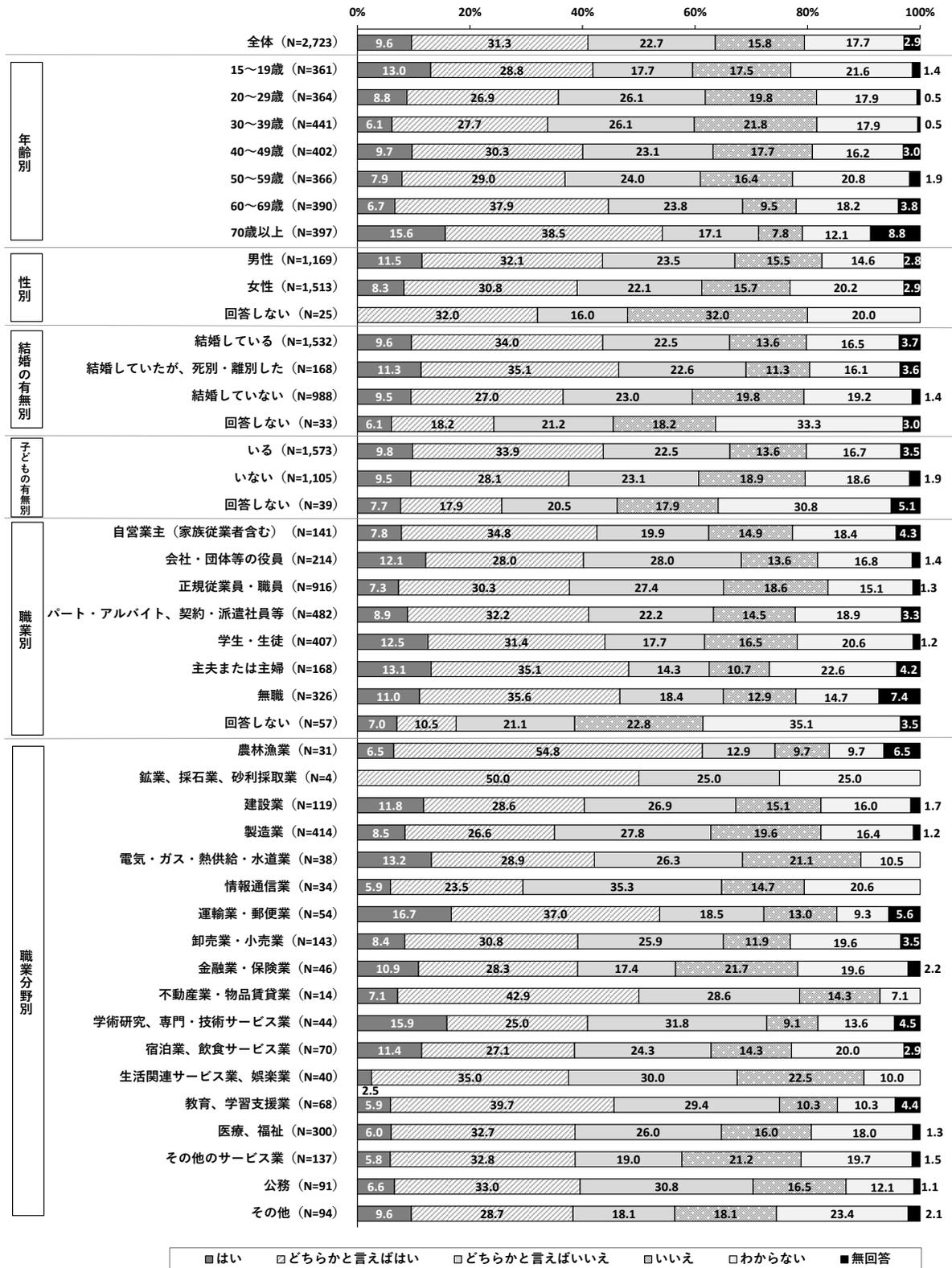
(5) - 1 職業別

「主夫または主婦」では『はい』が 48.2%と、他の職業と比べて高く、一方、「正規従業員・職員」では 37.6%と、他の職業と比べて低くなっている。

(5) - 2 職業分野別

「農林漁業」では『はい』が 6 割を超えている。一方、「情報通信業」では『はい』が 2 割台と、他の職業分野と比較して低くなっている。

図表 14-33 県内企業の活動や県内経済の発展に期待感を持っている。



問 14-③4 **※現在、仕事をされている方にお聞きします。**

仕事をするうえで、働き方の選択肢、労働時間・休暇、福利厚生、職場の環境等の観点から「働きやすさ」を感じている。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が 53.6%で、一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は 38.6%と、『はい』の方が 15.0 ポイント高い。

(2) 年齢別

すべての年代で『はい』が 4 割を超えており、「60～69 歳」では 63.9%と、他の年代よりも高くなっている。

(3) 性別

『はい』は「男性」よりも「女性」の方が 1.7 ポイント高い。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚している」では『はい』が 55.6%と、他と比較して高い。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもが「いる」では『はい』が 55.6%と、「いない」よりも 4.9 ポイント高い。

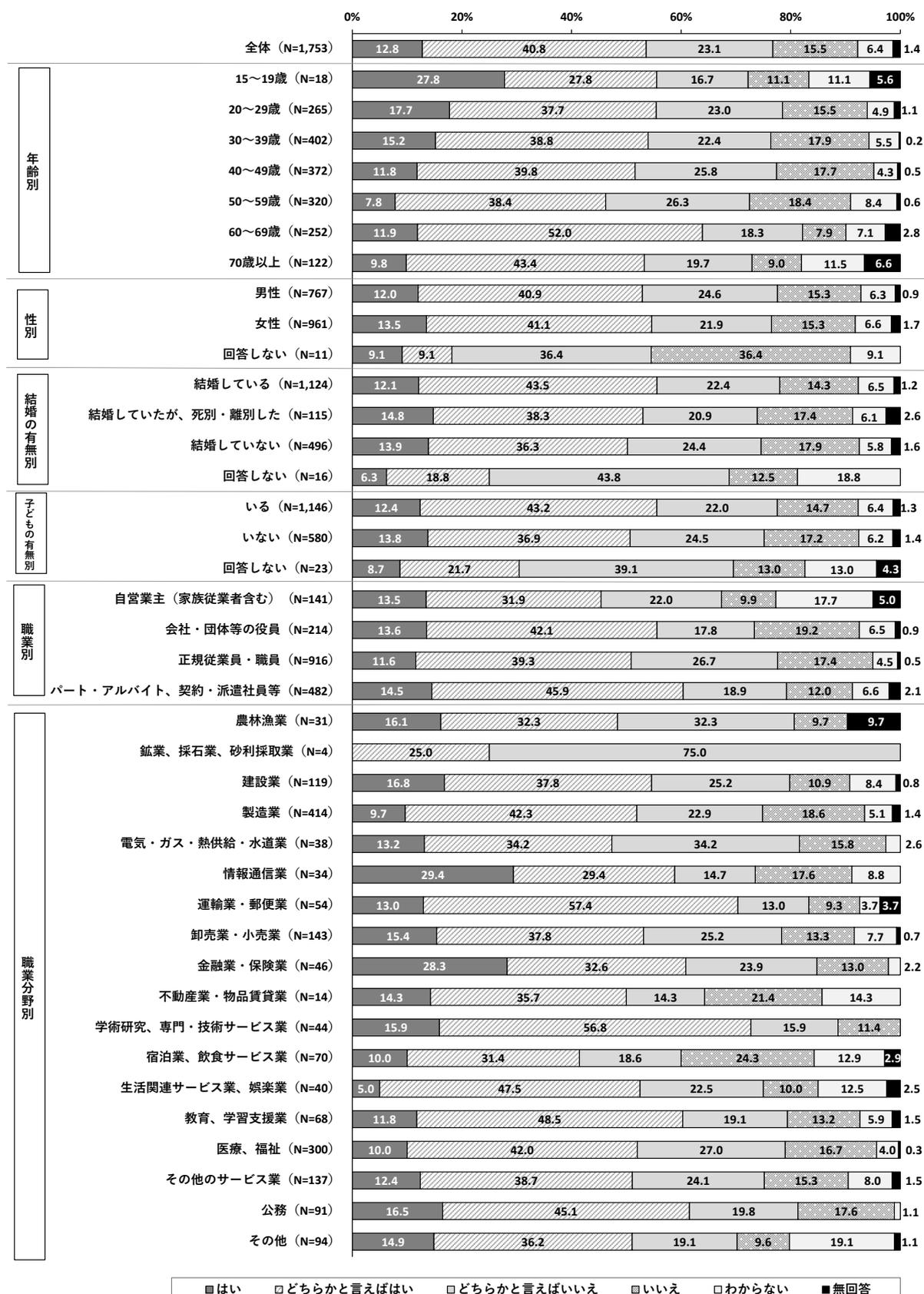
(5) - 1 職業別

「パート・アルバイト、契約・派遣社員等」では『はい』が 60.4%と、他の職業と比べて高い。

(5) - 2 職業分野別

「運輸業・郵便業」「学術研究、専門・技術サービス業」では『はい』が 7 割台となっている。一方、「宿泊業、飲食サービス業」では『はい』が 41.4%と、他の職業分野と比較して低くなっている。

図表 14-34 仕事をするうえで、働き方の選択肢、労働時間・休暇、福利厚生、職場の環境等の観点から「働きやすさ」を感じている。



問 14-⑳ **※現在、仕事をされている方にお聞きします。**

あなたを含め、あなたの職場で働く人は、「働きがい」を持って、自らの仕事にいきいきと積極的に取り組んでいると感じている。

(1) 全体

『はい』（「はい」＋「どちらかと言えばはい」）が43.6%で、一方、『いいえ』（「どちらかと言えばいいえ」＋「いいえ」）は40.8%と、『はい』の方が2.8ポイント高い。

(2) 年齢別

「40～49歳」と「50～59歳」を除くすべての年代で、『はい』が4割を超えている。特に、60歳代以上で5割台と、他の年代よりも高くなっている。

(3) 性別

『はい』は「男性」よりも「女性」の方が6.3ポイント高い。

(4) - 1 結婚の有無別

「結婚している」では『はい』が45.7%と、他と比較して高い。

(4) - 2 子どもの有無別

子どもが「いる」では『はい』が46.1%と、「いない」よりも6.7ポイント高い。

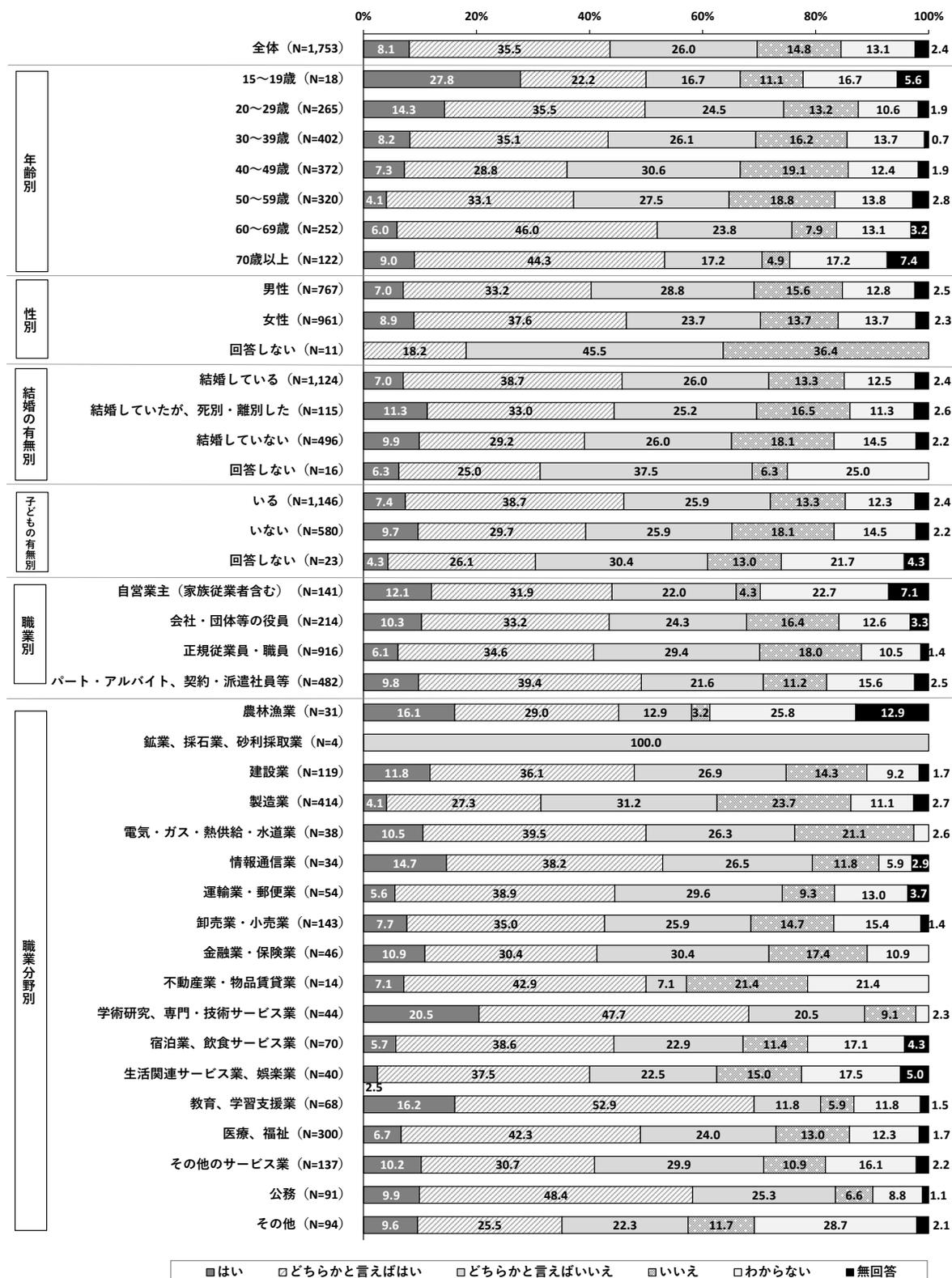
(5) - 1 職業別

「パート・アルバイト、契約・派遣社員等」では『はい』が49.2%と、他の職業と比べて高い。一方、「正規従業員・職員」では40.7%と、他の職業と比べて低くなっている。

(5) - 2 職業分野別

「情報通信業」「学術研究、専門・技術サービス業」「教育、学習支援業」「公務」では『はい』が5割を超えている。一方、「製造業」「その他」では『はい』が3割台と、他の職業分野と比較して低くなっている。

図表 14-35 あなたを含め、あなたの職場で働く人は、「働きがい」を持って、自らの仕事にいきいきと積極的に取り組んでいると感じている。



問 15 次のことについて、家族や親しい友人等にどの程度、おすすめしたいと思いますか。

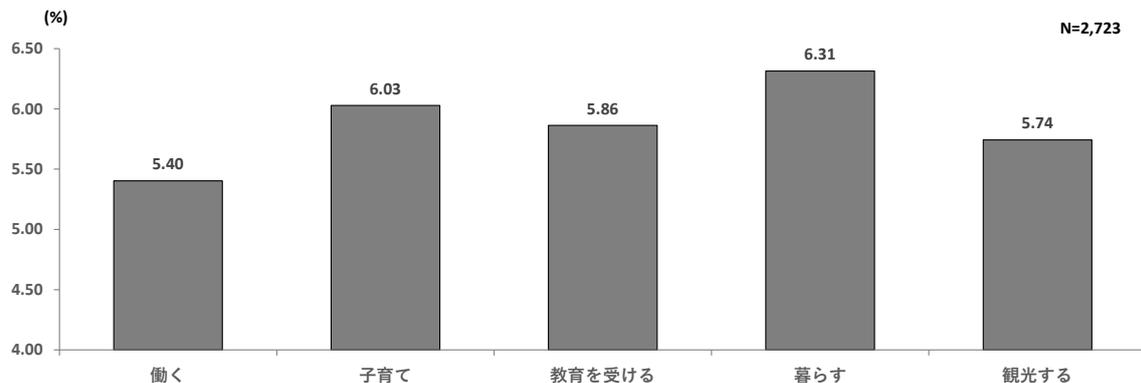
- ① 富山県で働くこと
- ② 富山県で子育てすること
- ③ 富山県で教育を受けること
- ④ 富山県で暮らすこと
- ⑤ 富山県で観光すること

(1) 全体

【平均】

「暮らす」が6.31と最も高く、次いで「子育て」(6.03)、「教育を受ける」(5.86)、「観光する」(5.74)、「働く」(5.40)の順となっている。

図表 15-1-1 家族や親しい友人等への推薦度【平均】(全体)

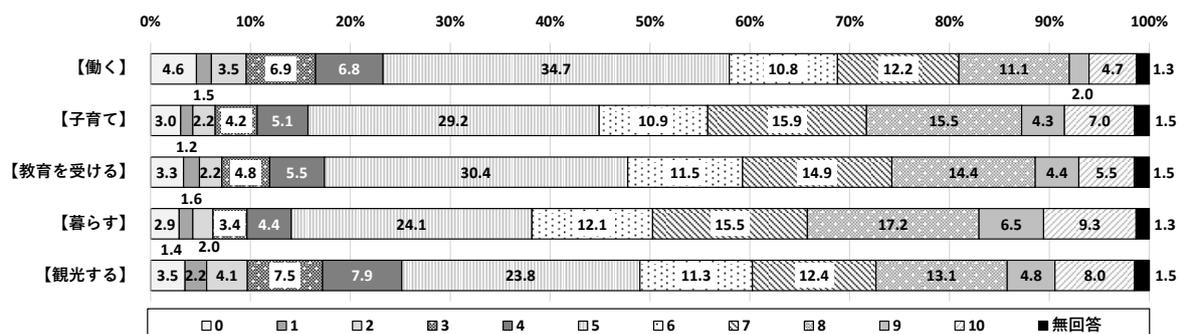


【割合】

「働く」「子育て」「教育を受ける」「暮らす」「観光する」のいずれも中央値の「5」が最も高い。

「6以上」の割合は、「暮らす」が61.9%で他よりも高い。一方、「観光する」が51.1%と他よりも低い。

図表 15-1-1 家族や親しい友人等への推薦度【割合】(全体)

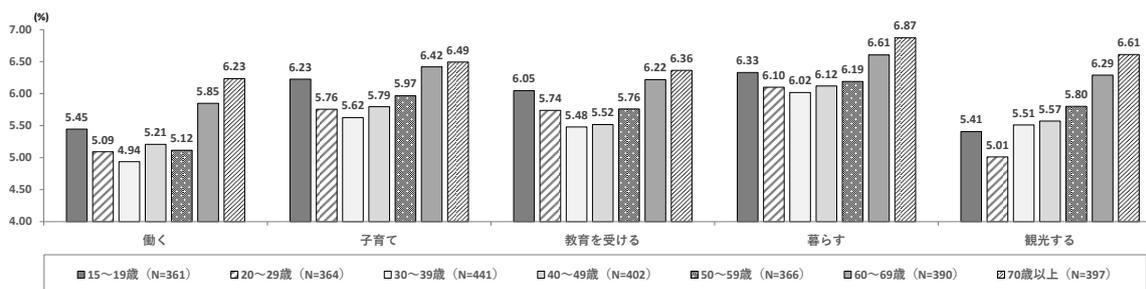


(2) 年齢別

【平均】

すべての設問項目で「70歳以上」が最も高く、次いで「60～69歳」となっている。「暮らす」では、すべての年代で平均が6を超えており、「70歳以上」が6.87と高い値を示している。一方、「働く」では「30～39歳」が4.94と他の年代よりも低い値となっている。

図表 15-2-1 家族や親しい友人等への推薦度【平均】（年齢別）



【割合】

すべての年代で「働く」「子育て」「教育を受ける」「暮らす」「観光する」のいずれも「5」が最も高い。

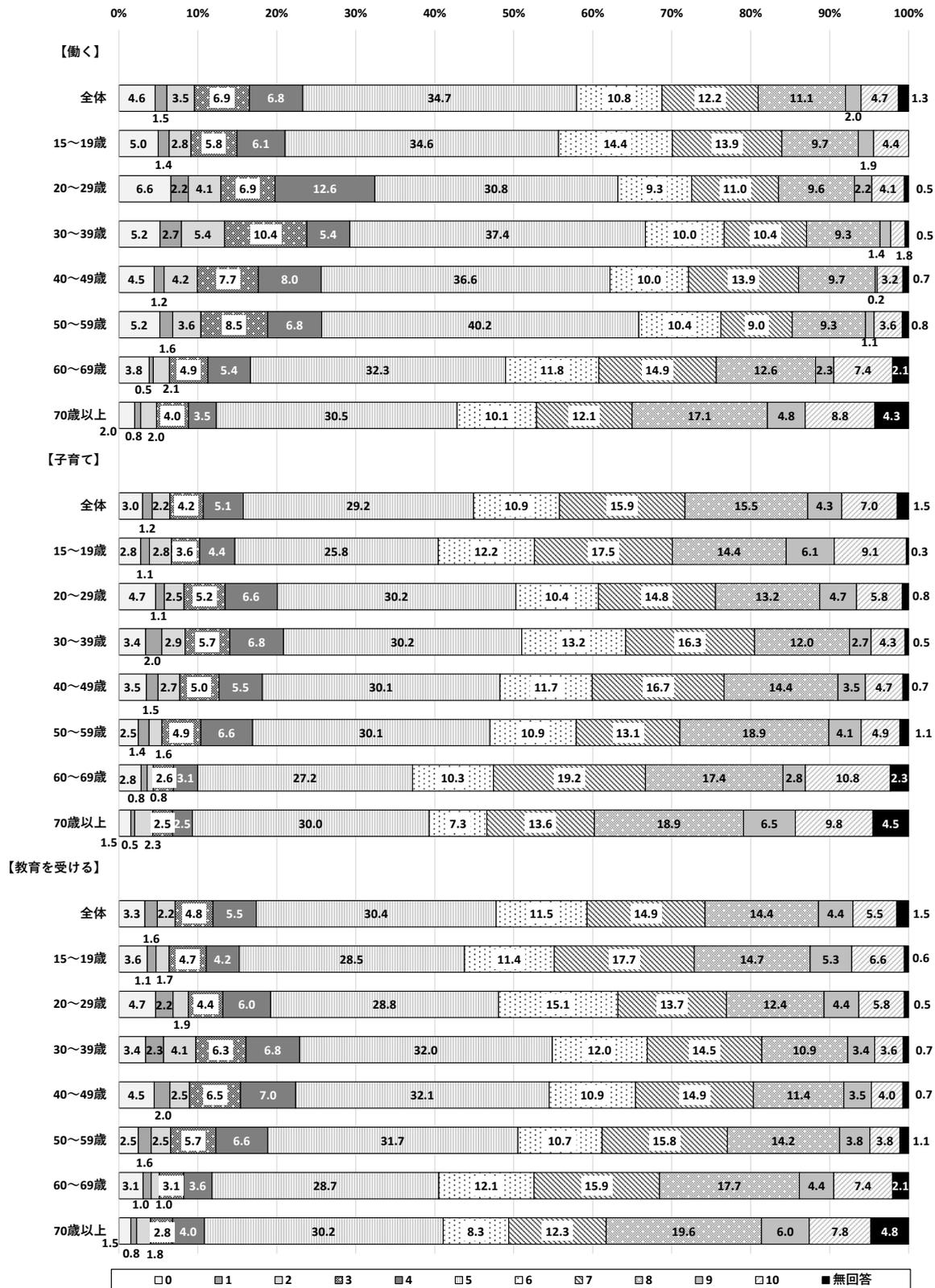
「働く」において、「70歳以上」では「6以上」が52.9%と、他の年代よりも若干高い。

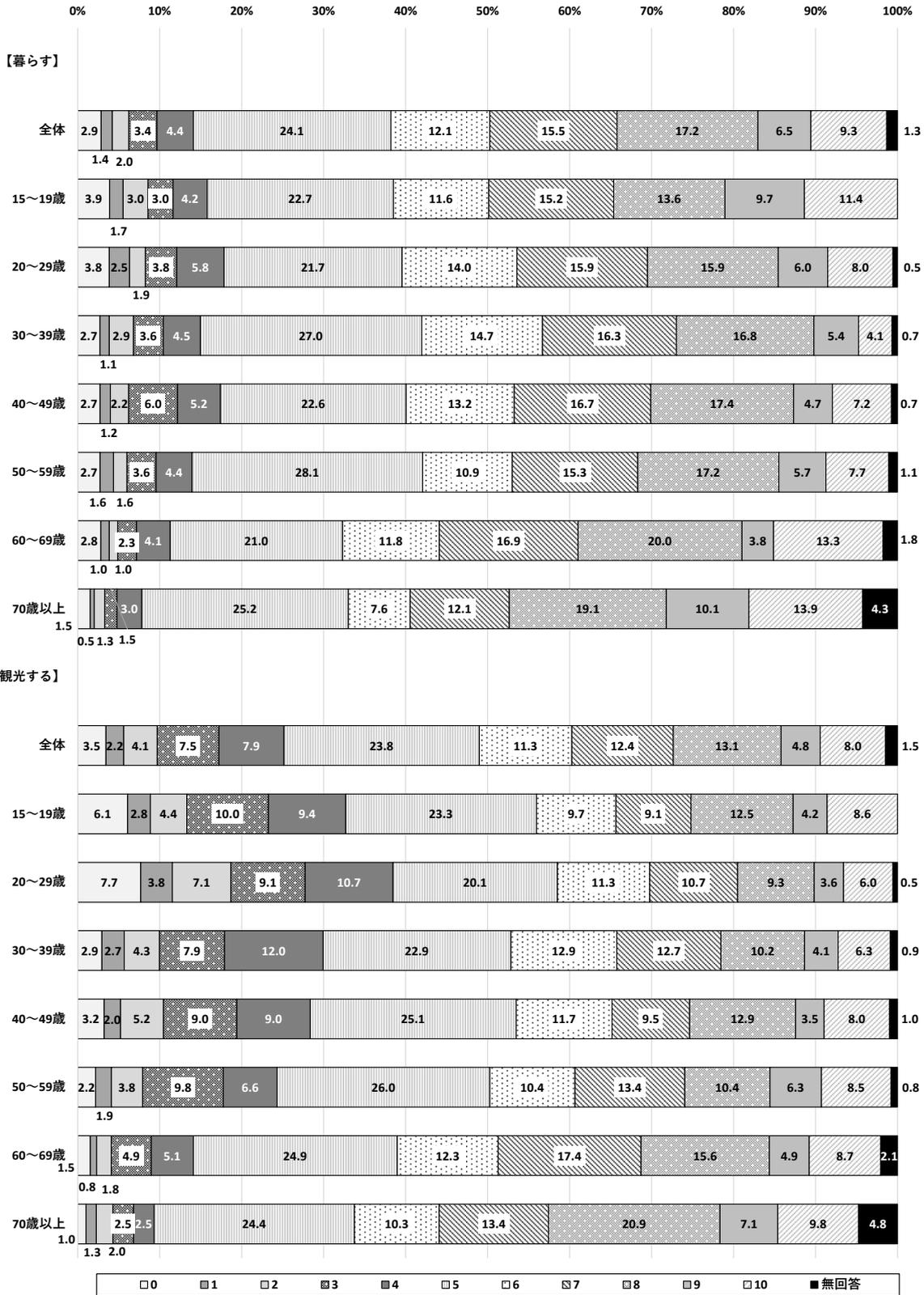
「子育て」において、「15～19歳」では「6以上」が他の年代よりも高い。

「教育を受ける」「暮らす」において、「60～69歳」では「6以上」が他の年代よりも高い。

「観光する」において、「70歳以上」では「6以上」が他の年代よりも高い。

図表 15-2-2 家族や親しい友人等への推薦度【割合】（年齢別）



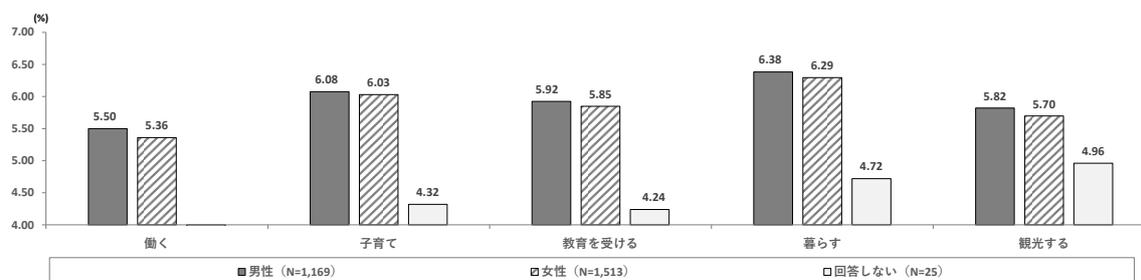


(3) 性別

【平均】

すべての設問項目で、「女性」よりも「男性」の方が高い。「子育て」と「暮らす」では、男女ともに平均が6を超えている。

図表 15-3-1 家族や親しい友人等へのおすすめ度【平均】(性別)

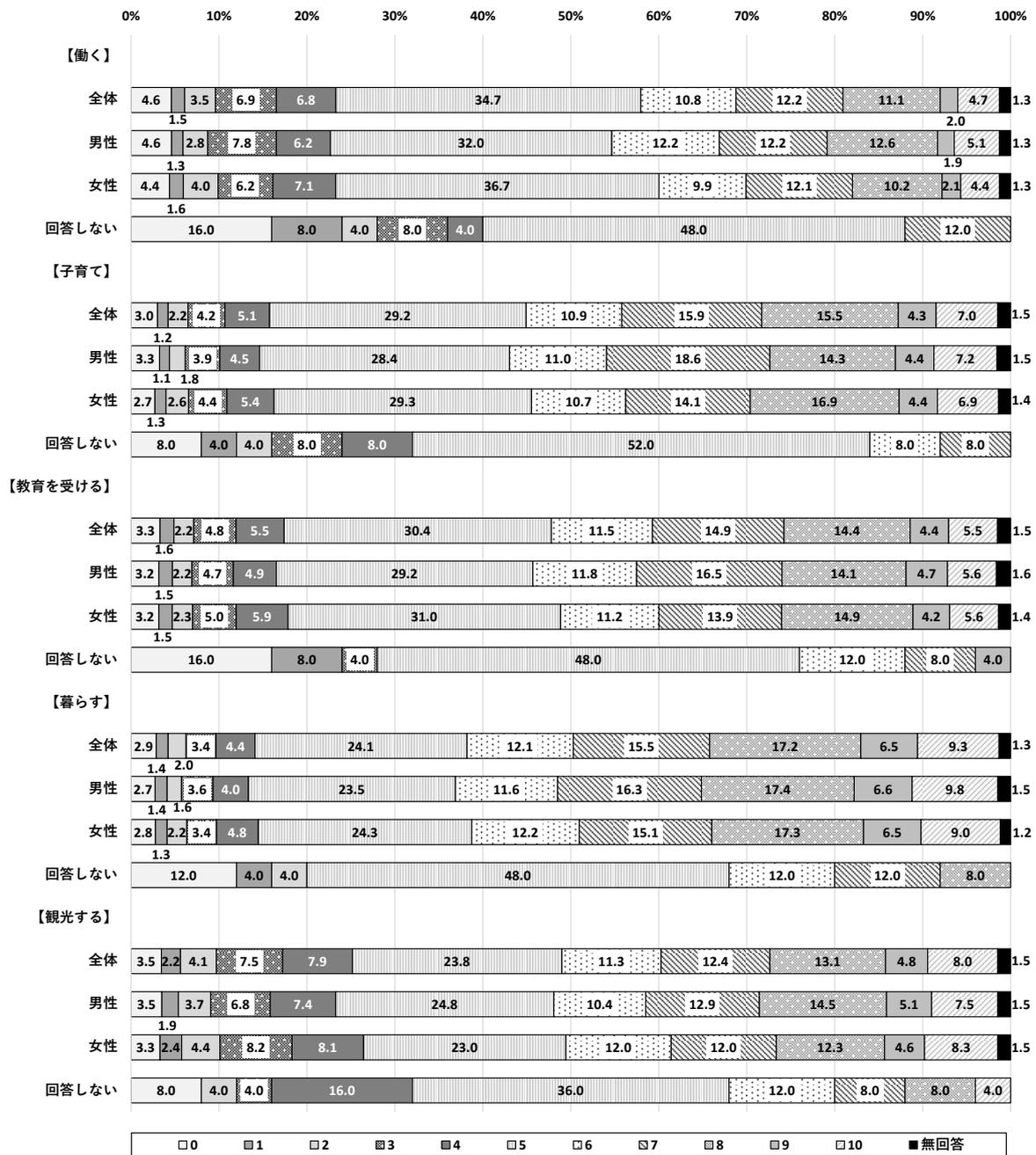


【割合】

男女ともに、「働く」「子育て」「教育を受ける」「暮らす」「観光する」のいずれも「5」が最も高い。

「6以上」を見ると、すべての設問において、「女性」よりも「男性」の方が高くなっている。

図表 15-3-2 家族や親しい友人等への推薦度【割合】（性別）

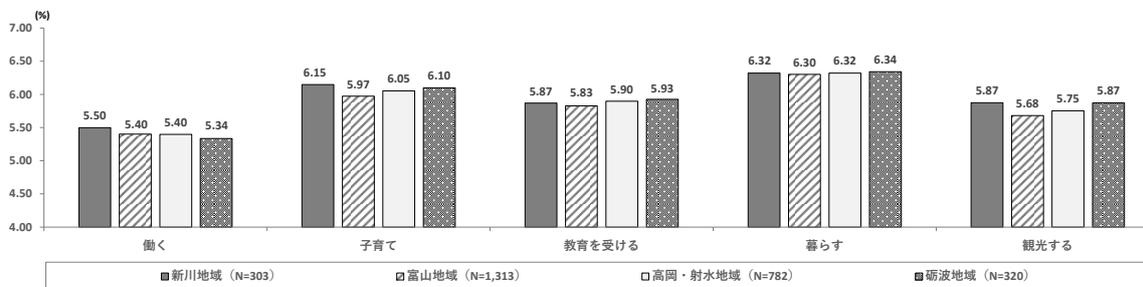


(4) - 1 地域別

【平均】

「暮らす」では、すべての地域で平均が6を超えている。

図表 15-4-1-1 家族や親しい友人等への推薦度【平均】(地域別)

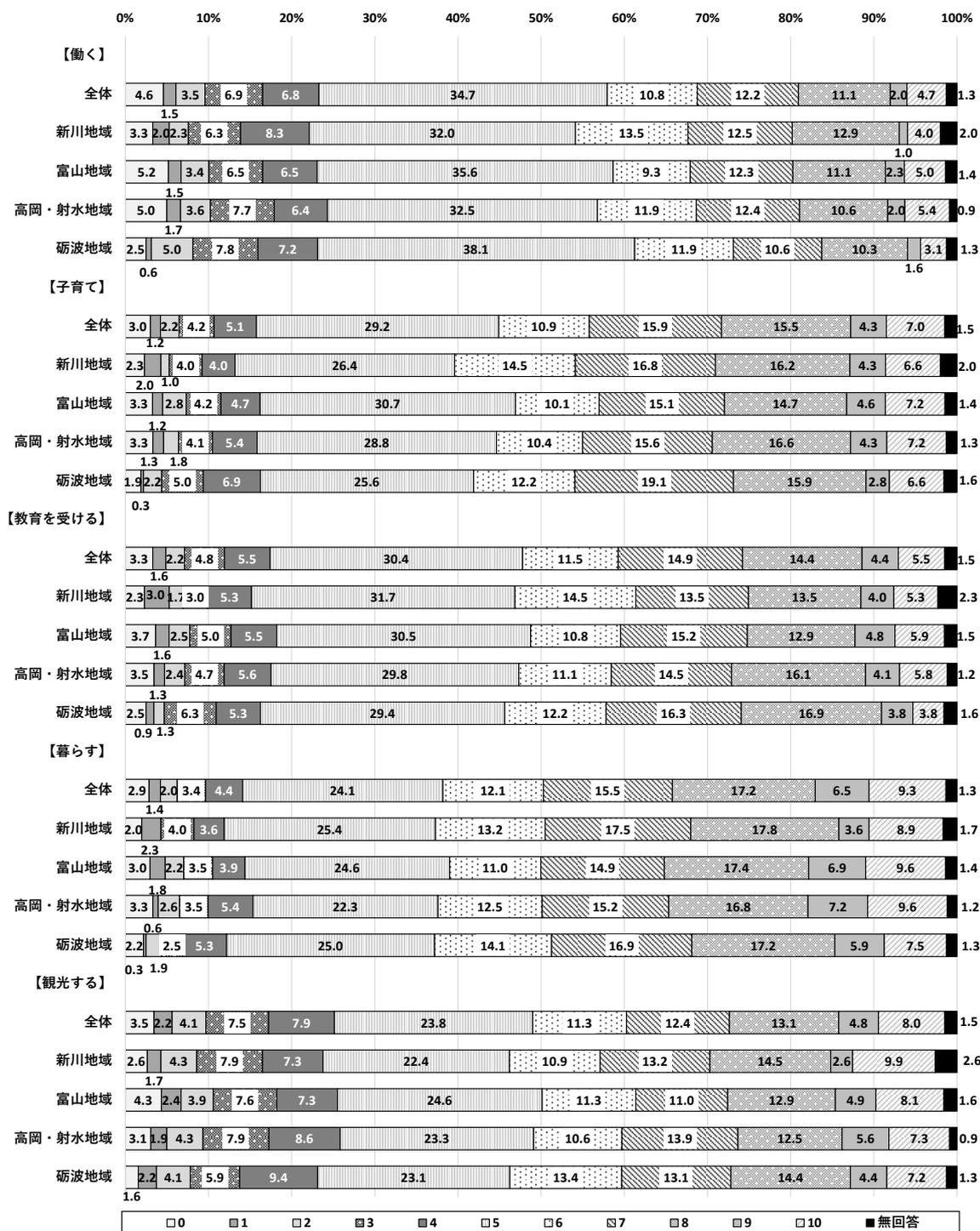


【割合】

すべての地域で、「働く」「子育て」「教育を受ける」「暮らす」「観光する」のいずれも「5」が最も高い。

「6以上」を見ると、「働く」「子育て」において、「新川地域」が他の地域よりも若干高く、「教育を受ける」「暮らす」「観光する」において、「砺波地域」が他の地域よりも若干高い。

図表 15-5-1-2 家族や親しい友人等への推薦度【割合】(地域別)

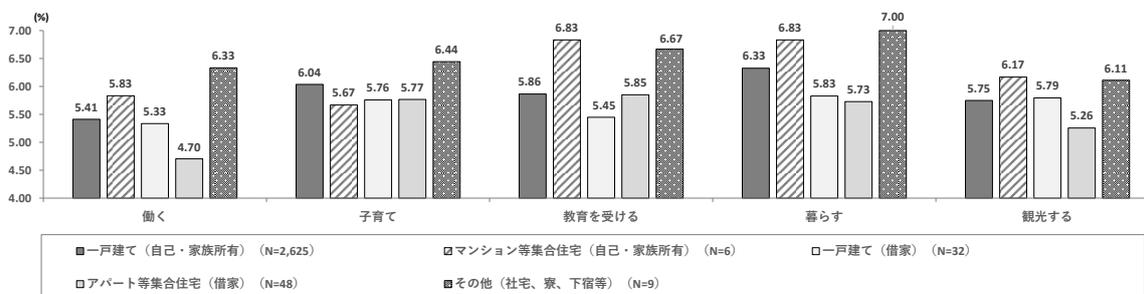


(4) - 2 現在の住居状況別

【平均】

「一戸建て（自己・家族所有）」では、「子育て」「暮らす」において平均が6を超えている。

図表 15-4-2-1 家族や親しい友人等への推薦度【平均】（住居状況別）

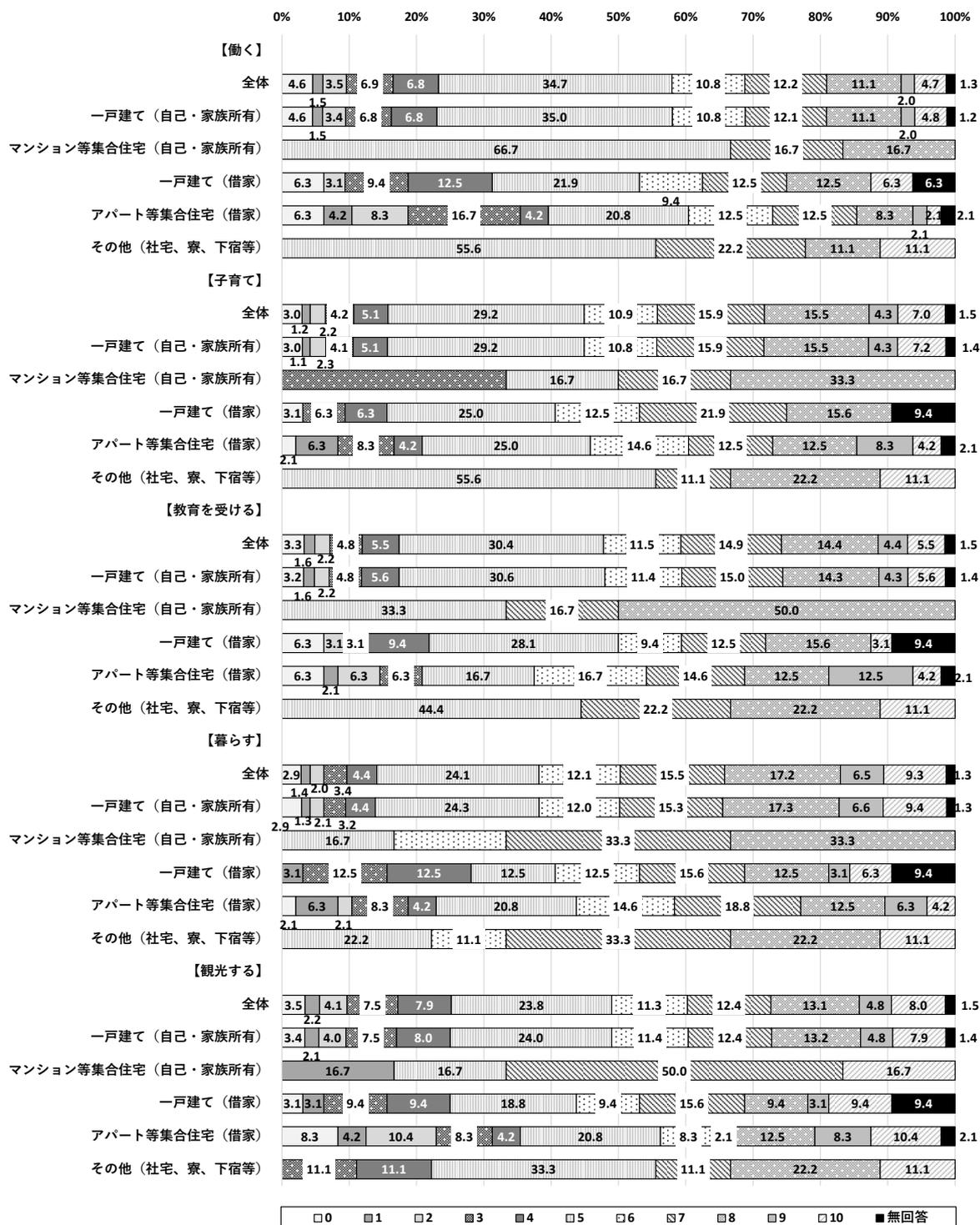


【割合】

「一戸建て（自己・家族所有）」では、「働く」「子育て」「教育を受ける」「暮らす」「観光する」のいずれも「5」が最も高い。

「6以上」を見ると、「暮らす」が60.6%と最も高くなっている。一方、「働く」が40.8%と他と比べて低くなっている。

図表 15-4-2-2 家族や親しい友人等への推薦度【割合】（住居状況別）

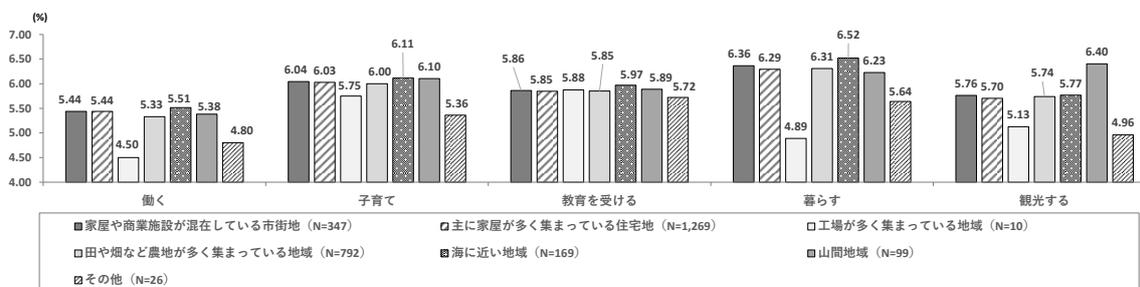


(4) - 3 現在の居住地環境別

【平均】

「子育て」「暮らす」において、すべての居住地環境で平均が6を超えている。

図表 15-4-3-1 家族や親しい友人等への推薦度【平均】(居住地環境別)

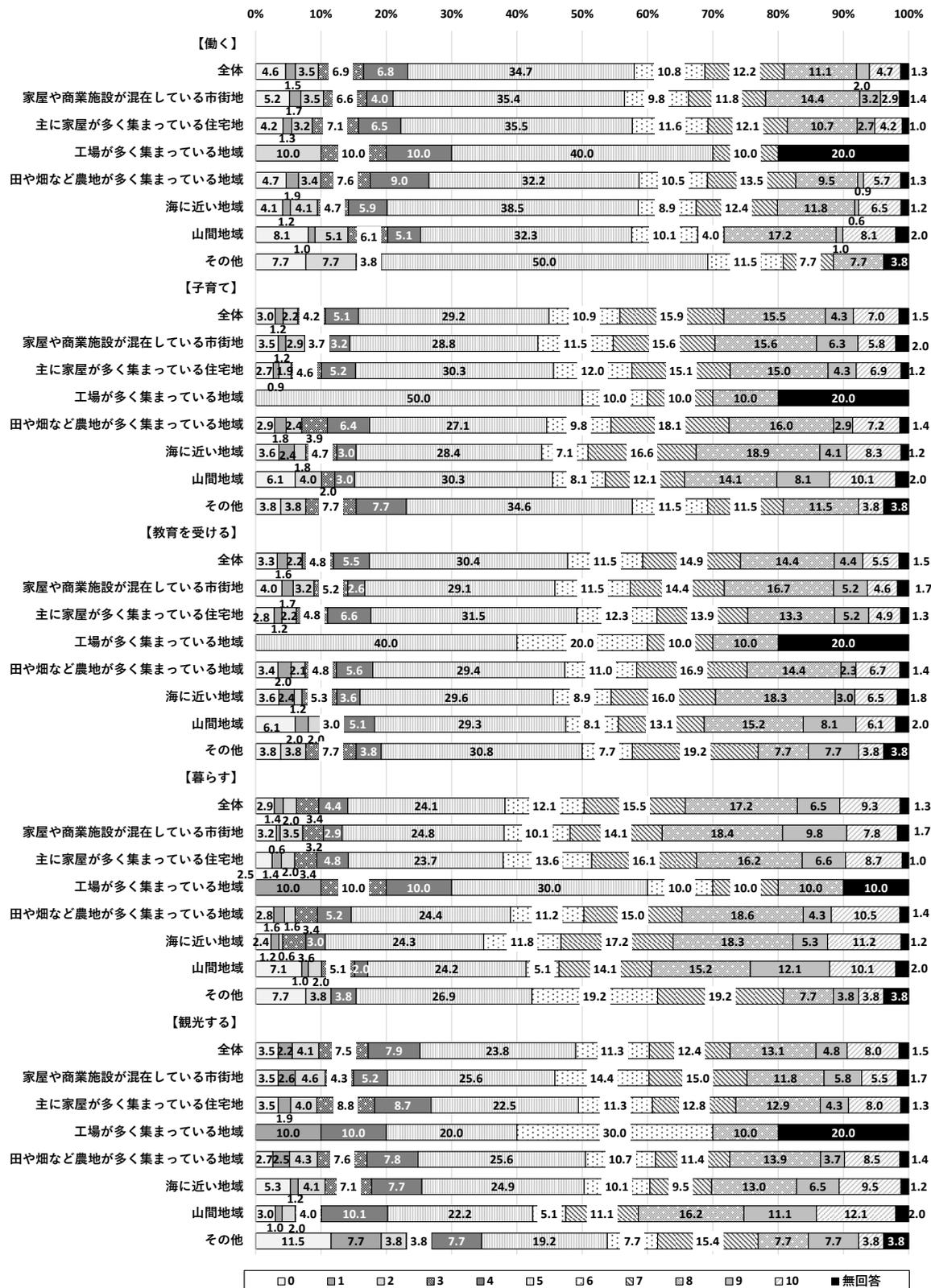


【割合】

どの居住地環境でも、「働く」「子育て」「教育を受ける」「暮らす」「観光する」のいずれも「5」が最も高い。

「6以上」を見ると、「働く」において、「家屋や商業施設が混在している市街地」では「6以上」が他の居住地環境よりも若干高い。「子育て」「教育を受ける」「暮らす」において、「海に近い地域」では「6以上」が他の居住地環境よりも若干高い。「観光する」において、「山間地域」では「6以上」が他の居住地環境よりも若干高い。

図表 15-4-3-2 家族や親しい友人等への推薦度【割合】（居住地域環境別）

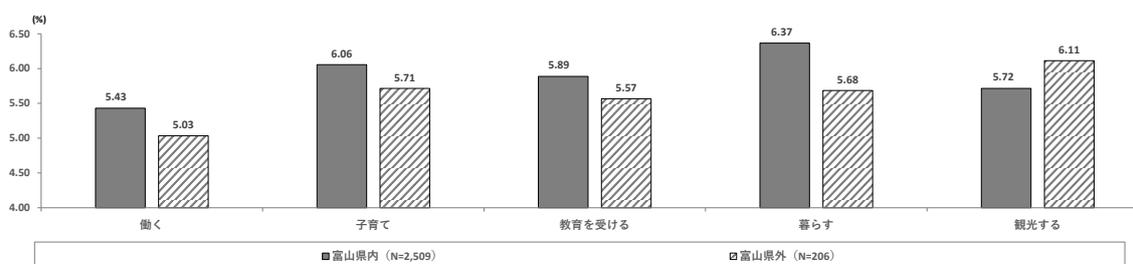


(4) - 4 出身地別

【平均】

「観光する」を除くすべての設問項目において、「富山県外」よりも「富山県内」の方が高くなっている。「富山県内」では「子育て」「暮らす」において6を超えている。

図表 15-4-4-1 家族や親しい友人等への推薦度【平均】(出身地別)

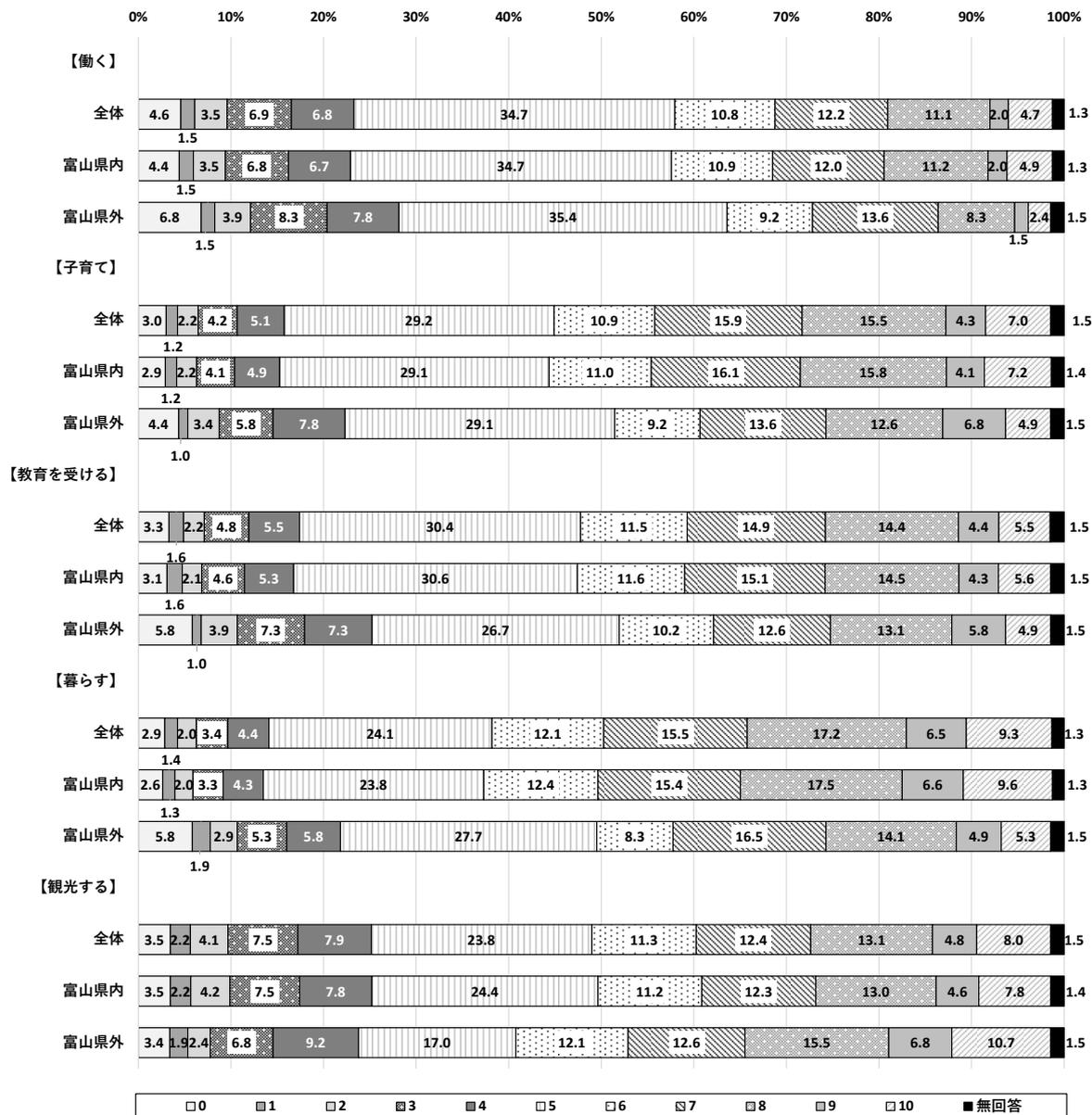


【割合】

「富山県内」「富山県外」とともに、「働く」「子育て」「教育を受ける」「暮らす」「観光する」のいずれも「5」が最も高い。

「6以上」を見ると、「観光する」を除くすべての設問において、「富山県外」よりも「富山県内」の方が高い。

図表 15-4-4-2 家族や親しい友人等への推薦度【割合】（出身地別）

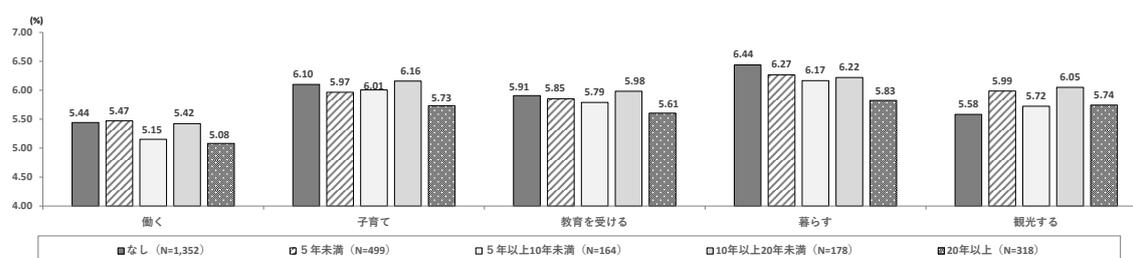


(4) - 5 県外での居住年数別

【平均】

「暮らす」では、「20年以上」を除くすべての居住年数で6を超えている。「子育て」「教育を受ける」「観光する」では「10年以上20年未満」が最も高い。

図表 15-5-1-1 家族や親しい友人等への推薦度【平均】（県外居住年数別）

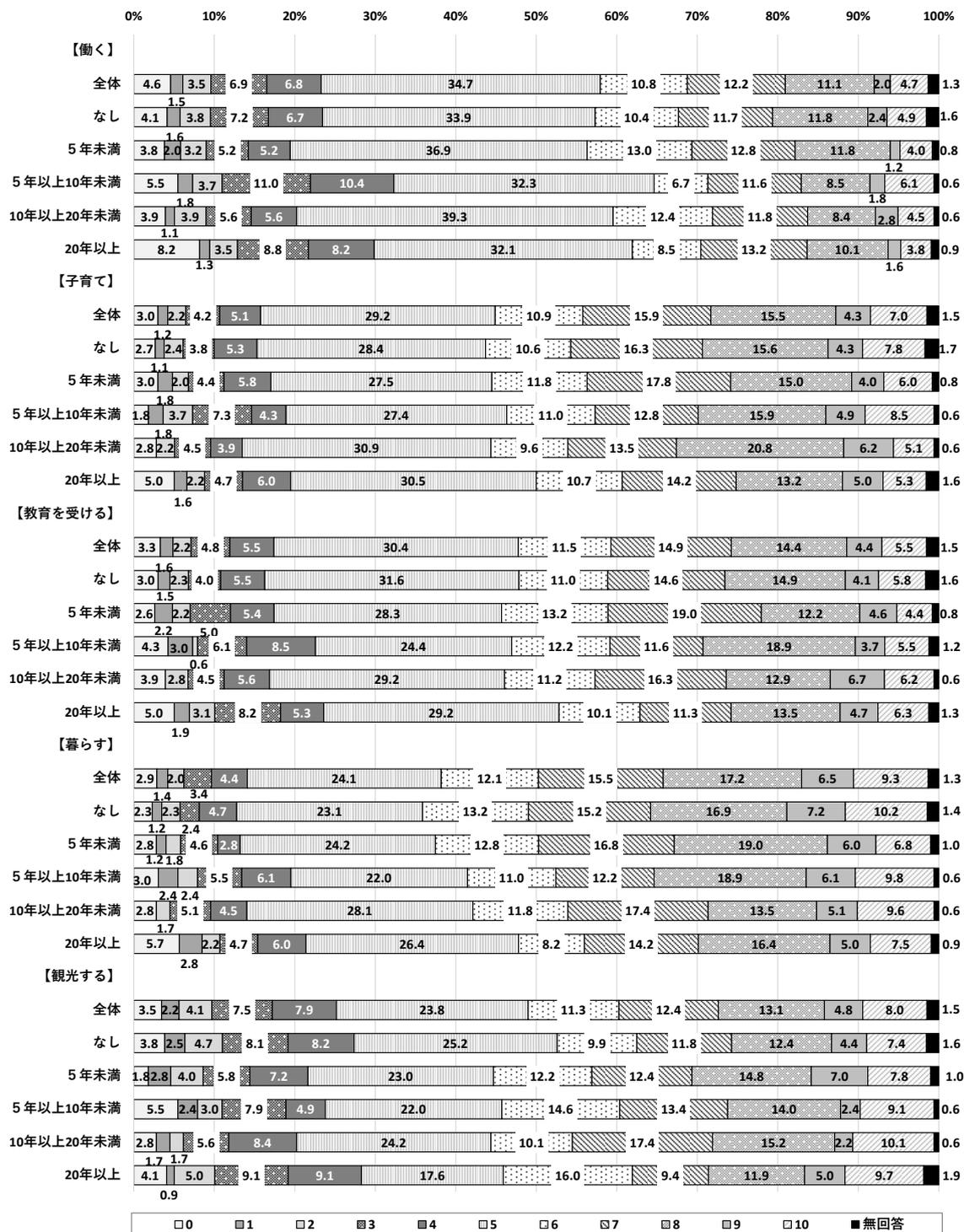


【割合】

どの居住年数でも、「働く」「子育て」「教育を受ける」「暮らす」「観光する」のいずれも「5」が最も高い。

「6以上」を見ると、「働く」において、「5年以上10年未満」で他の居住年数と比較して若干低い。「子育て」「教育を受ける」「暮らす」において、「20年以上」で他の居住年数よりも低い。「観光する」において、県外での居住が「なし」で他と比較して低い。

図表 15-5-1-2 家族や親しい友人等への推薦度【割合】（県外居住年数別）

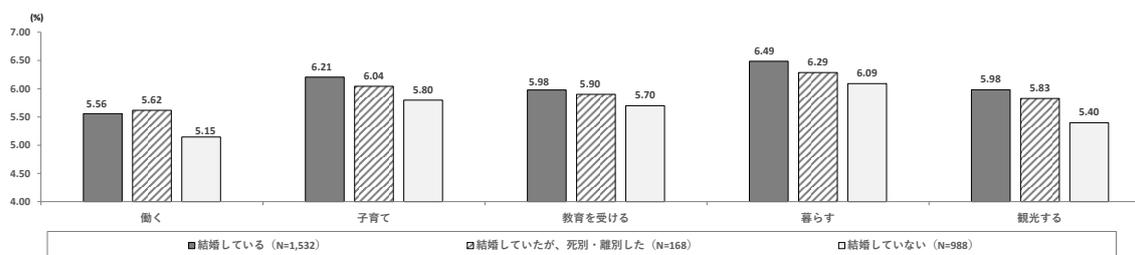


(5) - 1 結婚の有無別

【平均】

「働く」を除くすべての設問項目において、「結婚している」が最も高くなっている。また、「暮らす」ではすべて6を超えている。

図表 15-5-1-1 家族や親しい友人等への推薦度【平均】（結婚の有無別）

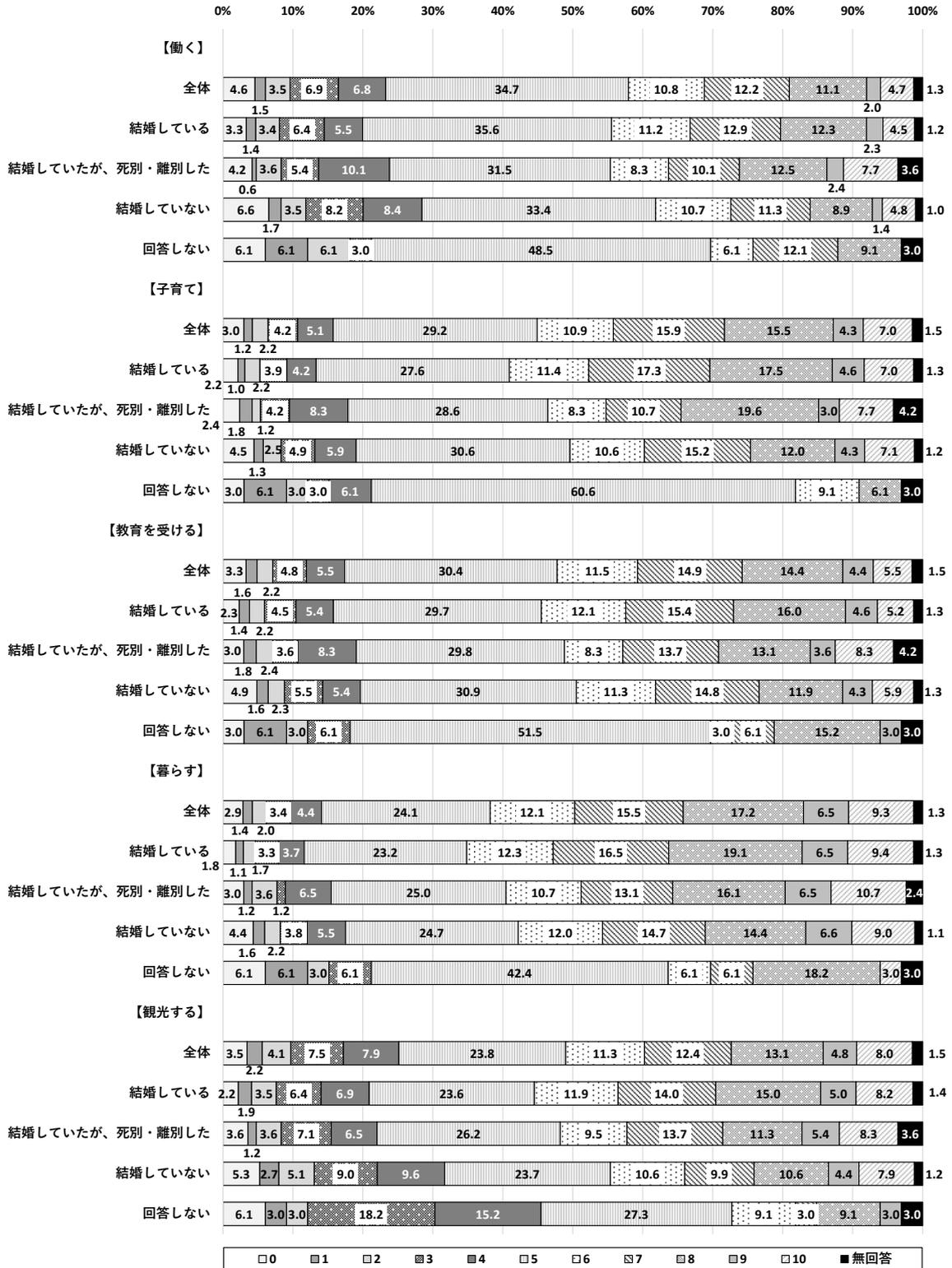


【割合】

結婚の有無に関わらず、「働く」「子育て」「教育を受ける」「暮らす」「観光する」のいずれも「5」が最も高い。

「6以上」を見ると、すべての設問項目において、「結婚している」が他よりも若干高い。「働く」においては、「結婚していない」が他よりも低い。

図表 15-5-1-2 家族や親しい友人等への推薦度【割合】（結婚の有無別）

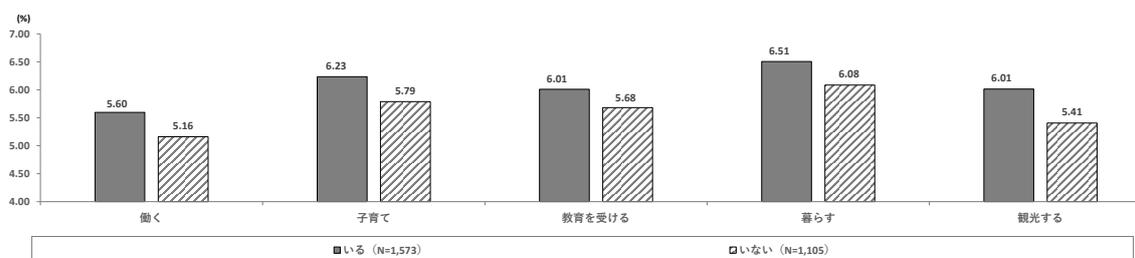


(5) - 2 子どもの有無別

【平均】

すべての設問項目において、子どもが「いない」よりも「いる」の方が高くなっている。子どもが「いる」では「働く」を除くすべての設問項目において6を超えている。

図表 15-5-2-1 家族や親しい友人等への推薦度【平均】(子どもの有無別)

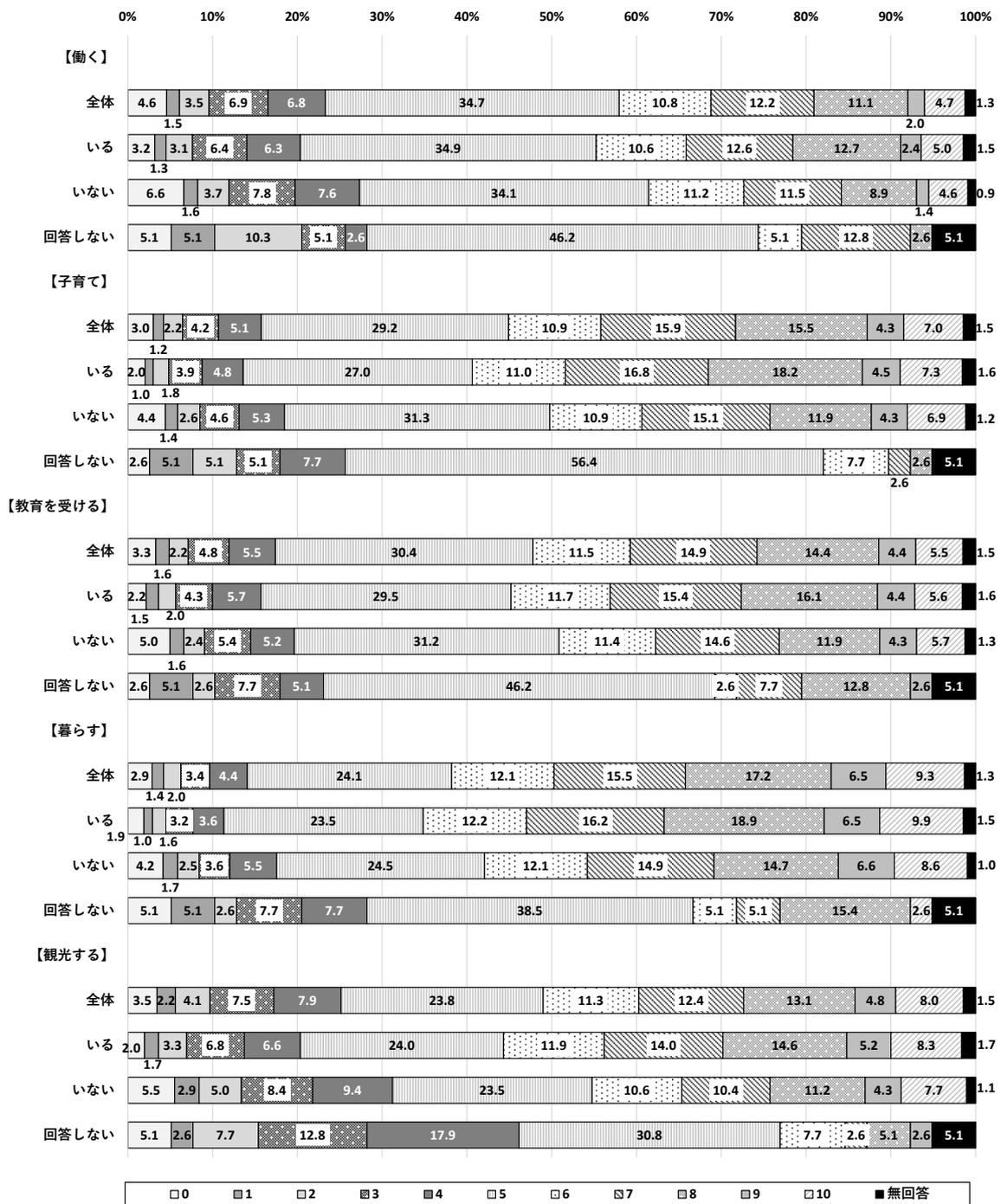


【割合】

子どもの有無に関わらず、「働く」「子育て」「教育を受ける」「暮らす」「観光する」のいずれも「5」が最も高い。

「6以上」を見ると、すべての設問において、子どもが「いる」の方が、「いない」よりも高くなっている。「子育て」においては、「いる」の方が8.7ポイント高い。

図表 15-5-2-2 家族や親しい友人等への推薦度（子どもの有無別）

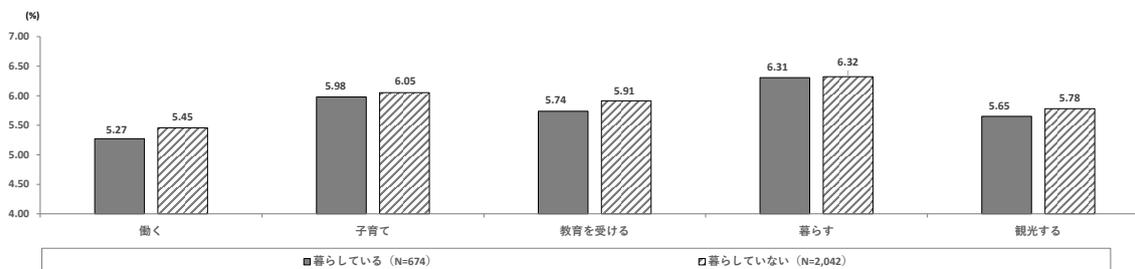


(5) - 3 ペットの有無別

【平均】

すべての設問項目において、ペットと「暮らしていない」の方が若干高い。

図表 15-5-3-1 家族や親しい友人等への推薦度【平均】(ペットの有無別)

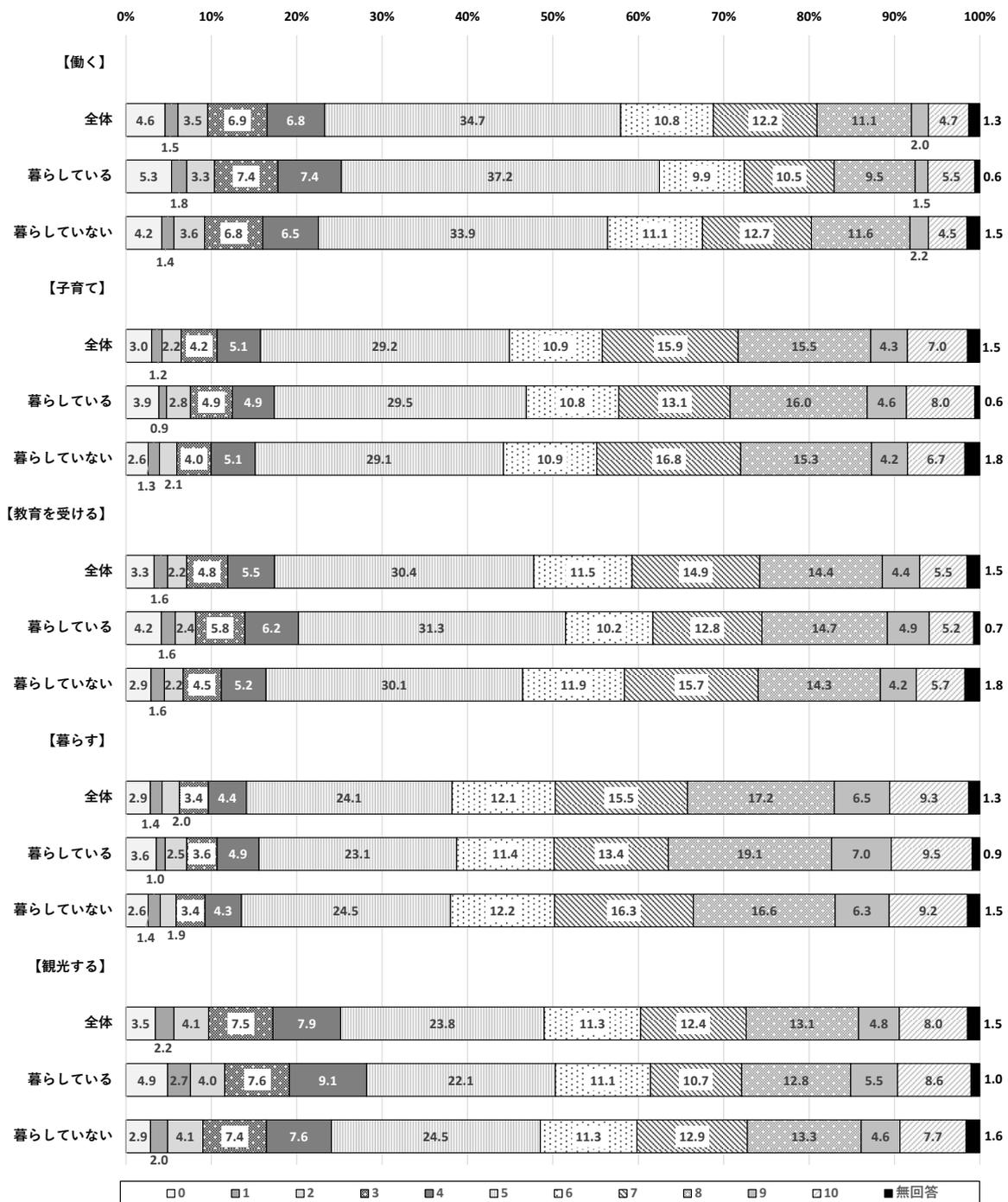


【割合】

ペットと「暮らしている」「暮らしていない」ともに、「働く」「子育て」「教育を受ける」「暮らす」「観光する」のいずれも「5」が最も高い。

「6以上」を見ると、すべての設問において、ペットと「暮らしていない」が「暮らしている」よりも高くなっている。

図表 15-5-3-2 家族や親しい友人等への推薦度【割合】（ペットの有無別）

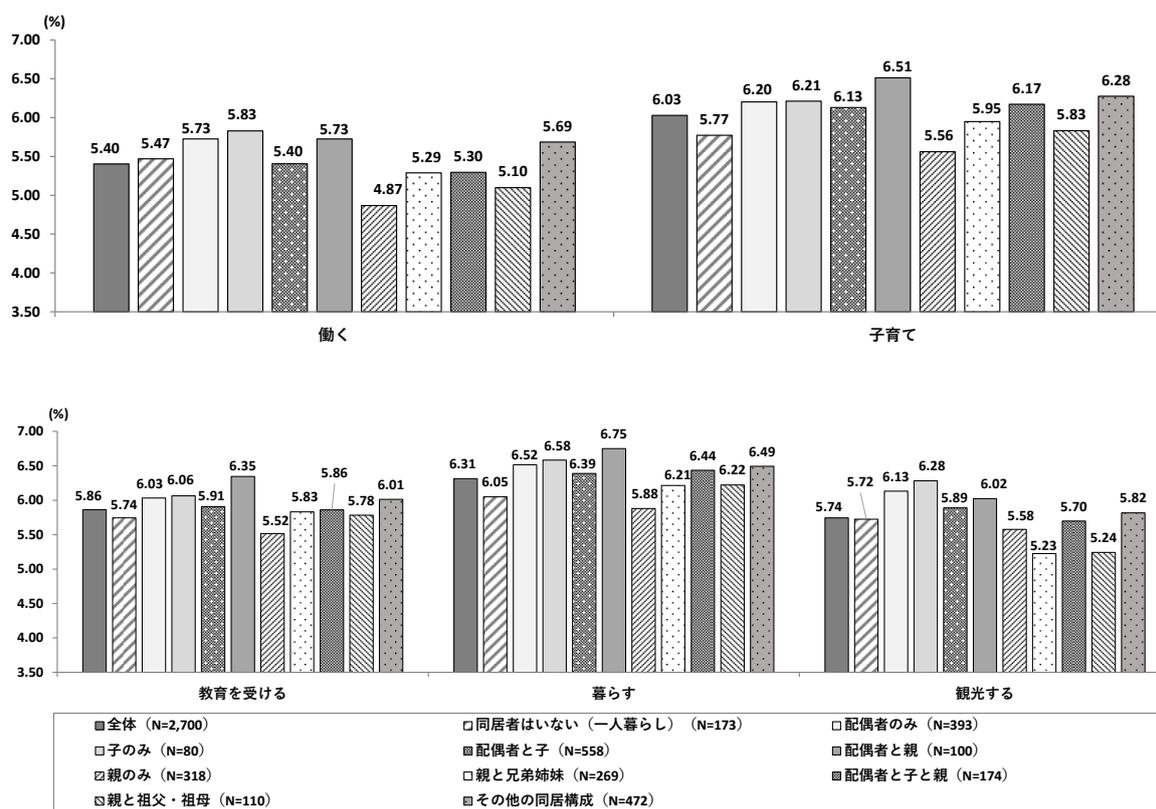


(5) - 4 同居家族の構成別

【平均】

「働く」では、「親のみ」だけが5を下回っている。「子育て」「教育を受ける」「暮らす」において、「配偶者と親」が他と比べて高い。「観光する」では、「子のみ」が6.28と最も高い。

図表 15-5-4-1 家族や親しい友人等への推薦度【平均】（同居家族構成別）

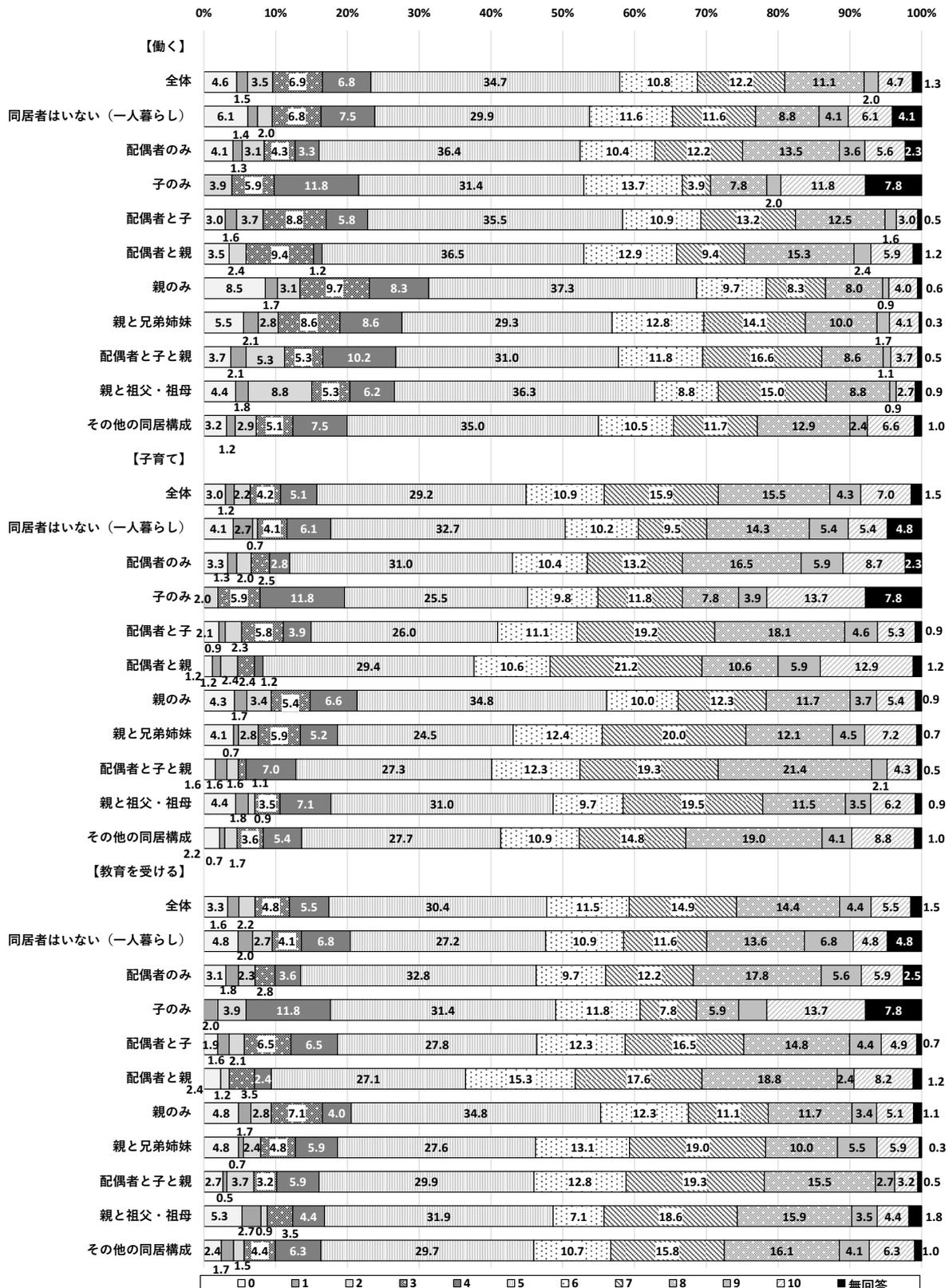


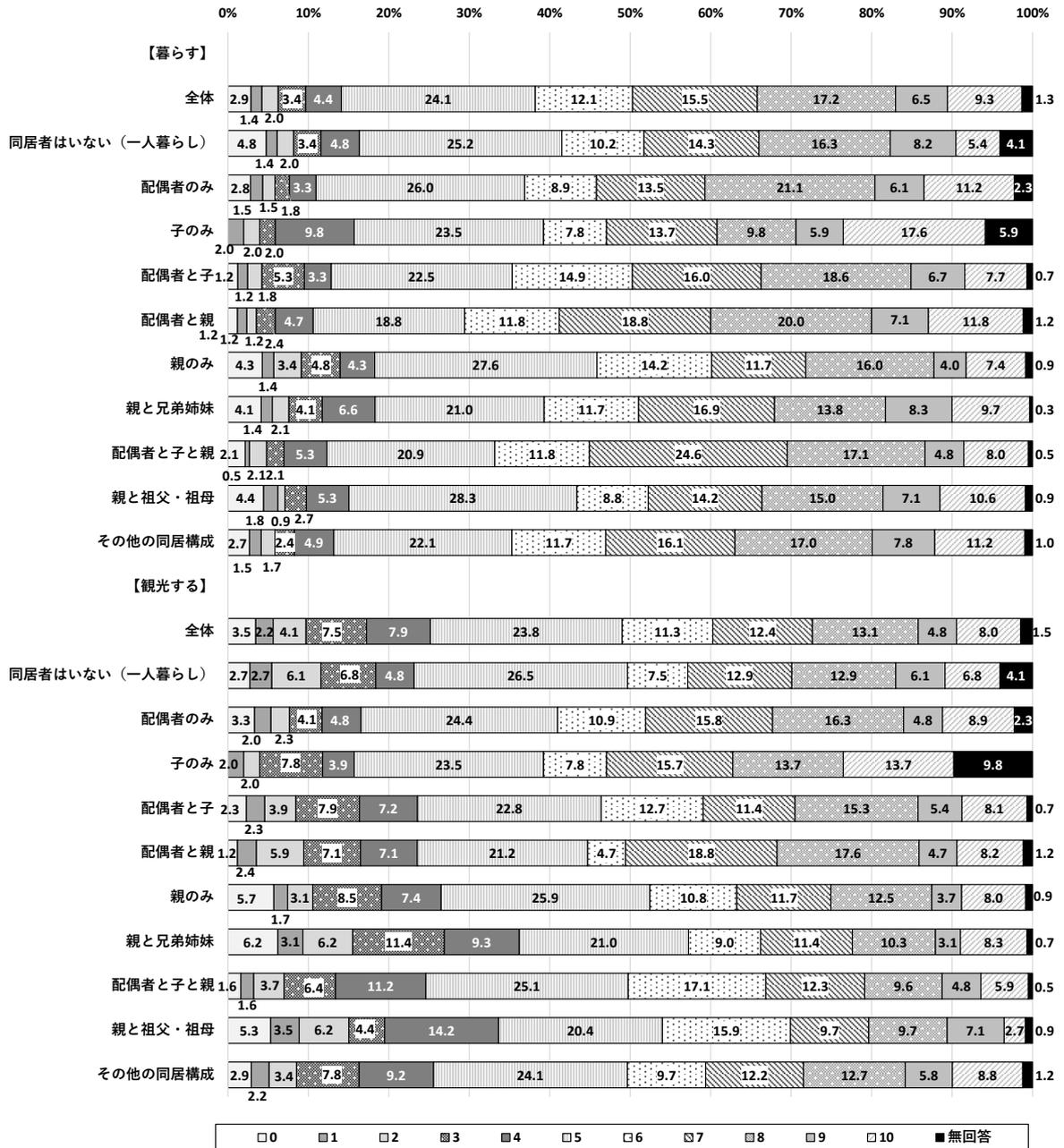
【割合】

すべての設問項目において、「働く」「子育て」「教育を受ける」「暮らす」「観光する」のいずれも「5」が最も高い。

「6以上」を見ると、「観光する」を除くすべての設問項目において、「配偶者と親」が他よりも高い。「観光する」においては、「配偶者のみ」が他よりも高い。

図表 15-5-4-2 家族や親しい友人等への推薦度【割合】（同居家族構成別）



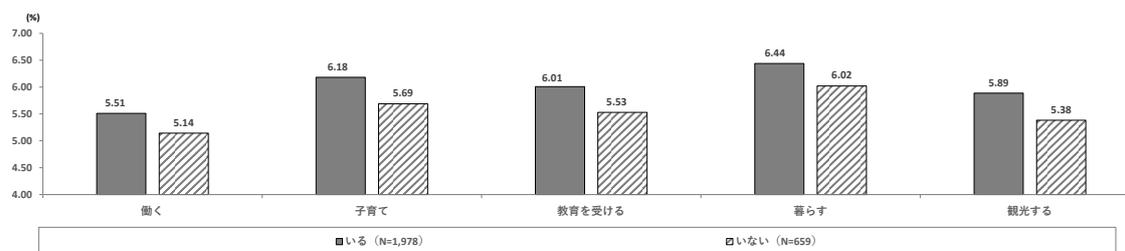


(5) - 5 別居親族の有無

【平均】

すべての設問項目において、別居親族が「いない」よりも「いる」の方が高くなっている。別居親族が「いる」では「子育て」「教育を受ける」「暮らす」において6を超えている。

図表 15-5-5-1 家族や親しい友人等への推薦度【平均】(別居親族の有無別)

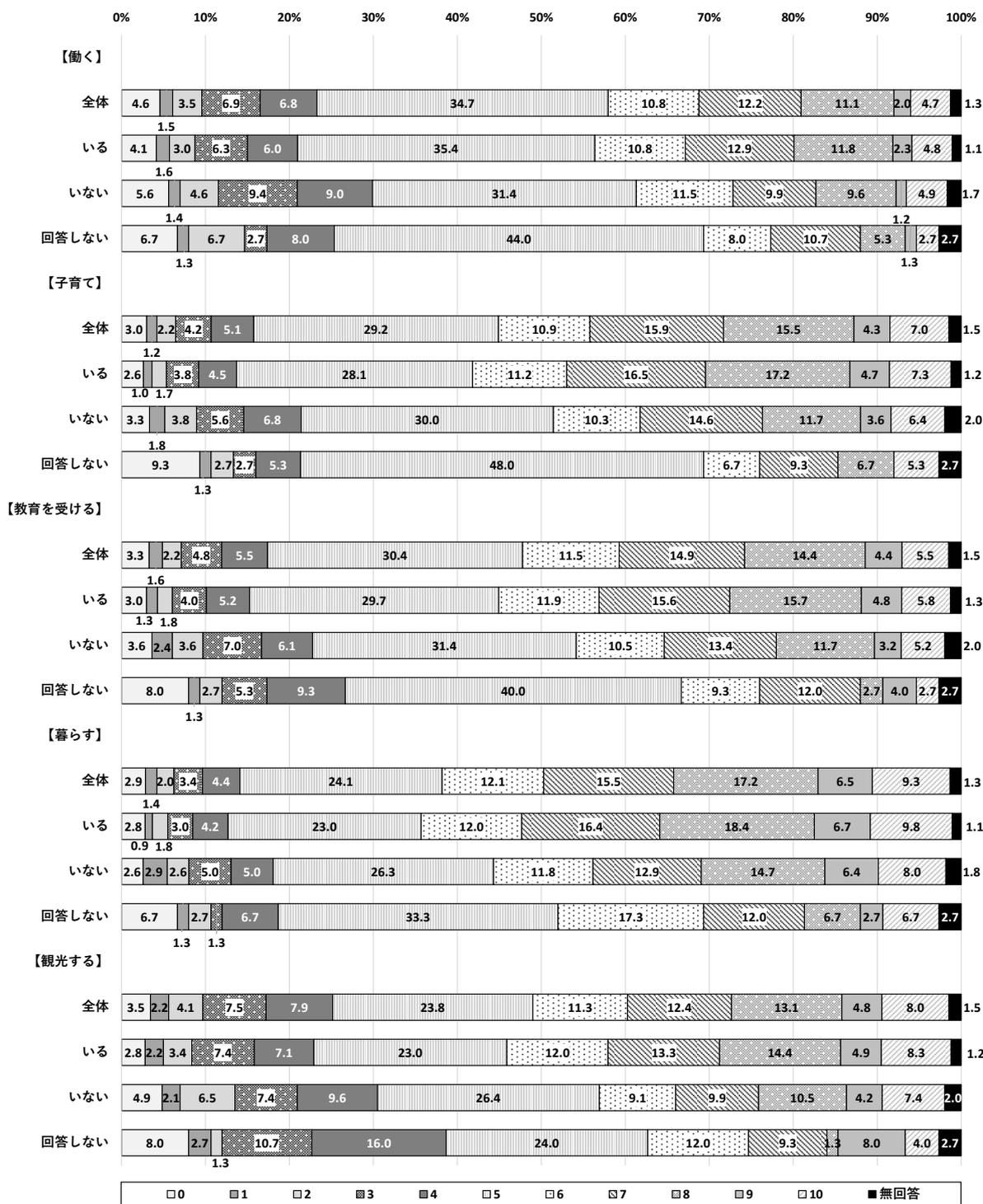


【割合】

別居の親族が「いる」「いない」ともに、「働く」「子育て」「教育を受ける」「暮らす」「観光する」のいずれも「5」が最も高い。

「6以上」を見ると、すべての設問において、別居の親族が「いる」の方が、「いない」よりも高くなっている。「子育て」においては、別居の親族が「いる」の方が10.3ポイント高い。「暮らす」においては、別居の親族が「いる」が6割台と、他と比べて高い。

図表 15-5-5-2 家族や親しい友人等への推薦度【割合】（別居親族の有無別）

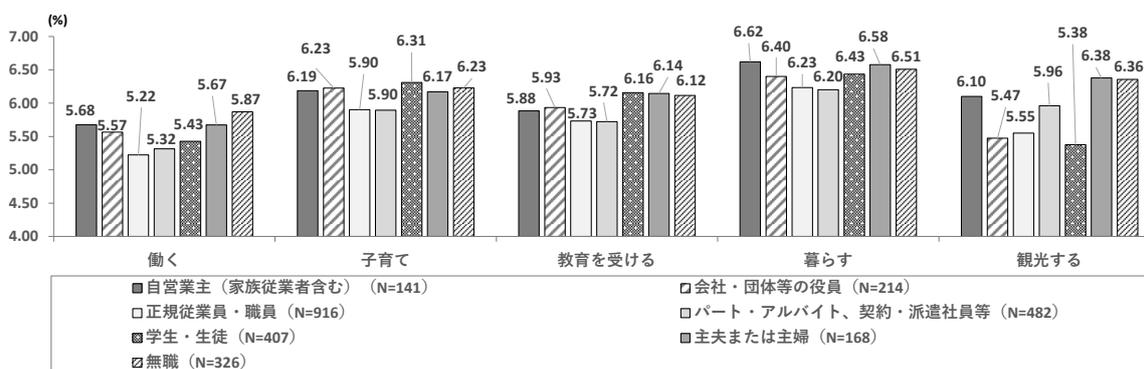


(6) - 1 職業別

【平均】

「暮らす」では、「回答しない」を除くすべてで6を超えている。「子育て」では「学生・生徒」(6.31)が、「暮らす」では「自営業主(家族従業者含む)」(6.62)が最も高い。

図表 15-6-1-1 家族や親しい友人等への推薦度【平均】(職業別)

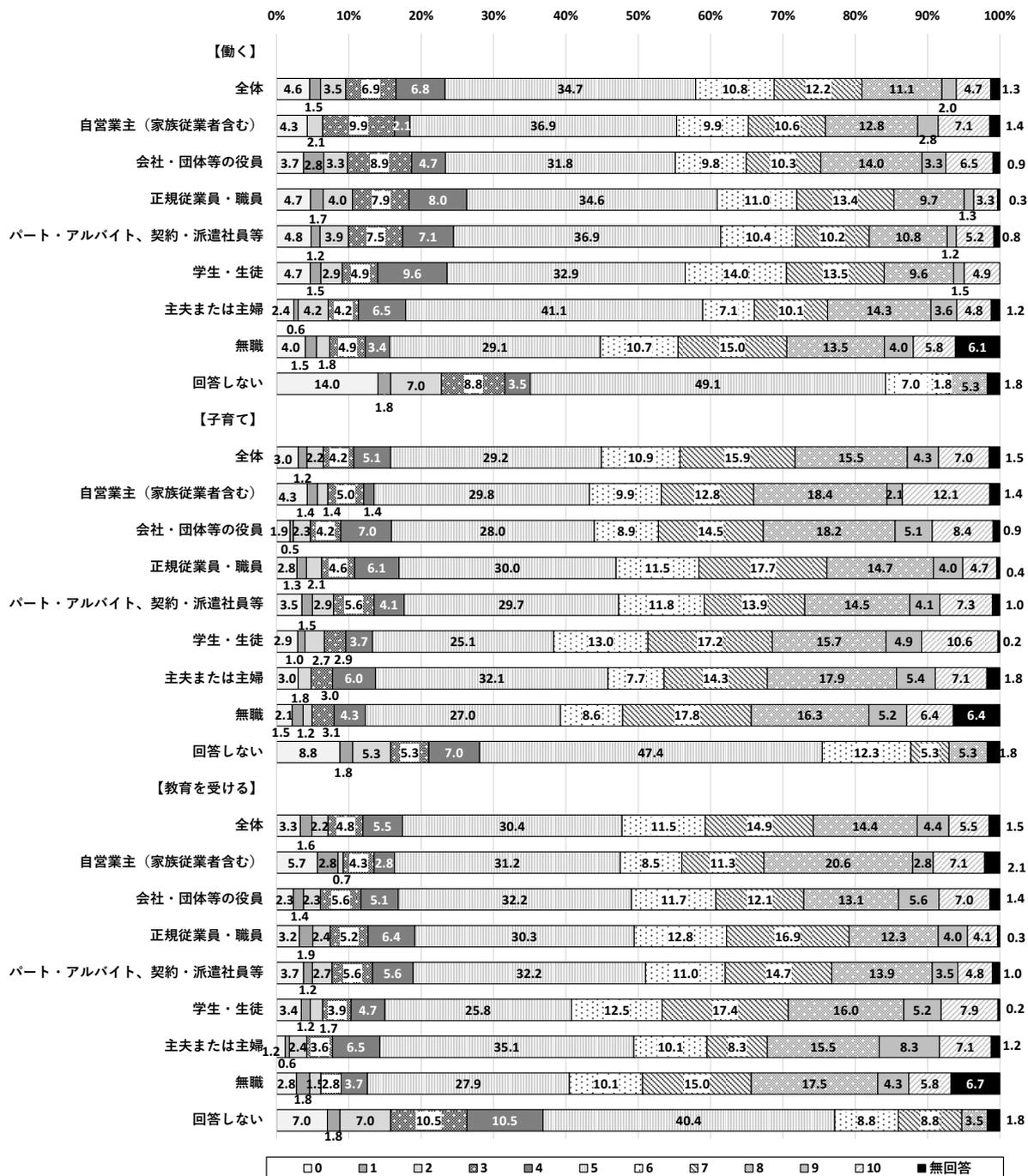


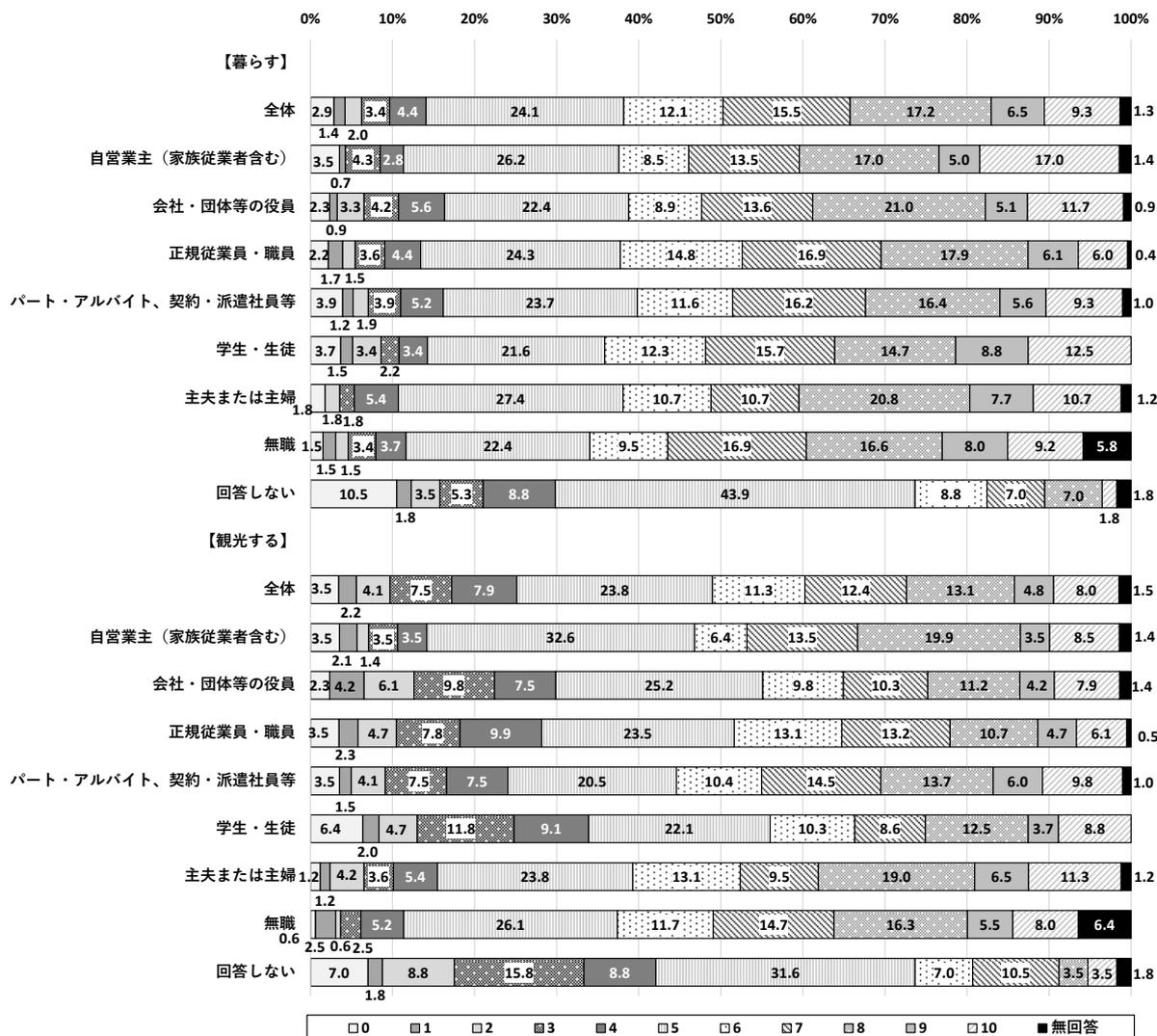
【割合】

すべての設問項目において、どの職業も「5」が最も高くなっている。

「6以上」を見ると、「子育て」においては、「学生・生徒」で、「暮らす」においては、「パート・アルバイト、契約・派遣社員等」と「無職」を除くすべての職業で6割を超えている。

図表 15-6-1-2 家族や親しい友人等への推薦度【割合】（職業別）



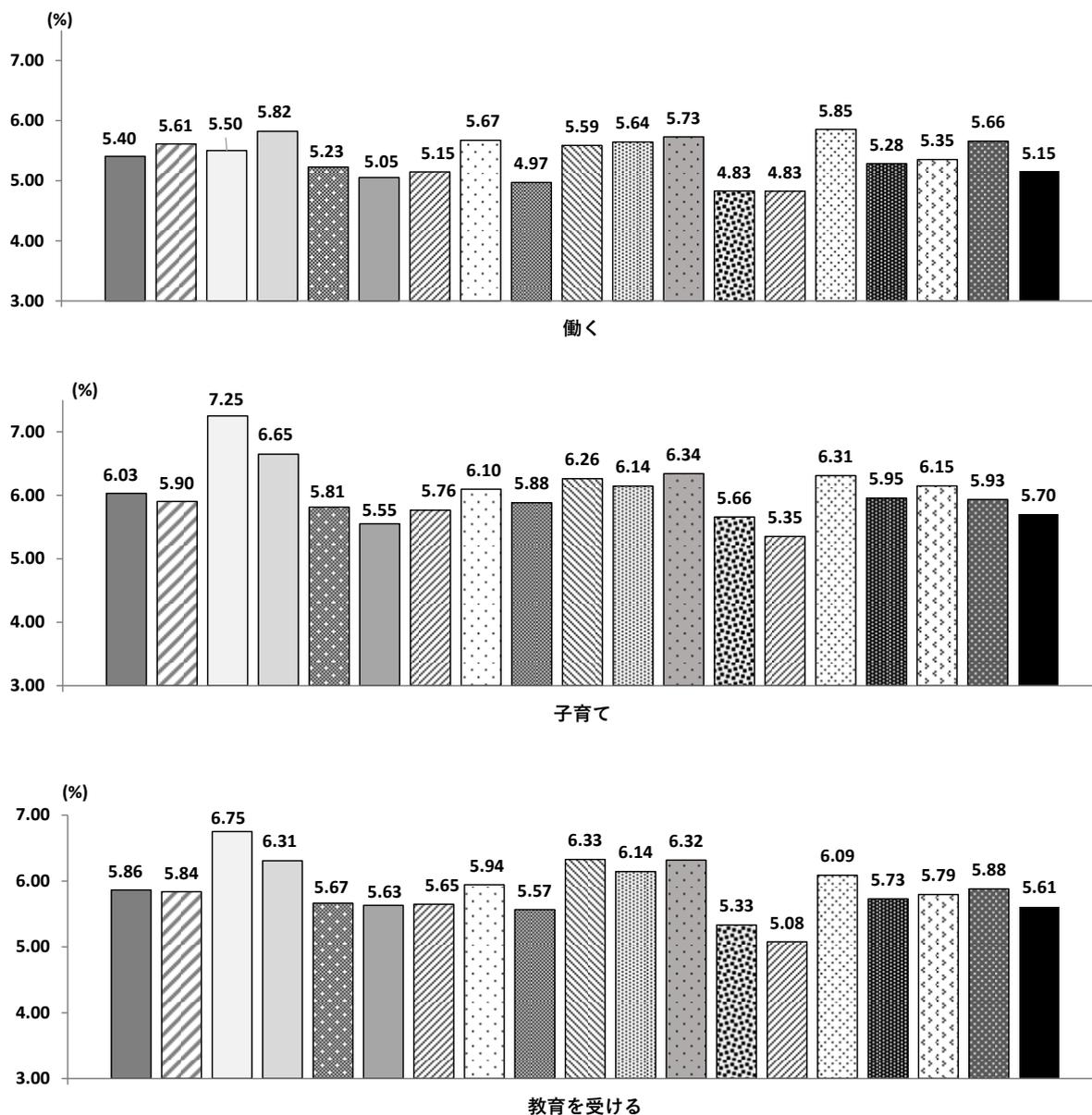


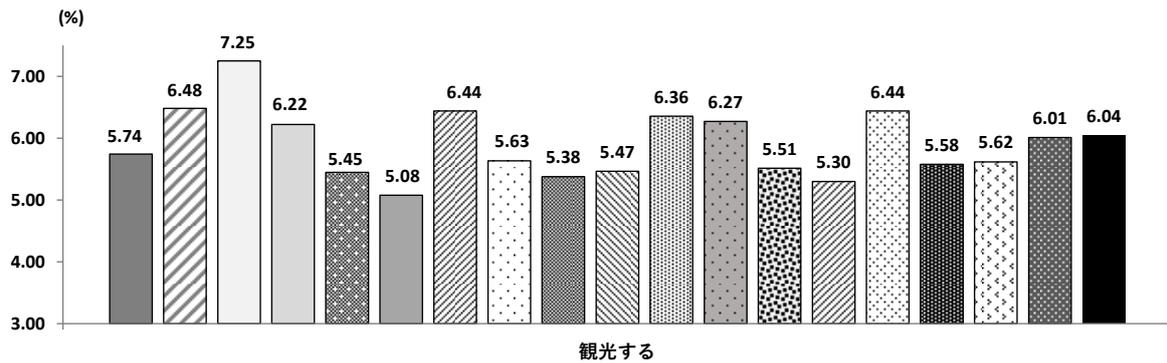
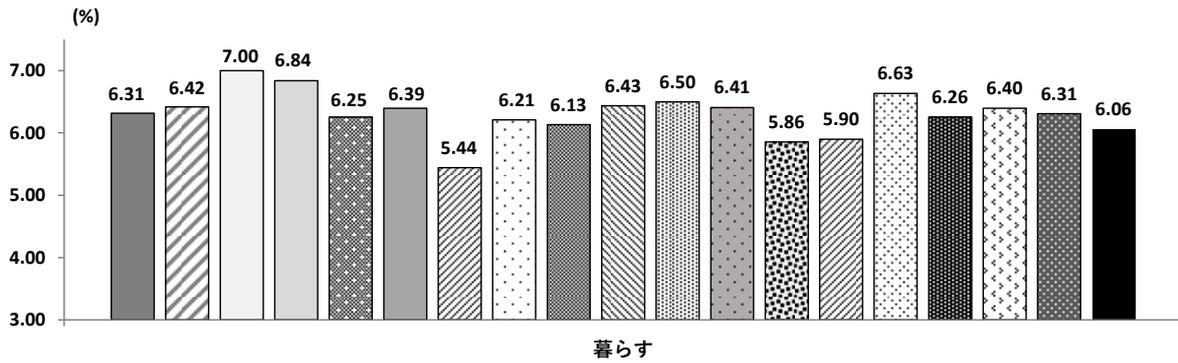
(6) - 2 職業分野別

【平均】

「働く」では「教育、学習支援業」(5.85)が、「子育て」では「建設業」(6.65)が、「教育を受ける」では「金融業・保険業」(6.33)、「暮らす」では「建設業」(6.84)が、「観光する」では「農林漁業」(6.48)が最も高い。

図表 15-6-2-1 家族や親しい友人等への推薦度【平均】(職業分野別)





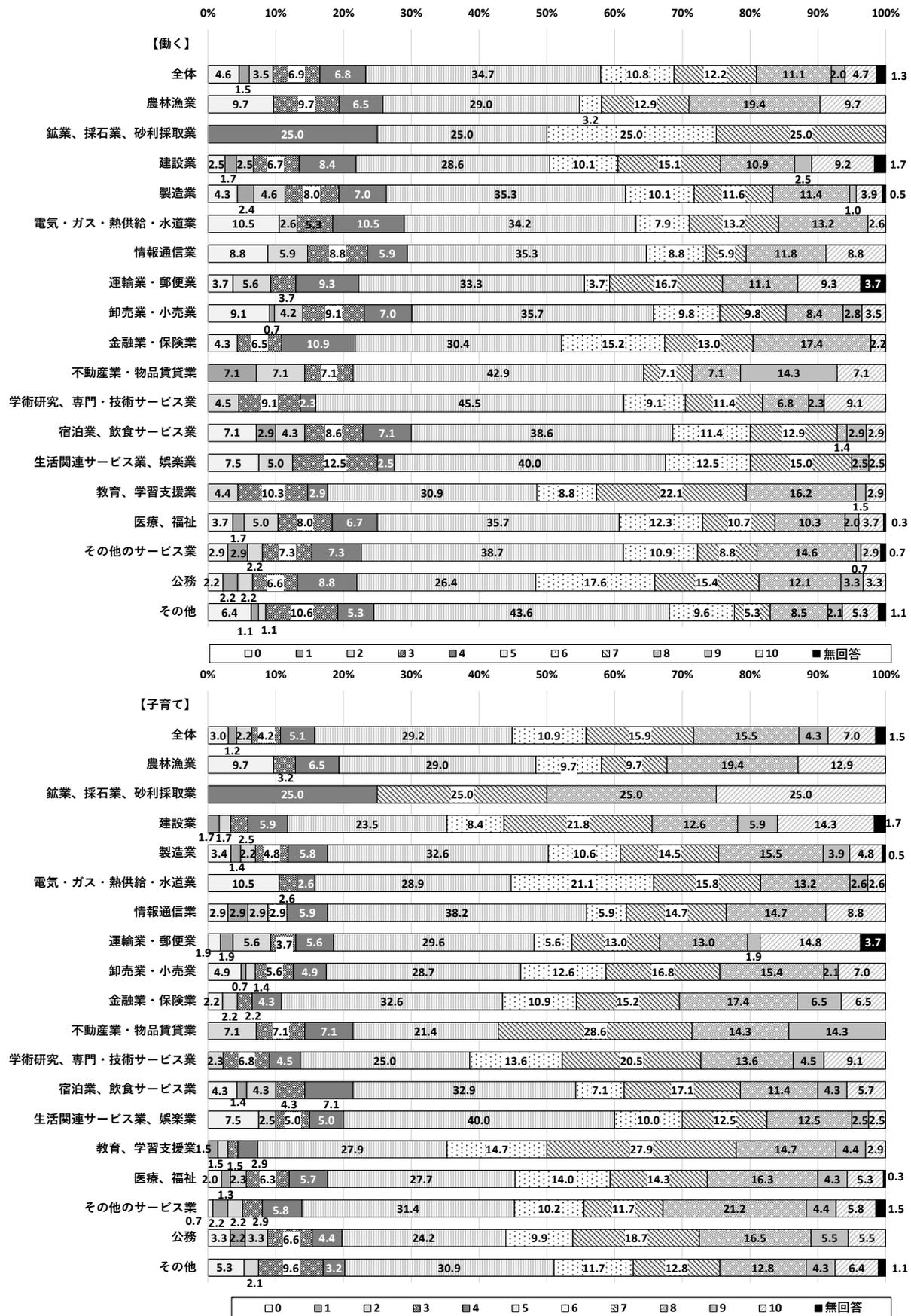
- | | |
|----------------------|--------------------------|
| ■ 全体 (N=2,700) | □ 農林漁業 (N=45) |
| □ 鉱業、採石業、砂利採取業 (N=4) | □ 建設業 (N=116) |
| ■ 製造業 (N=403) | □ 電気・ガス・熱供給・水道業 (N=39) |
| ■ 情報通信業 (N=28) | □ 運輸業・郵便業 (N=56) |
| ■ 卸売業・小売業 (N=146) | ■ 金融業・保険業 (N=42) |
| ■ 不動産業・物品賃貸業 (N=15) | ■ 学術研究、専門・技術サービス業 (N=39) |
| ■ 宿泊業、飲食サービス業 (N=62) | ■ 生活関連サービス業、娯楽業 (N=38) |
| □ 教育、学習支援業 (N=72) | ■ 医療、福祉 (N=264) |
| □ その他のサービス業 (N=118) | ■ 公務 (N=97) |
| ■ その他 (N=90) | |

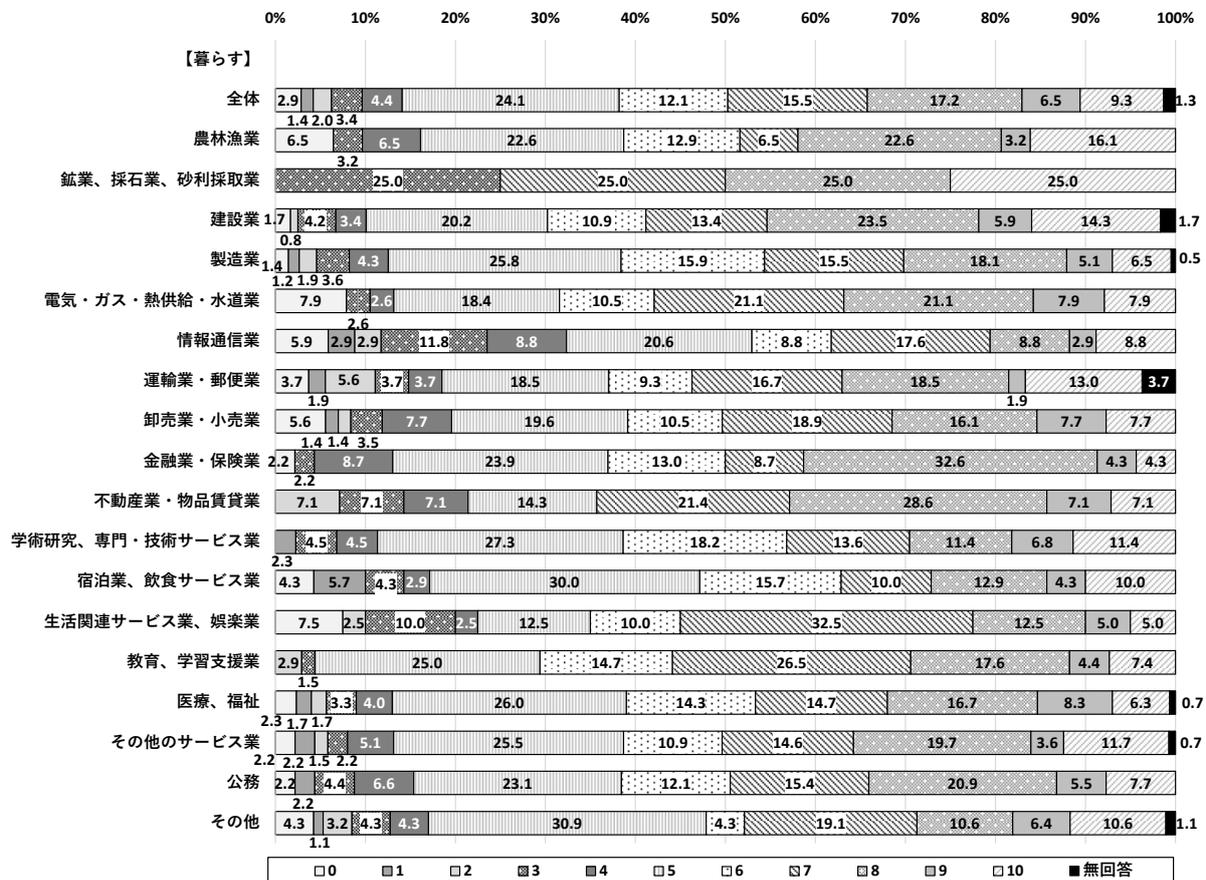
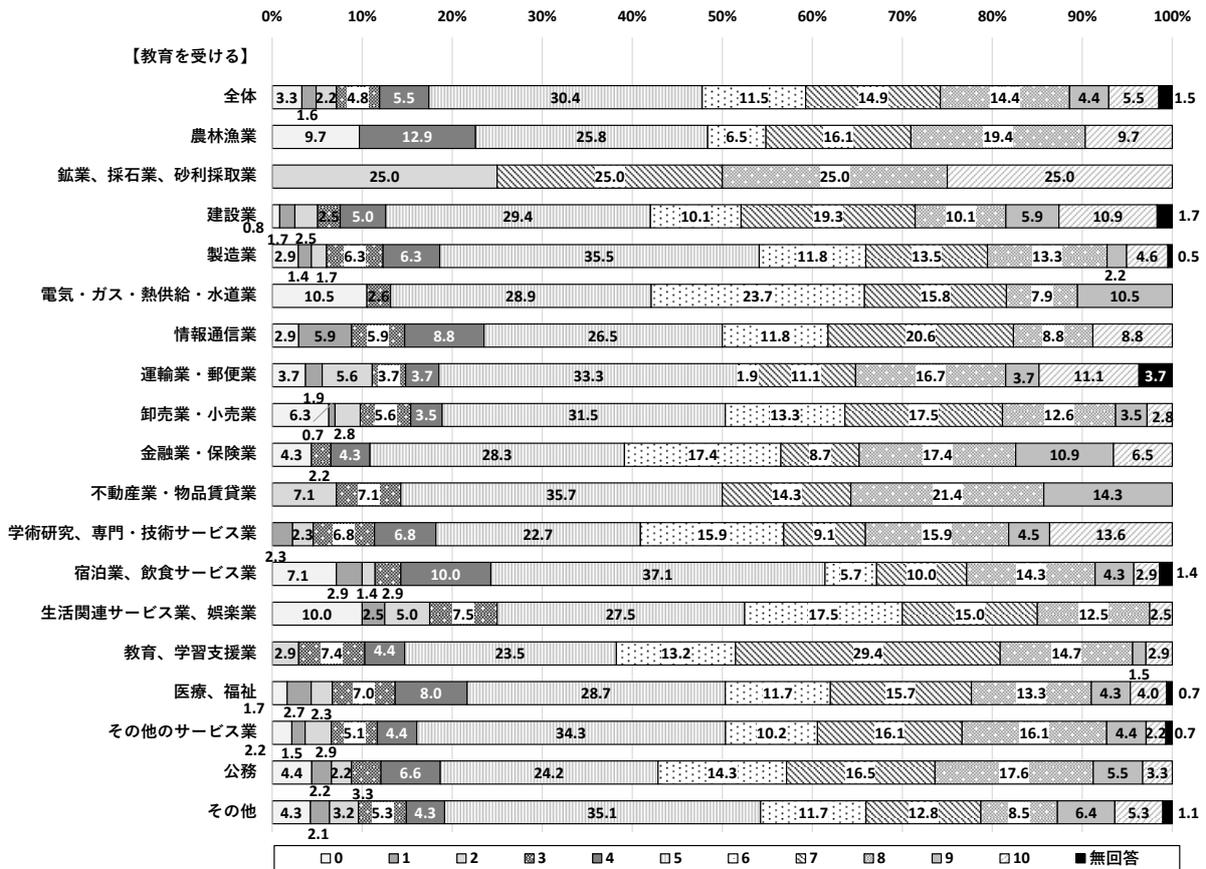
【割合】

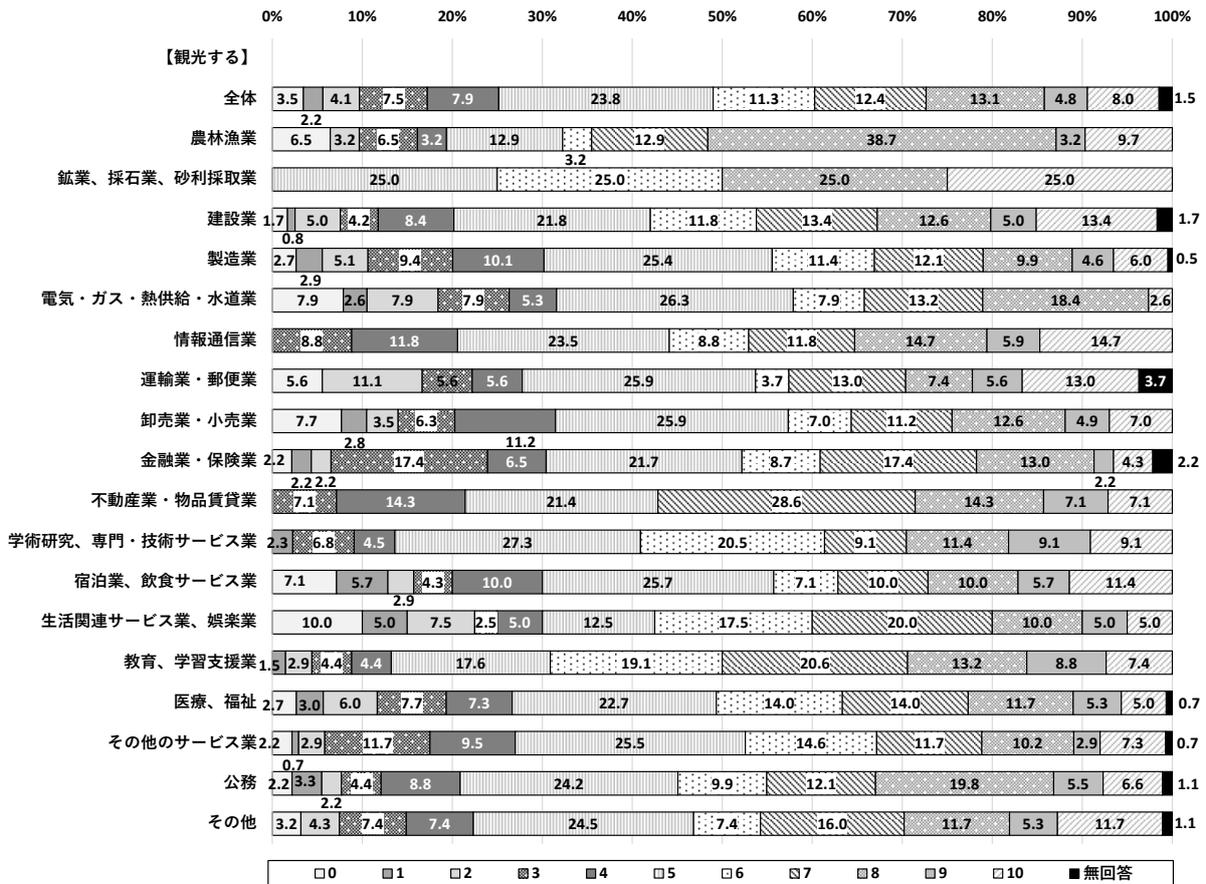
すべての設問項目において、「働く」「子育て」「教育を受ける」「暮らす」「観光する」のいずれも「5」が最も高い。

「6以上」を見ると、「働く」においては、「教育、学習支援業」と「公務」が他の職業分野よりも若干高い。「子育て」においては、「建設業」「学術研究、専門・技術サービス業」「教育、学習支援業」で6割を超えている。「教育を受ける」においては、「教育、学習支援業」で61.7%と、他の職業分野よりも高い。「暮らす」においては、「教育、学習支援業」が7割台と、他の職業分野よりも高い。

図表 15-6-2-2 家族や親しい友人等への推薦度【割合】（職業分野別）





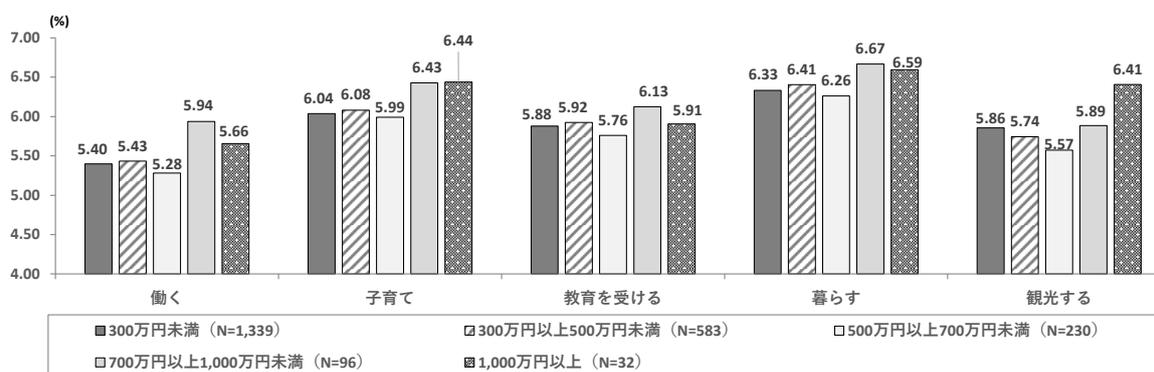


(6) - 3 年収別

【平均】

「暮らす」では、すべてで6を超えている。「子育て」「観光する」では「1,000万円以上」が、「働く」「教育を受ける」「暮らす」では「700万円以上 1,000万円未満」が最も高い。

図表 15-6-3-1 家族や親しい友人等への推薦度【平均】(年収別)

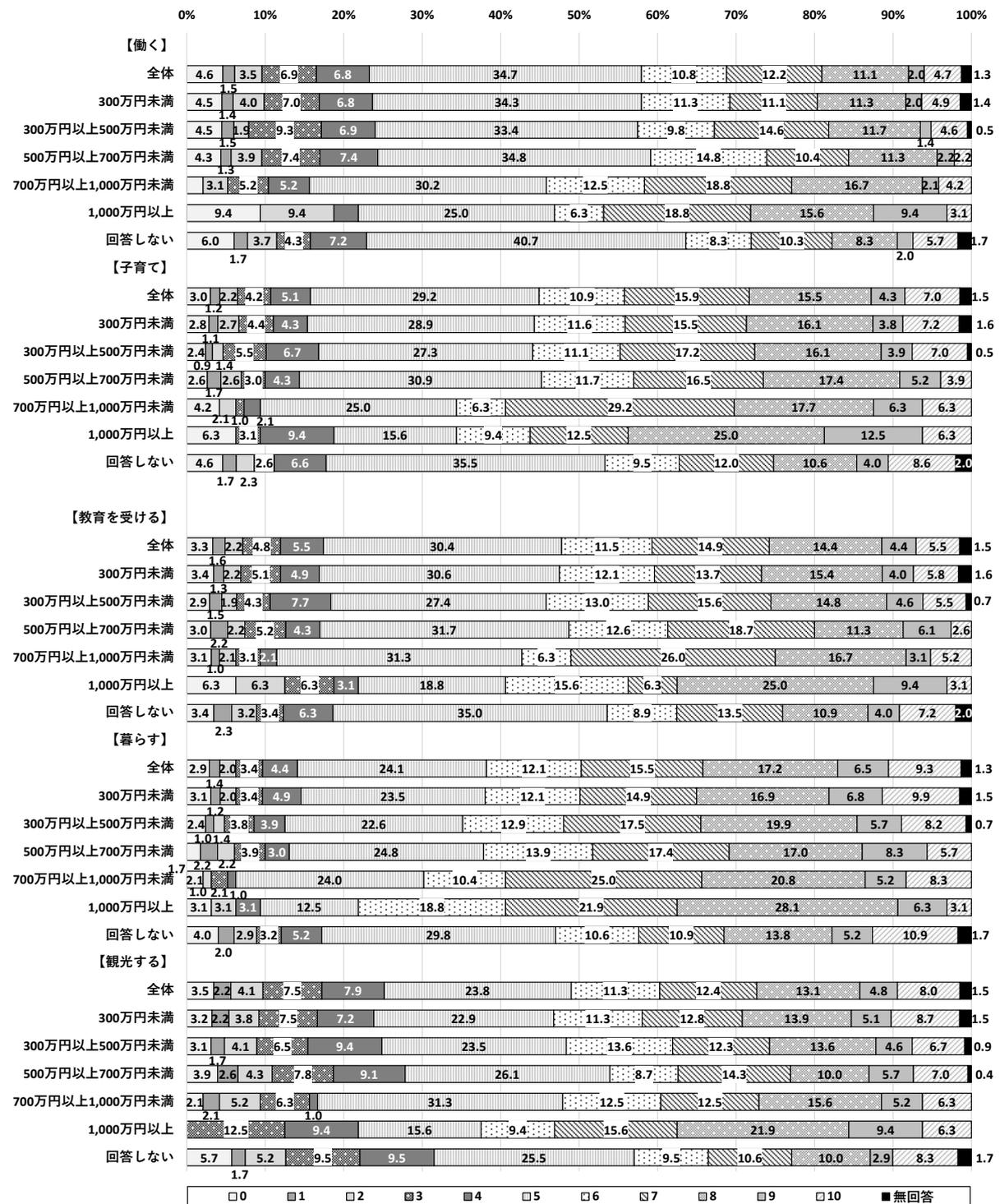


【割合】

「子育て」の「700万円以上 1,000万円未満」では「7」が、「1,000万円以上」では「8」が最も高い。また、「教育を受ける」「暮らす」「観光する」の「1,000万円以上」では「8」が最も高い。その他の属性では「5」が最も高い。

「6以上」を見ると、「教育を受ける」「暮らす」「観光する」においては、「1,000万円以上」が最も高い。特に、「暮らす」においては7割を占め、他よりも高くなっている。

図表 15-6-3-2 家族や親しい友人等への推薦度【割合】(年収別)

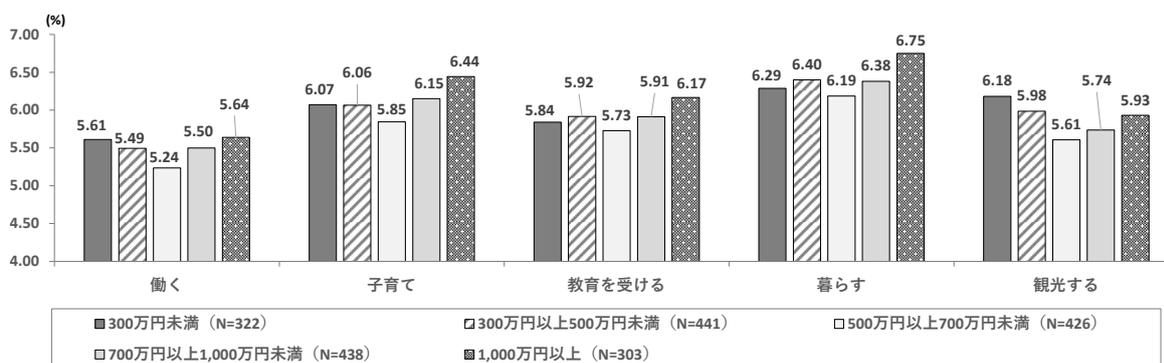


(6) - 4 世帯年収別

【平均】

「暮らす」では、すべてで6を超えている。「観光する」を除くすべての設問項目において、「1,000万円以上」が最も高い。

図表 15-6-4-1 家族や親しい友人等への推薦度【平均】(世帯年収別)



【割合】

すべての属性において、「働く」「教育を受ける」「観光する」のいずれも「5」が最も高い。

「6以上」を見ると、「働く」「子育て」「教育を受ける」「暮らす」においては、「1,000万円以上」が他よりも高くなっている。「観光する」においては、「300万円未満」が他よりも若干高い。

図表 15-6-4-2 家族や親しい友人等への推薦度【割合】(世帯年収別)

